

令和7年度

事業報告書

社会福祉法人 福陽会

特別養護老人ホーム サンシャインビラ

短期入所生活介護 (ショートステイ)

# 目次

1、事業報告（総括）	2
2、職員構成	4
3、主な会議・委員会等開催状況報告	5
4、職員健康管理・労働環境の整備等労働衛生管理	5
5、利用者外出・外泊・面会状況	6
6、保険者別入退所状況	7
7、看護	8
8、生活相談員	9
9、介護支援専門員	10
10、1階・2階・3階フロア	12
11、リハビリ	17
12、栄養	18
13、職員外部研修参加状況	19
14、内部研修	20
15、苦情・事故・排泄・委員会報告	21
16、忘年会・職員旅行報告	24
17、クラブ活動	24
18、防災・使用物品等	27
19、シーツ等リネン類の発注管理・おむつ等管理	29
20、年間行事の実施状況	30
21、ボランティア・実習生・研修生受け入れ	31
22、地域交流参加等の状況	31
令和7年度短期入所生活介護事業報告	32

## 事業報告（総括）

理事長、統括施設長、施設顧問医師のご指導の下、「その人らしく生活できる環境づくり」という法人理念に基づいて「笑顔の絶えない大きな家庭」の実現に向けて努力を重ねました。特に令和7年度は「みんなで作ろう、あったか笑顔」という合言葉の下に職員一同それぞれの業務に取り組みました。

感染予防に関して、毎月感染症対策会議と衛生会議を開催し、施設顧問医師の指導を頂き、職員全体の感染に対する意識、知識の向上を図る事ができました。引き続き緊張感を持って標準感染予防策を徹底してまいります。

特養入所退所に関しては、令和7年度も多くの方から入所の問い合わせをいただきましたが、入所待機者の減少はみられました。稼働率向上の為、新たに近隣の病院や老健他、様々な事業所への施設紹介や入所の案内等、広報活動に力を入れてきました。結果、新規の地域、病院等からの問い合わせが入所相談に繋がり、入所に結びつける事もできました。年間で25名の方が特養に入所されました。1年間の延べ利用者数は36,118人、1日平均98.95人の利用者様にケアを提供させていただいた結果になりました。

令和8年3月31日時点での要介護度については、要介護3の方が9名、要介護4の方が41名、要介護5の方が50名と要介護5の方が約半数を占めており、利用者様の重度化は今年度においてもみられていました。その為、平均要介護は4.36でした。利用者様の重度化が進む中でも、施設顧問医師の指導を受け、利用者様の体調変化に早く気づき、その後の適切な対応につなげる事ができるようになったと感じています。

次年度も、年間を通しての入所稼働率高位安定を施設全体で目標と定め、目指してまいります。

看取り介護（ターミナルケア）に関しては、施設顧問医師の指導の下、お一人お一人の気持ちに寄り添い、ご家族様の思いに寄り添ったケアを心を込めて行いました。その方らしい最期が支援出来たと感じています。年間を通して20名の方を施設で看取らせて頂きました。ご家族様からは「最期がここでよかった。ありがとう」等、感謝の言葉や満足の言葉を頂き、職員の励みにもなりました。

職員のやる気向上については、職員が法人の資格取得支援制度を活用し、介護支援専門員、介護福祉士の資格取得に取り組んでいます。制度を利用する職員が増え、スキルアップに繋がっています。

職員それぞれの資質の向上を図るべく、内部研修を1ヶ月に2回定期的に行いました。職員自身が講師になることで一人一人がより深い知識と実践的な技術の習得に努める事が出来ています。

また、福陽会の理念の一つである「季節感のある行事」に力を注ぎました。今年度も様々な行事を実施することが出来ました。秋の文化祭では4年ぶりにご家族をお招きする事が出来ました。

行事に初めて参加されるご家族様からは「楽しかった」との声を頂き、以前から参加されていたご家族様からは「楽しみに待っていました」と言葉を頂きました。多くの笑顔が見られ、利用者様、ご家族様と共に職員も楽しい時間を過ごす事ができました。引きつづき利用者様、ご家族様にも楽しんで頂ける季節感のある行事を行ってまいります。

地域との交流については、市の民生委員の方々を施設にお招きし、施設内見学他、食事体験等を実施し、サンシャインビラを知って頂くことが出来ました。地域の祭りでは、町会の方々に訪問頂き、神輿やお囃子の様子を利用者様が楽しめる等、地域の方々と利用者様の触れ合いの場となりました。

また、介護福祉士の専門学校の実習生の受け入れ、中学生の職場体験、介護福祉士初任者研修の施設実習を受け入れました。地域連携の一環として、福生市の体験ボランティアや個人ボランティアも受け入れることが出来ました。

環境整備として、居室の収納棚を新しくする等、利用者様の生活環境の改善をはかる事ができました。

介護の質の向上と職員の働きやすさを考え、補助金を利用し、見守り機能付きベッドやインカム等ICT介護機器を導入しました。利用者様に質の高い介護を提供する事、職員の働きやすい環境づくりが重要と考え、今後も努力致します。次年度もより良い施設づくりを、職員一丸となって取り組んで参ります。

・各月の利用者数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2928	3042	2928	3064	3021	2990	3054	3020	3098	3108	2788	3077	36118

## 職員構成

令和8年3月31日現在

担当職	職名	職員	非常勤	
運営管理	設顧問医	—	1	
	産業医	—	1 (外部委託)	
	施設長	1	—	
	相談役	1	—	
経理	事務主任	—	—	
	事務員	3	0	
保守管理	介助員	—	2	
介護	生活相談員	2 1 (兼務)		
	ケアマネージャー	2 (兼務)	1 (兼務)	
	1 F	リーダー	1	7
		サブリーダー	1	
		担当者	4	
	2 F	リーダー	1	7
		サブリーダー	1	
		担当者	4	
	3 F	リーダー	1	8
		サブリーダー	1	
担当者		5		
医務	医師	—	1 (施設顧問医師) 2 (外部委託医師)	
	看護リーダー	1	—	
	看護師	3	1	
	准看護師	—	1	
調理	管理栄養士	1	—	
	栄養士	1	—	
	調理リーダー	1	3	
	調理員	3		
機能訓練	柔道整復師	1	—	
	理学療法士	—	—	

## 主な会議・委員会等開催状況報告

・運営会議	12回	・衛生委員会	12回
・行事計画会議	12回	・衛生会議	12回
・感染症対策会議	15回	・厨房委員会	12回
・ケアプラン会議	74回	・褥瘡防止委員会	12回
・全体会議	12回	・利用者懇談会	5回
・入所判定会議	39回	・事故防止委員会	12回
・事故防止会議	27回	・看護と介護の連携委員会	12回
・看取り介護会議	73回	・業務継続委員会	12回
・虐待防止会議	12回	・科学的介護推進委員会	12回
・苦情対策会議	12回	・拘束廃止委員会	12回
・栄養会議	42回	・業務検討委員会	12回
・防災会議	12回	・排泄委員会	6回
・生産性向上委員会	12回	・協力医療機関連携会議	12回

☆利用者懇談会は、1度感染対応中だったため、予定表を配りました。

## 職員の健康管理・労働環境の整備等労働衛生管理

### (1) 定期健康診断の実施

従前より、対象となる全職員に対し、労働安全衛生法上の定期健康診断を行っています。

令和7年度は5月に63名、11月に25名の職員健康診断を行いました。

### (2) 定期健康診断後の面接と結果に基づく保健指導等

定期健康診断の結果が明らかになる時期に、日本医師会認定産業医 高妻雅和医師により 有所見者を対象に面接を行い、個別に健康教育・保健指導等が実施されました。

### (3) 衛生会議の実施

月に一度、施設顧問医師の指導・助言により、衛生管理者が有所見の改善に向けた食生活等に関するものや感染症の防止に関する情報・食中毒やストレスに関する情報等のプリントを配布し、健康管理に関する情報の提供を継続的に実施していただいています。

### (4) 館内の労働環境整備

① 年間を通じて空調整備を行い、コロナ感染症等の感染症対策・利用者及び職員の体調管理の為に、温湿度管理やカビ対策を行っています。感染症が発生した場合は、蔓延防止の為に指針やマニュアルを踏まえ各職員が「即」行動できるように取り組みました。

インフルエンザ予防接種はアレルギー等で接種の出来ない職員以外の57名行いました。その内で65歳以上の職員は8名いました。

② 労働災害について対策を立て、職員全員で努力を継続し、職員に危険が及ぶ状態にあると思われる備品・設備は、早めの報告により事故発生の防止に努めています。職員の事故防止の為に設備備品の点検を行い不備や不具合の改善にできる限り迅速に対応しました。

また、施設内の巡視を1ヶ月に1階、定期的に行いました。

### (5) メンタルヘルスについて

外部委託により、対象となる職員令和6年10月に67名全員にストレスチェックを実施し、結果を集計しました。今後も産業医からの指導を全職員に周知する為の努力をはじめとし、職員一人一人が施設内の変化を拾い上げる視野で状態を把握し、先見性を持った対応による労働環境改善ができるよう、実践的な労働衛生管理計画の作成をしていきます。

### 利用者外出・外泊・面会状況

	外 出		外 泊		面 会		
	人 数	延回数	人 数	延日数	対利用者	延人数	1日平均
4	1	2	0	0	36	173	5.8
5	0	0	0	0	46	174	5.6
6	3	5	0	0	47	160	5.3
7	2	2	0	0	37	130	4.2
8	2	2	0	0	42	173	5.6
9	17	25	0	0	35	119	4.0
10	6	8	0	0	37	121	3.9
11	2	7	0	0	33	158	5.3
12	7	10	0	0	28	159	5.1
1	11	17	0	0	32	223	7.2
2	2	2	0	0	37	159	5.7
3	2	7	0	0	43	180	5.8
合 計	55	87	0	0	453	1929	

感染症の感染防止の観点から面会方法を工夫したりとしながらの面会でした。  
 面会時に施設の状況を理解していただき面会方法に協力していただきました。  
 ご家族様等には感謝申し上げます。

保険者別入退所状況

市区町村	入 所		退 所 (含死亡)		合 計	
	男	女	男	女	入 所	退 所
昭島市	—	4	—	3	4	3
あきる野市	—	3	1	1	3	2
狹山市	—	1	—	—	1	0
小平市	—	1	—	—	1	0
府中市	2	—	—	2	2	2
東村山市	1	—	—	—	1	0
板橋区	1	—	—1	—	1	1
横須賀市	—	—	—	1	0	1
立川市	1	0	—	—	1	0
青梅市	—	1	—	—	1	0
福生市	2	1	1	8	3	9
八王子市	1	—	1	—	1	1
武蔵村山市	—	—	—	1	0	1
羽村市	1	2	—	1	3	1
世田谷区	1	—	—	—	1	0
練馬区	—	1	—	—	1	0
武蔵野市	—	1	—	—	1	0
合計	10	15	4	17	25	21

## 看 護

1、医務診察 定期的な医務診察時、医師の診療を補助し健康管理・内服管理・処置等を迅速かつ適正に処理の実施。

- ① 内科 金曜日 青山美穂医師 内科（施設顧問医師）・木曜日 若杉優子医師 内科
- ② 精神科 月曜日 高妻医師 → 令和8年度より木村 大輝 医師 精神科
- ③ 歯科 火・金曜日 若林偵子歯科医師 歯科
- ④ 週末や病院の休みの時は病棟に繋げていただき当直医に指示をいただく。

2、利用者の健康管理

- ① 月 1 回は医師の診察を受け、バイタルサインを測定し、経過報告実施。
- ② 年一回の利用者健康診断を99名の利用者様が受けました。
- ③ 新入所の利用者様には入所時健診を、ご家族様等に説明し同意のもとで受けていただきました。

健康診断の結果は施設顧問医師がご家族等へ説明していただきました。

また、入所時にご家族様等は「緊急時・看取り介護時の医療行為等に関する意思確認書」「看取り介護についての同意書」の説明を施設顧問医師から受け、同意の書類を作成しました。

- ⑤ 外部の医療機関受診や入院等は、ご家族様等の意向を尊重し相談しながら進めました。
- ⑥ 利用者様・ご家族等の希望を確認し、インフルエンザ予防接種を実施しました。  
(74名) 令和7年度は希望されない方が26名いらっしゃいました。
- ⑦ 利用者様・ご家族様の希望を確認し、新型コロナウイルス予防接種を実施しました。  
(2026年2月5日71名実施。)
- ⑧ 利用者様の薬の管理と内服薬の服薬介助を行い、看護師不在時の朝・夕方・就前薬等の服薬介助は介護職に指導し依頼しています。

3、口腔ケアの実施 利用者様の健康を保持増進するため、歯科医師・歯科衛生士と連携を図りました。

歯科医師・歯科衛生士・看護師・看護職員・管理栄養士・ケアマネ・生活相談員・介護職員等多職種協働での実施により誤嚥の防止に役立ちました。

新型コロナウイルス含め感染症の拡大防止のため利用者様の状態の共有をアイデンタル様にし、時々で相談しながら予防し口腔環境の改善を進めました。

4、職員定期健康診断

- ① 職員は健康診断を受けました。健診結果は安全衛生会議で施設顧問医師の青山美穂医師より全体指導があるとともに、異常所見に対しては、あきる台病院に委託している産業医の高妻雅和医師から個人面談指導がありました。
- ② 職員のインフルエンザ予防接種は体質的に接種が出来ない者以外は接種しました。

5、感染症対策

- ① 施設顧問医師の指導助言のもと、感染症に対する内部研修の実施とマニュアルの厳守により全職員の意識を高め確実な対応実施と自己管理の強化に努めました。

② 感染症を持ち込まない、運ばないという意識をもち、全職員が感染対策の基本をしっかりと行っていました。

今後においても標準感染予防策の徹底と意識の向上に努めていきます。

#### 6、看取り介護の充実

① 手厚い看取り介護の実施が出来ました。

② 医師の診断のもと宣言にて利用者様・ご家族様等の希望により看取介護を行いました。

令和7年度は20名の方を施設で看取らせていただきました。

利用者様及びご家族等の意向を尊重し多職種で連携して日々変化の様子をご家族様等へ密に連絡し、記録しました。

③日々の細かい変化に気付けるように小さな気付きも記録に状態を残しております。

#### 7、褥瘡予防

① 施設での褥瘡発生件数 3件。褥瘡の処置は改善にて終了しております。

② DESIGN-Rによりアセスメントし、計画的に対策を実施します。

③ 急な状態の変化と繰り返しの方があり、来年度の課題として状態を予測して早期に対策を立て予防するようにします。

④ 処置内容の確認は随時主治医に確認して正しい治療を利用者様が受けられるようにしています。

⑤ 予防と知識の共有は勉強会を活用し知識の共有をしています。

⑥ 適宜利用者様の状態変化の際に、適した介護の提供が出来るように車椅子・マットレス・体位変換が必要なのかを確認して他職種との共有。褥瘡の予防に努めております。

#### 8、その他

① 利用者様の心身の変化時等にご家族等に連絡しその内容等は生活相談員が同席して記録に残しました。

② 長谷川式簡易スケールを用いて認知症を確認し、医師に報告し概ね3ヶ月毎に確認しました。

③ 医療ニーズの高い利用者様も施設顧問医師を中心とする連携により生活していただくことが出来ました。

④ バイタルサインや日々の状態変化は個人記録に入力して各部署との連携を強化しました。

### 生活相談員

令和7年度は、施設の全体目標「みんなで作ろう。あったか笑顔」を実現できるよう、私たち生活相談員も日々の業務に取り組んできました。

令和6年度より開始したフロア担当制は2年目に入りました。それぞれが担当フロアの利用者様に深く関わり、利用者様の声と思いを汲み上げるよう、取り組むことができました。

・入所と退所に関して、令和7年度も、多くの方から入所の問い合わせをいただきました。施設をお探しの個人の方、病院や老健、居宅介護支援事業所、市や区の担当者等の入所相談、入所申込みを受け付け、特養ガイドからの申込みも多数ありました。年間で令和7年度には25名の方が当施設に入所されました。

また、退所者は 21 名でした。

- ・生活相談員の主要な業務の一つである相談援助に関しては、全体目標「みんなで作ろう、あったか笑顔」を意識し、利用者様、ご家族様、ともに働く仲間とのコミュニケーションを積極的に図り、笑顔が溢れる環境作りに努めました。利用者様には、生活の様子や表情から気持ちを伺うように接し、相談しやすい関係性作りに尽力し、ご家族様に対しては、物品に関するご連絡はもちろん、医療的な変化が生じた際は 医務と連携し、速やかに家族への連絡を行いました。

昨年と比べて、多くのご家族に居室で面会していただくことができ、利用者様のご家族と一緒に外出されるケースも増えました。

- ・令和 7 年度は、行事やクラブ活動、外出の機会を増やすことが目標でした。感染予防対策を講じながら、外出は散歩や近場へのドライブ中心に実施し、地域行事では福生七夕祭りやさくら祭りに参加いたしました。さくら祭りでは利用者様に人力車に乗っていただきました。

令和 7 年度での大きな成果として、文化祭や歓桜会に利用者様のご家族に参加していただくことができました。ご家族とともに過ごされる利用者様の穏やかな表情、楽しそうに笑顔で過ごされていました。利用者様同士で和気あいあいと笑顔で話される方、職員と談笑されている利用者様、皆様よりたくさんの笑顔をいただくことができました。

- ・月に一度の「手作りおやつ」は生活相談員が中心になって行いました。利用者様の好みの物や季節の物を食べて頂けるよう工夫しました。
- ・「利用者懇談会」を隔月開催し、利用者様の希望や要望を伺いました。また、行事の予定をお伝えし、管理栄養士により食事について説明、利用者様の食べたいもの等の希望も伺いました。
- ・特養の果たすべき役割の一つとして、介護福祉士の専門学校の実習生(外国人留学生)の受け入れ、大学生の介護等体験や中学生の職場体験、特別支援学校の職場体験、介護職員初任者研修の施設実習を受け入れました。地域連携の一環として、福生市の「2025 夏！体験ボランティア」や個人ボランティアも受け入れることができました。
- ・行政への様々な届出として、加算の算定と国保連への請求業務、入退所状況に関する福祉保険局への報告、LIFE データの送信等を、年間を通して適切に行うことができました。

### **介護支援専門員**

本年度の合言葉である「みんなで作ろう。あったか笑顔」という事を念頭に置きをケアプランの作成に反映できるよう意識しました。利用者様のお話を傾聴する姿勢を崩さずにそのうえ感染予防にも配慮しました。

- ・多職種で協力し、その方らしい生活を重点に考えてプランを作成しました。
- ・6ヶ月毎の見直しは漏れなく行えました。状態変化に伴う変更も随時実施しました。
- ・状態と介護保険区分の隔たりがあった際は、速やかに区分変更申請を行い、現状に合った介護度になるように努めました。

- ・ターミナルケア（看取り介護）、褥瘡ケア、適宜プラン作成が行えました。ターミナルケアの振り返りは、ひとつひとつのケースにつき検討が必要であり、今後も取り組んでいきたいと思えます。（令和7年3月31日現在ターミナルケア対象者11名、令和7年度のお看取り20名）
- ・褥瘡ケアについては、モニタリング指標を用い、生活の様子も鑑み、褥瘡を作らない事を前提に予防対策を設定し実施しました。万が一出来てしまった褥瘡については創部改善に各部署連携して取り組むというプランを作成します。
- ・ショートステイの受け入れについても、可能な限り、柔軟に対応を行えるように努めました。ショートステイ利用中の方で入所のご希望があった際は、本入所に繋げ、稼働率の向上に寄与しました。
- ・介護保険の更新申請を漏れなく実施しました。認定調査は、調査員とご本人との直接面会で実施することができ、必ず介護支援専門員が立ち合い、適正な認定調査結果が出るように努めました。
- ・ケアプラン会議へのご本人の参加は、全員ではないですが、少しずつ実施しています。ご家族様等の参加は、感染予防等のため実施できませんでしたが、事前にご家族様のご意見やご要望を伺い、プラン反映に努めました。プラン作成後、面会等のご来訪時に説明やご署名をいただく、もしくは電話で説明し、書面の郵送でのやり取りになりました。

#### 令和7年度 計画書作成件数

月	定期	見直し	看取り	入所	ショート	退院	振り返り	合計
4	2	16	12	2	2	1	0	35
5	2	16	12	2	0	2	2	36
6	8	11	5	3	0	2	1	30
7	10	9	12	0	0	1	0	32
8	3	12	12	3	0	0	3	33
9	7	9	8	6	1	0	7	38
10	5	3	14	5	0	1	1	29
11	5	4	11	0	0	1	0	21
12	13	9	8	0	0	0	0	30
1	7	6	11	0	2	1	0	27
2	10	4	9	2	0	2	0	27
3	9	11	8	2	3	0	2	35
総数	81	110	122	25	8	11	16	373

## 1 階 フロア

各職員、目標の「皆で作ろう、あったか笑顔」を目標に笑顔で挨拶、利用者様対応を行っています。

- ① において居室担当は現在職員一人に対して6人又は7人の担当を持って頂いています。居室担当利用者様の生活において困っている事など、衣服の確認、利用者様の変化に対応して声を上げて順応に対応して頂いています。
  - ・育成においても新人の方に対して職員をメンターとして指導している。また、フロア全体で育成し一人前の介護者育成に努めています。
  - ・フロア会議は4月以降に4回実施は出来ているが毎月一回が出来ていない状況である為、来期はシフト調整も行いながらフロア会議を実施していく。
- ② 一階では8月頭に職員陽性者が出て5日間の隔離、9月14日に職員、利用者様でコロナ陽性が出て、その後、9月27日に同室の利用者様にコロナ陽性が出ました。職員一人一人標準予防策を徹底していたが長く隔離期間がありました。今回の感染を糧にこれからの季節は尚、職員一同気を付けなければならないと感じました。その後は感染症の蔓延はなく経過している。
  - ・自己管理も徹底し、何か不安であれば施設長、リーダーに相談するようフロア職員、パートに周知している。
- ③ フロア活動においては文化祭に向けて作品を利用者様に手伝って頂き、お月見をしているウサギを完成しました。また、レクリエーションというレクがほとんど行えず、YOUTUBEで歌や昔の歌謡ショーをご覧になる等、もう少し身体を一緒に動かすレクを考え実施出来ればなど考えています。
- ④ 事故防止において一階では少しの気づきで防げるアクシデント、ヒヤリハットがあり、特に内出血などの内容が多くあり、介助者側の原因もある為、介助の統一、報連相を確実に言い、事故、怪我を減らせるよう努めていきたいと思いました。
- ⑤ 褥瘡予防において4月以降、褥瘡者はいなく経過されています。小さい発赤などを発見次第医務課と連携し処置に努めています。又、体位変換やクッションの当て方などフロアで統一し「褥瘡ゼロ」を行いました。
- ⑥ 非常災害時の準備において寮母室、介護材料室、排泄保管庫等の整理整頓を実施、物品関係はまとめ、防災関係についてはフロアで周知し、定期的の中身を確認、災害時用のオムツ関係は3ヶ月に一度入替を実施している。
- ⑦ 看取りケアについて一階では「その方らしく」「その方が望む最期」を考え安心、安楽に尊厳を守り最後までケアを実施しました。又、多職種共同で手厚い介護を実施しご家族様にも寄り添い、看取りケアを行いました。

## 2 階 フロア

「みんなで作ろう、あったか笑顔」を合言葉に、ご利用者様が安心して過ごせる環境づくりと、職員が働きやすい環境づくりに取り組みました。

### ・傾聴を行う上での基本姿勢

ご利用者様一人ひとりの思いや訴えに耳を傾け、否定せず受け止める姿勢を大切に意識しながら行いました。表情や仕草など言葉以外の変化に気を配り、安心して話せる環境作りに努めました。

### ・利用者様の満足度を高め、サービスの質の向上を図る。

居室担当に居室内の問題を解決する為にご利用者様と一緒に対話し不満や要望を聞いている。また日々の関りの中でご利用者様からの意見を共有し、職員間で出来る範囲の事を考えてサービス改善へつなげました。接遇面や環境整備にも取り組み、安心・安全で満足していただける支援を目指しました。

訴えられる方だけでなく、訴えができない方に対してADLの低下により介助方法の見直しも職員からリーダーやリハビリなどに声をかける事が増えている。

比較的行事などにおいても自立されている人が優先されやすいですが、ターミナルケアの方や全介助の方で刺激が必要な方など医務と連携し体調を見ながらそのような方こそしっかりと見ないといけないことを伝えながら、参加を促す事が出来た。

### ・職員が安心して長期勤務できる環境を作っていく。

欠勤による急な勤務変更が多く、定型業務にも影響し、モチベーションの低下につながってしまった。感染対応になると5人目夜勤がないため、負担があったがみんなで協力して乗り越える事が出来た。職員が孤立しないように先手を打った取り組みや本人とも話をして短所を改善または抑止し長所を伸ばす事を行う事が出来た。

現在職員の離職者も現在0名で安定している。

以前に比べて、リーダーサブリーダー意外の職員間での注意し合う事が増えているが一部の職員だけではなくみんなで注意し合っていく環境が必要であると感じます。

業務の見直しも前年度に比べて頻度も多く、日直の業務負担軽減やその他業務も負担が重くならないようにサブリーダーや他の職員の意見を聞きながら、利用者目線での業務改善を行う事が出来た。

### ・感染症の予防

感染症の対応についても柔軟性を持ちながらその時の状況や施設長の指示に応じて柔軟に対応している。全ての新人職員に対しても感染症動画の確認と一緒にガウンテクニックの確認やその後感染対応開始時には再度上記の確認を行い対応する事が出来た。

ベテラン職員の感染対応は出来ているから大丈夫であろうという甘さもあり、感染対応中ガウンの脱ぎ方に注意をしました、感染対応開始の際には全職員パート対象に感染動画とガウンテクニックの再確認を行う必要があると感じます。今後は実施していきます。

疥癬予防について、疥癬者に対しても毎日の衣類シート交換の実施など医務との連携を密にとりながら情報共有を行い拡大防止に努めました。感染対策も引き続き職員が感染源にならないように日頃からの基本動作を習慣化して感染症への意識を継続し、職員全体で予防対策を徹底するとともに、観察の視点を養っていけるように今後取り組んでいきます。

- ・日常生活の活性化

季節行事や制作クラブを実施し、ご利用様が楽しみを持って生活できるように支援しました。制作クラブの担当者が中心となり年間を通して毎月のように、ご利用様と職員が一緒になり制作活動を楽しそうにされており、日常生活の中でも役割を持っていただく事で、生きがいや意欲向上につなげました。参加には偏りが見られる事もあった為、今後は個々の興味や身体状況に合わせた内容を検討し、より多くの方が参加しやすい活動づくりを行っていきます。

レク担当者中心として利用者様の要望を聞きながら週間メニューを作成し実施しています

ご利用者からは今日は塗り絵の日だねと少しずつだが見えてきている状態だったが年間を通して安定することができず、制作クラブの制作をメインで行う事が多かった為、今後は各種担当者と話し合い活動方法を決めて行きたいと思えます。

天気の良い日には散歩や窓をあけ外の空気を感じてもらおうなど多く行えている。訴えがある方だけでなくみんなが平等に散歩にいけるようにする事ができました。

- ・自立と尊厳の保持（その方らしさを大切に）

ご利用様が出来る事は継続して行っていたできるように支援し、自立支援を意識したケアに努めました。またサブリーダーが中心となり自立支援の介助方法やポイントなどを職員に伝え介助のやりすぎの予防に努めた。

今後はご利用者様自身の意思確認をより丁寧に行い、個別性を重視した支援に繋げていく必要があります。

- ・居室担当の役割と責任

以前に比べ居室担当者の発信は増えてはきているが、関わりや信頼関係構築の努力がもう少し必要な職員もいます、また担当者によっては情報共有に差が見られる事が課題であり、今後は記録や申し送りを統一し、継続した支援につなげていきます。

また相談をうけても居室担当者に伝えご利用者と担当者が一緒に問題や課題を解決できるように取り組むことを伝えていきます。

- ・組織体制の強化

報告・連絡・相談を意識し多職種との連携を図りながらチームケアの向上に努めました。

一方で、情報伝達不足による認識の違いも見られたがその他は大きな伝達もれもなく統一した支援に繋げる事が出来ました。

今後は申し送りや会議内容をより明確にし、共有方法をより強化していきます。

- ・人材育成の強化

新人職員や中堅職員に対し、分かりやすく丁寧な指導を心がけました。介護技術だけでなく、接遇や報連相の重要性についても伝え、職員全体のスキル向上に努めました。また担当者だけでなく周りのサポートも増えている事や育成ノートも活用しながら個々の能力や経験に合わせた育成を行っている、指導する側の育成力向上も今後の課題として取り組んでいきます。

- ・褥瘡予防

体調不良など体調の様子により一時的な体位交換者にいれたりする意識は高くなってきたが、その時の状況の判断が人により判断が甘い状況もある、フロア職員だけでなく、多職種間でも声をかけながら再確認する必要も感じました。

また拘縮の進行により使用物品の見直しなどフロアー職員からの積極的な意見が増え改善に繋がる事が増えている。

現在完治されているが褥瘡 1 名診断がついた方がいました。

皮膚状態の観察や体位変換適切に行えているか確認し指導する事で褥瘡の早期発見予防に努めました。また、福祉用具を適切に使用し、摩擦やずれの軽減を意識したケアを行いました。

#### ・事故防止

職員の見守りに対しての意識が人によっては薄い所もあり、フロアー全体で見守りの職員を配置したり、居室を通る際は中の様子を確認したりする事により自身の意識を高める大切さを伝えている。

新入所や居室変更の際の配置についてももっと煮詰めていく必要があります。

ナースコールやセンサーコールの対応についても全職員対象に意識が高くなり対応がとても速い、そのために転倒の事故が減少傾向に繋がっている。今後も基本動作の確認を徹底し危険予測への意識を図っていきます。

#### ・非常災害時の準備

月 1 階の防災訓練が実践的で良い備えになっている職員より、利用者様からは防災訓練の放送があるとドキッとするけど職員さんが訓練してくれているから心強いとの声も聞かれている。

防災用品の見直しも三か月に一度実施している。

#### ・総括

施設目標を合言葉にご利用者様、職員が安心できる環境づくりに取り組むことが出来ました、職員同士の連携や支え合いを通して、サービスの質の向上と安全なフロアー運営を務める事ができました。

今後はより一層の個別ケアの充実、人材育成、組織強化に取り組み、ご利用者様一人ひとりに寄り添った支援が継続できるよう努めてまいります。

### 3 階 フロア

「みんなで作ろう、あったか笑顔」をテーマに利用者様、フロアー職員やその他部署とも良き関係を構築できるよう常に笑顔での対応を心掛けて日々の業務に従事した。

#### 1 感染対策

今年度も新型コロナウイルスの発症、風邪の集団感染が起こってしまったが医務や事務所と連携を図りながら迅速且つ適切な対応を行うことができた。起こさないのが理想ではあるが今後も起こりうるであろう感染症に対し適切な対応をしていく。又、自己管理の徹底をすると共に、施設内に持ち込まないため、体調に変化が見られた際は施設やリーダー等に相談をしていく。

#### 2 安全で快適な暮らし

後期に入りADLが低下した利用者様も数多くいた。又、認知症が殆どない方の入所もあり、様々な方が安全で快適な暮らしが送れるよう配席や環境設定、過ごし方の工夫をしてきた。又、各種清掃やチューリップ隊を起点とした整容面の援助やシーツ交換を行った。

#### 3 居室担当としての役割

居室担当を中心に衣類や日用品の購入を行った。

ケアプラン会議に向け情報の集約、毎月の評価を行った。又、居室担当が意識をしやすいよう、毎月居室担当業務表をフロアーに掲示した。次年度は更に居室担当としての役割を明確にしていく。

#### 4 口腔ケア

個別の介助方法が分かるものの作成には至らなかった。次年度作成する。

歯ブラシを使用する方に対しは最低月に一度交換を行った。

危険のない方に対し歯磨き粉を使用していただいた。

#### 5 認知症支援者としての理解と実践

認知症初級テキストの常に閲覧できるよう設置した。

対応の難しいケースに関しては手本となるよう適切な対応を示した。(O J T)

#### 6 事故防止 リスクマネジメント

アクシデント後が起きてしまった際は多職種で連携し速やかにカンファレンスを行い、再発防止に努めた。

新入職員や慣れない職員に対し、過去の事例を基にO J Tを行った。

#### 7 身体拘束・褥瘡

スピーチロックが発生しやすい環境ではあるが、言い換え言葉の使用、丁寧なケアの徹底をしていきスピーチロ

ックを回避できるよう努めた。

利用者様の状態に合わせバランスの取れた離臥床を行った。又、常に身体観察を行い、必要に応じて医務やリハビリと連携し適切な対応を行った。

#### 8 非常災害時のための準備と体制

非常災害時の訓練へ参加した。

フロアーで管理を行っている防災用品の確認を行った。又、備蓄している排泄用品に関しても定期的に入れ替えを行った。

## リハビリ

- ・令和7年度の目標「みんなで作ろう、あったか笑顔」の実現に向けて1年間取り組んだ。
- ・出来るだけ多くの利用者様への理学療法を実施した。  
出勤時各フロアで状態の確認、挨拶をした。理学療法の際は利用者様とコミュニケーションをとり希望等を聞き取った。
- ・理学療法開始、終了時手指消毒、検温をし、記録に残し他部署と連携、感染症予防を行った。
- ・機能訓練に状態や用具、移乗動作方法の変更などを入力する事でADLの維持、機能低下を図った。
- ・ケアプラン会議に参加し、個別機能訓練計画の策定を行った。また、急激な変化がある利用者様には時期を待たずに状態にあった計画に変更、共有を行った。
- ・3ヶ月ごとにLIFEの見直しを行った。また、LIFEの見直しのタイミングや方法を多職種に周知し、担当相談員と共に抜けが無いように努めた。
- ・個別機能訓練計画は3ヶ月以内のサイクルで見直し、計画内容を利用者様、ご家族に書面で説明し同意をいただいた。また、状態の変化があった利用者様は個別機能訓練計画内容の変更を行った。
- ・利用者さまの状態に応じて多職種で介護用具の策定、変更し記録に残し共有すると共に使用用具の一覧を作成し多職種との共有を図った。
- ・状態の変化が見られた利用者様への福祉用具の変更、除圧、体位交換方法の徹底、周知に努めたが褥瘡「0」とはならなかった。
- ・アクシデント発生時はカンファレンスに出席し原因追及、対応策を模索し事故予防に努めた。
- ・理学療法では安全面、感染面に注意し一人一人に必要な内容を行った。
- ・ケアプランや日々の中で適切な介助方法が実施できているか確認し、状態に合わせて会場方法を変更し周知に努めた。
- ・介助の際利用者様の負担軽減できるような介護用具の導入を行った。
- ・次世代介護機器導入推進事業費補助を利用しセンサーベッド13台・超低床センサーベッド2台・体重測定機能付きセンサーベッド5台・利楽 flow（エアマット）5台が導入された。今後も利用者様の皮膚トラブル、事故予防に努めていく。
- ・介護用具の正しい使用方法を説明し、安全に努めた。
- ・毎日の生活リハビリの実施状況の確認、リハビリ日誌の作成をした。
- ・施設行事の企画考案、準備、実施を中心となって進め、利用者様が楽しんでいただけるよう努めた。ご家族様にも参加して頂くことが出来た。慰問の方の対応もした。
- ・感染症、事故防止、虐待防止、身体拘束等の内部研修に参加し知識を深めていった。
- ・車椅子、ベッドの故障等ある時は修理を行った。施設で修理できない場合は外部に依頼し、修理を行った。
- ・リハビリ補助、ケアアドバイザーにて、レクレーションによる作品作りを行う事が出来た。

大きな変化が見られた方は以下の通り。

- (機能向上が見られた方) 9名
- (機能維持が見られた方) 77名
- (機能の低下が見られた方) 13名

(福祉用具一覧表)

車椅子	112台	
歩行器（シルバーカー含む）	16台	
杖（T字杖、多点杖）	13本	
ポータブルトイレ	6台	
体圧分散マット（ジェルマット含む）	11	
エアマット	9	
センサー付きエアマット	16	
施設内のベッド数		
電動ベッド	65台	
センサーベッド	40台	<b>総数105台</b>

## 栄 養

- ・今年度の全体目標である「みんなで作ろう、あったか笑顔」を実現できるよう厨房職員は利用者様を想い旬の食材を取り入れた季節感のあるメニューや利用者様から要望のあったメニュー、家庭的で温かみのある食事内容・環境作り衛生面等に配慮し安心安全な食事を提供することを目標に令和7年度は業務に臨んできました。

次年度も引き続き季節の食材を使用した献立、利用者様からの聞き取りで得られたご意見や要望に沿える献立の作成を行っていきます。調理方法や食材の硬さ、食べやすい大きさ等の情報を職員間でしっかりと共有し、器や盛り付け等、見た目からも「おいしそう」「食べたい」と思っただけのような食事提供を目標に業務に取り組んでいきます。また、調理の際は必ず2人以上で味見を行い、味付けや硬さ等の確認を行っています。

- ・食事を楽しんで召し上がって頂く為に、選択食や誕生日食・ラーメン(丼物)の日の実施。
- ・季節に応じたおやつを提供、極細・ペースト食を召し上がる利用者様へ飲みがしやすく見目が良いソフト食の提供も継続していきます。

#### ■選択食等通常メニューと異なる食事提供の実施結果

選択食（ラーメン丼物の選択も含む）	：月 2 回
誕生日食	：月 1 回
変わりご飯（丼・混ぜご飯）	：月 2 回以上
パン・麺の日	：月 2 回以上

#### ■予算管理

- ・給食食材費の予算内運営を目標に、在庫管理の徹底や使用食材の見直しを行いました。
- ・次年度も食材ロスや使用頻度が多い食材の価格変動等に注意し予算内運営を目指します。

#### ■利用者様の健康管理

- ・月に 1 度の体重測定結果や年に 1 度の健康診断時アルブミン値・血液データの管理、食事摂取量の把握で利用者様の栄養状態を確認しました。栄養状態に問題がある場合は、ケアプラン会議や医務診察の際に提起し医師や多職種で話し合いを行い状態改善や維持・向上に努めました。

#### ■感染症の予防

- ・手洗い・うがいの徹底、次亜塩素酸によるトイレの消毒、厨房内の衛生管理、厨房器具の消毒、体調チェックを行い、感染症予防に努め、厨房からの感染拡大に注意し取り組みました。また厨房内に感染症を持ち込ませないためにも、調理員は基本的に厨房から出ず、感染症予防に努めました。
  - ・利用者様の感染症が疑われる発熱の際には、使い捨ての弁当箱を使用し、厨房内に感染症を持ち込ませないよう努めました。
- その結果、ノロウイルス等の感染症・食中毒の発症はありませんでした。

#### ■ヒヤリハット件数

- ・前年度のヒヤリハット件数は合計で 6 件でした。内容は、配膳ミス：3 件、調理ミス 3 件でした。今年のヒヤリハット件数は配膳ミス 3 件、調理ミス 1 件、厨房内での怪我 2 件の合計 6 件となりました。
- ・次年度は配膳ミスや怪我のないよう、環境整備やお互いに声かけ、確認を行いながら引き続き利用者様に安心安全な食事の提供ができるよう努力していきます。

## **職員外部研修参加状況**

4月10日	機能訓練指導員研修委員会	1名参加
5月15日	認知症高齢者に寄り添う	1名参加
5月15日	福生安全運転管理者部会定期総会. 定期講習会	1名参加
7月12日	機能訓練指導員研修委員会	1名参加
10月16日	機能訓練指導員研修委員会	1名参加
11月28日	生産性向上セミナー	2名参加
12月12日	生産性向上セミナー	1名参加
12月13日	生産性向上セミナー	1名参加
12月28日	生産性向上セミナー	1名参加
1月17日	介護報酬事務に関する研修会	1名参加
2月4日	高齢者虐待	2名参加
2月4日	安全運転管理者講習会	1名参加
3月28日	高齢者虐待防止に関する研修	1名参加
3月29日	高齢者虐待防止に関する研修	3名参加
3月30日	高齢者虐待防止に関する研修	2名参加
3月31日	高齢者虐待防止に関する研修	2名参加

## **職員内部研修**

職員としての心構え・基本理念・基本方針を正しく理解し、全職員の資質の向上に取り組みました。

### ・内部研修の開催実績

4月	①「虐待防止の基礎知識」	②「感染症の基礎知識」
5月	①「認知症の基礎知識」	②「身体拘束廃止の基礎知識」
6月	①「法人理念・ハラスメント対策」	②「褥瘡予防」
7月	①「個人情報保護の基礎知識」	②「事業継続 BCP 計画について」
8月	①「事故防止・2階事例検討」	②「看取介護」
9月	①「事故防止・1階事例検討」	②「職業倫理」
10月	①「事故防止・3階事例検討」	②「感染予防策の取り組み」
11月	①「身体拘束廃止と人権の尊重」	②「LIFE 科学的介護」
12月	①「認知症事例検討」	②「看取り介護の振り返り」
1月	①「褥瘡・廃用症候群」	②「守秘義務・個人情報」
2月	①「サービスマナー」	②「レクリエーションの体験」
3月	①「介護過程の展開」	②「虐待防止・不適切介護」

令和7年度の内部研修は、正職員・非常勤職員ともに多くの内容を学び合いました。

学んだ知識と技術は仕事に活かせるよう、質の高いサービス提供が出来るように取り組みました。新入職員には入職時のオリエンテーションを行いました。

エルダーメンター制度により、指導担当者による指導と業務内で行うOJTの強化を行い、介護技術の習得に努めました。指導にあたる側の先輩も指導を受ける側の後輩も、共に学び合うことで進歩することが出来ました。職員間の良好な人間関係の構築にも役立ちました。

・新入職時のオリエンテーション内容

- 「統括施設長のお言葉」「新入職員オリエンテーション」
- 「BCP 計画」「介護職員の人材育成・人材育成新入職員」
- 「福祉の仕事と職業倫理」「看取り介護に関する指針・看取りのマニュアル
- 「事故発生の防止及び発生時対応の指針」「身体的拘束適正化のための指針」
- 「褥瘡対策の指針」「感染症及び食中毒の予防及びまん延防止の指針」
- 「高齢者虐待防止に関する指針」「高齢者虐待防止対応マニュアル」「サービスマナーの指針」
- 「職場内の携帯電話の使用について」

### 苦情報告

令和 7 年度も、利用者様、ご家族・代理人様、外部の方、そして職員から様々な意見が寄せられました。苦情や不満は解決すべき課題として受け止め、真摯に誠実に対応しました。ご家族からは施設の介護に対する温かなご意見を伺うこともできました。

苦情や意見の主なものは、毎月開かれる「苦情対策会議」で取り上げ、苦情の内容とその時行った対応を振り返り、原因を考察し、今後同じようなことが起きないための対策も話し合いました。

#### 苦情対策会議で取り上げられた主な苦情・要望・意見その他

- ① 利用者様より
  - 職員の態度、言葉遣いに対する苦情・不満・・・・・・・・・・ 2 件
  - 職員の介助、業務に対する苦情・不満・・・・・・・・・・ 3 件
  - 生活環境、食事等に関する苦情・不満・・・・・・・・・・ 3 件
  - 他利用者に対する苦情・不満・・・・・・・・・・ 1 件
  - 希望、要望・・・・・・・・・・ 7 件
  - 質問・・・・・・・・・・ 0 件
  - 積極的な意見・・・・・・・・・・ 0 件
- ② ご家族・代理人様からの意見・・・・・・・・・・ 7 件
- ③ 外部の方からの苦情・・・・・・・・・・ 1 件
- ④ 職員からの意見・・・・・・・・・・ 0 件

\*苦情対策会議では取り上げなかった苦情報告が 4 件ありました。そのうちの 1 件は、郵便物の送付先間違いでした。郵便物の送付に関してはダブルチェック等を行い、今後、同じようなことがないように注意していきます。

\*7 年度から、より意見が言いやすい環境作りを目指し、「ご意見箱」を「ご提案箱」に名称変更しました。

\*7 年度も利用者様の希望や要望が多くありました。「リハビリを増やしたい」「もっとお散歩がしたい」「○○が食べたい。○○を飲みたい」等、様々な要望が取り上げられ、利用者懇談会でも多くの希望を伺うことができました。すぐには実現できないこともありますが、年度の目標である「みんなで作ろう あったか笑顔」に沿って、多職種連携で意見を出し合いながら、できることは改善につなげるように努めました。

## **事故防止**

利用者様は身体機能の低下や認知症の進行に伴い、生活の中で様々な危険に遭遇します。起こる可能性のある危険を察知し、あるいは予測し、危険を防止していく必要があります。この「事故防止」を重要な課題として、令和7年度も施設全体で取り組んできました。

実際に起こった出来事は、「アクシデント」とアクシデントに至らなかったものの、危険性を感じた場合の「ヒヤリハット」、重大な結果に至った「事故」の3つに分類しています。「アクシデント」と「事故」は多職種の職員が現場に集まり、カンファレンスを行いました。それぞれの事例について、原因を究明し、対策を考察、その内容をまとめて記録に残し、速やかに対策を実行しました。記録はパソコン入力し、連絡ノートも活用して職員への周知を図りました。毎週行なう事故防止会議で各事例を取り上げ、中でも重大な事故やアクシデントについては、月ごとに行う事故防止委員会でさらに検討を重ねました。

令和7年度の「ヒヤリハット」は258件、「アクシデント」は241件、「事故」は2件でした。アクシデントの内訳は、転倒32件、転落31件、誤食2件、誤嚥1件、誤薬4件、トラブル1件、徘徊1件、器物破2件、盗難・紛失6件、怪我47件、その他51件、未記入63件でした。

その他の中には、内出血、椅子やベッドからのずり落ち、薬の飲み忘れ等が含まれていました。

重大な事故は2件で、1件は転倒による骨折、もう1件は誤薬で、他利用者の定期薬を間違っただけで他利用者様に内服させてしまったものでした。誤薬事故に関しては、内服してしまった利用者様を経過観察いたしましたが、特に異常はなく、普段通りの生活を送ることができています。

今回の「アクシデント」や「ヒヤリハット」の総数は昨年度に比べ、かなり多くなっています。

しかし、「アクシデント」に関しては、内出血等の微細なものでも「アクシデント」として取り上げ、多職種で再発防止の話し合いをし、「ヒヤリハット」も、事故防止の観点から些細なものでも記録に残していこうと職員への意識づけをしてきた結果とも考えられます。その結果、「アクシデント」や「ヒヤリハット」の総数は多くなっていますが、重大事故に関しては、昨年度と比較して半数以上減少しています。

今後も重大事故に至らぬよう、多職種連携して未然に防ぐ取り組みをしていきたいと思っております。

## **排泄**

排泄面の向上を目指し、プライバシーへの配慮と正しい排泄介助方法を学び合い、介護者としての心構えと、技術の習得に取り組みました。

業者の講師による排泄の勉強会は、実際紙オムツや紙パンツを講師や職員が使用して行う等、実践に役立つ内容で、介助方法と排せつ用品や物品の選択に役立ちました。

## **委員会報告**

「みんなで作ろう。あったか笑顔」という合言葉で、利用者サービスの質の向上と安定したサービス提供が図れるよう各委員会、会議を開催しました。

### **衛生委員会**

施設顧問医師を中心に委員会を行い職員の健康管理、衛生会議、労働環境等の指導助言をいただきました。

### **事故防止委員会**

ヒヤリハット事例やアクシデント事例の事例検討等を行い、事故防止に取り組みました。

### **褥瘡防止委員会**

毎月委員会を行い、全職員に注意喚起できるように取り組みました。各部署の協力体制が出来て、皮膚の状態に心配がある利用者様に対して早期対応に努めました。

横になる時間が長い利用者様については褥瘡予防具の使用等により褥瘡予防に努めました。

### **身体拘束廃止委員会**

身体拘束廃止会議を1ヶ月に1回開催して身体拘束に対する知識と認識を全職員に共通認識の下取り組むようにしました。今後も意識を高く持って行きます。

### **排泄委員会**

排泄の向上に取り組みました。利用者様に合わせた物品を使用するためにアセスメントするとともに、排泄用品の使用状況を確認もしてコスト意識を持ち、排泄の改善に取り組みました。

### **厨房委員会**

利用穴者様の「食」に対する、希望を少しでも実現に近づけることが出来るように、各部署で協力し、検討や相談を委員会にてすすめました。利用者様の声を献立に反映できるようにしました。また、利用者様にとって食べにくさ等不都合の改善策と職員にとって介助上の不都合の改善策を委員会の中で検討と確認をして、実行に結び付け業務の改善に取り組みました。

### **看護と介護の連携委員会**

看護師、介護士他各部署の代表者で話し合い、業務内容や利用者様情報を共有することにより連携が深まりチームケアの強化が図れました。

### **科学的介護推進委員会**

毎月ライフについて学び、入力方法の確認や利用者様の状況確認等を行いました。

入退所者の確認も行いました。

### **業務継続委員会**

どのような場合であっても、業務が継続できるように対策等を話し合い、検討し、BCP計画の策定と計画の見直し等を行いました。計画に基づく訓練を行いました。

### **生産性向上委員会**

利用者様の生活の質の向上と、職員の働きやすさを目指し、生産性の向上に取り組めるよう、話し合いを行いました。

### **業務検討委員会**

業務について、改善が必要な事を話し合い業務効率化と、働きやすい職場環境改善に向けて話し合いました。

### 忘年会活動報告書

コロナウィルス等、感染症予防の観点で福陽会合同忘年会は行われませんでした。研修、ミーティング等を行い、働きやすい職場環境作りに取り組み、その中で職員間のチームワークが醸成され親睦も深まりました。

### 職員旅行活動報告書

忘年会同様、コロナ等の感染症予防の観点から職員旅行は中止となりました。職員は私生活においても感染症の予防に努めました。

### クラブ活動

令和7年度も、様々な余暇活動を計画、実施しました。

クラブ活動は、ボランティアの講師の方に来園頂き、実施する事ができました。利用者様には、お好きな花や書道を前に、生き生きとした楽しそうなご様子が見られました。クラブ活動以外でも、いろいろな体操や散歩・ドライブ等を実施しました。利用者様同士の交流も生まれ、生活の中で、楽しさや喜びも感じていただけたと思います。

#### 茶 道

活動回数	0回	参加延人数	0名
活動報告	茶道 0回 0名 ※令和7年度は先生が見つからず開催できずでした。文化祭にも茶道は行いませんでした。		

#### 華 道

活動回数	18回	参加延人数	146名
活動報告	矢野芙美子先生、下野美穂子先生お二人に来園いただき、毎回2階ホールにて花を活けました。 皆様、それぞれ好きな花々と花器をご自分で選び、先生と相談しながら活けておられました。 生のお花に触れる機会を楽しまれ、利用者様同士でお互いに「きれいねえ」と言葉を交わされていました。 華道の経験をお持ちの方も、初めての方も、皆さん楽しそうに取り組まれました。 活けた後には、笑顔で記念写真を撮りました。 毎月のクラブ活動に加え、文化祭には、会場がきれいな生花で彩られました。		

### 書 道

活動回数	18回	参加人数	160名
活動報告	<p>米田穂積先生に來園いただき、2階ホールで、月2回、書道の道具・お手本を広げて開催しました。</p> <p>筆を持つのは学生の時以来と言われる方もいて、皆さん熱心に取り組まれていました。中には大切なご家族のお名前を書かれ、ご家族に自慢げにお話をされるなど、たくさんの笑顔がありました。</p> <p>文化祭では、2階ホールに作品を展示しました。</p> <p>文化祭当日には、多くの方に見ていただきました。ご自分の作品を見つけると皆さん嬉しそうでした。職員の作品も展示しました。</p>		

### 鑑 賞 会

活動回数	6回	参加延人数	74名
活動報告	<p>リハビリレクリエーションとして、各フロアでテレビを使い、映画やユーチューブの歌番組等を鑑賞しました。利用者様は懐かしい歌手の歌等を鑑賞し、一緒に歌を口ずさんだりと大変喜ばれていました。</p> <p>今年度途中よりレクリエーション担当職員が配置されました。映画や番組だけでなく、紙芝居や“画像でみる昭和”映画スター写真集、等を使い、単に見るだけではなく、感想やご意見をいただく参加型の鑑賞会を行い、楽しんでいただくことができました。</p>		

### ラジオ体操・テレビ体操

活動報告	<p>各フロアで、毎日時間を決めてCDでラジオ体操の音楽をかけ、皆さんに行ってもらいました。また、その他の時間にも職員が声をかけ、テレビ体操の時間にチャンネルを合わせて体操を行いました。</p> <p>介護予防体操のユーチューブを流すと、多くの方が自分で体を動かして楽しんでおられ活性化を図ることが出来ました。</p>		
------	---	--	--

### 喫 茶

活動回数	1回	参加人数	10名
活動報告	<p>2階ホールにて、コーヒー、紅茶、日本茶とお茶菓子等を用意して「喫茶」を開催しました。好みの飲物を選んでもらい、普段食べる機会がほとんどない菓子パンを召し上がってもらいました。</p> <p>会場では明るく爽やかな音楽かけ、提供するお皿もカラフルな物にして、「喫茶」らしい雰囲気を演出しました。</p>		

### 手 作 り お や つ

活動回数	10 回	参加人数	848 名
活動報告	<p>家庭で作るような、素朴な「おやつ」を手作りして利用者の皆さんに召し上がっていただきました。</p> <p>顔なじみの職員が作るおやつを楽しんで下さり、「おいしかったよ」「もっと食べたい」というお声をいただきました。</p> <p>5月 プリンアラモード・・・・・・・・・・92名          6月 白玉ぜんざい・・・・・・・・・・92名          8月 プリンアラモード・・・・・・・・・・93名          9月 杏仁プリンデコレーション・・・・95名          11月 デコレーションパンケーキ・・・・71名          12月 白玉ぜんざい・・・・・・・・・・99名          1月 プリンアラモード・・・・・・100名          2月 フレンチトースト・・・・100名          3月 ケーキ（スポンジケーキデコレーション）・・・93名</p> <p>*おやつ作りをする職員は毎月細菌検査を受けた</p>		

### 外 出 の 日

活動回数	散歩 18 回 ドライブ 4 回	参加人数	散歩 79 名 ドライブ 21 名
活動報告	<p>近くにある福生市の多摩川中央公園やその周辺へ散歩に出かけました。</p> <p>春は桜やチューリップ、新緑の景色を眺めに行きました。</p> <p>散歩をしている家族連れに挨拶したり、犬好きな方は犬を目で追ったり、それぞれが楽しんでいました。秋にはコスモスの花壇を見、冬も暖かな日には散歩に出かけました。外の空気を吸って、遠くの山や空、広々した景色を眺めて、皆さん喜ばれていました。ドライブでは、秋には紅葉を見に出かけました。車中では、皆さんおしゃべりを楽しまれていました。</p>		

### 園 芸

活動回数	2 回	参加延人数	16 名
活動報告	<p>園芸クラブでは、毎年施設の裏庭にて、花や野菜を育てています。</p> <p>春には、花と野菜の苗を植えました。</p> <p>その成長の様子を観察し収穫を楽しみにしましたが、猛暑により収穫はあまりできませんでした。</p> <p>しかし収穫量は少なかったですがキュウリや赤く熟れたトマトを手にとり、『おいしそうね。』と喜んで頂く事も出来ました。</p>		

### 製 作

活動回数	9 回	参加人数	98 名
活動報告	<p>各フロアで季節に合わせた作品の製作を行ないました。秋の文化祭には、多くの利用者様が作品作りに参加し、それぞれを集めて壁飾りアート作品に仕上げました。文化祭会場に展示し、来場者に鑑賞していただきました。明るい色調の作品が会場の雰囲気盛り上げてくれました。</p>		

## 防 災

「突然大きな地震に襲われる」「火災が発生する」「不審者が侵入する」「感染症のクラスターが発生してしまった」等々を想定して今年度も訓練を行いました。

いかなる状況であっても、利用者様へのサービス提供を継続して行うという私たちの使命を、職員一人ひとりが自覚しながら職務にあたるように取り組みを行いました。

### **令和7年度 訓練の記録**

#### **令和7年4月23日 地震想定 避難訓練 総合訓練を行う。☆**

午前11時過ぎに大規模地震発生。地震の影響による火災発生。出火元は厨房とする。自動火災報知器作動後からの通報訓練、消火訓練（初期消火）、避難訓練を含む総合訓練を行った。一連の動きはスムーズに行うことが出来た。職員15名入所者様100名参加。

#### **令和7年5月27日 消防設備・備品確認 部分訓練を行う。☆**

事業計画では、「寝たきりの利用者様 避難訓練」を行う予定であったが、4月入職者含め新人職員が施設内に多いため、全職員に周知を図るために、新しい職員を中心に消防設備や消防用備品の確認をした。合わせて防災用品と備蓄品の確認や使用方法を確認し、知識を高めるための訓練とした。

#### **令和7年6月17日 自衛消防訓練を行う。☆**

令和7年度の自衛消防隊員に自衛消防隊の役割について机上にて説明する。有事はいつ生じるかわからない。自衛消防隊員は有事が生じた際、だれよりも冷静に必要な行動がとれるよう、今回の訓練を通して防災意識を高める。自動火災報知器作動、通報、消火、避難、一連の動きについて確認した。

#### **令和7年6月18日 BCPシミュレーション訓練 自然災害**

自宅で震災にあった場合を想定して、自分自身（家族含む）の身を守る様にするための訓練を行う。

#### **感染症及び食中毒の予防及びまん延の防止のための訓練**

BCP訓練の実効性を高めるために、現在のBCP計画上の業務分担（優先業務の選定）について机上訓練を行う。課題があればその課題を抽出して対策・変更等を行い、実態に即したものにしていく。

#### **令和7年7月28日 自衛消防訓練を行う。**

令和7年度の自衛消防隊員に自衛消防隊の役割について説明する。6月は机上での説明がメインであったが、当月は有事の際に求められる行動について現地現物をみながら訓練を行った。“実際に自動火災報知器が作動したら何をどうしたらよいか、”など、自動火災報知機の受信盤を防火管理者が必要な手順・行動を自衛消防隊員へ周知した。

#### **令和7年8月20日 自衛消防訓練を行う。☆**

6月・7月の訓練を通して、“もし今、自動火災報知機が作動したらどうするか、”を理解し、自衛消防隊員自らが率先して行動できるよう、通報、消火、避難が必要な状況を想定し、一連の動きについて確認した。

#### **令和7年9月6日 避難訓練（机上）を行う。**

令和7年10月8日福生消防署、町会、サンシャインビラによる合同訓練予定あり。

来月の訓練を前に、自衛消防隊員を中心に火災が発生した際の行動について確認する。

施設内の消防設備、消火器・消火栓の使用方法的確認をする。

#### **令和7年10月7日 感染症及び食中毒の予防及びまん延の防止のための訓練**

個人防護具着脱訓練、実際に着脱をしてみよう指導を受ける。

**令和7年10月8日 BCPシミュレーション訓練 福生消防署・町会合同による消防訓練（総合訓練）☆**

参加人数：福生消防署6名、町会1名、施設職員20名

想定：1階西側エリアにて火災報知器作動。煙も発生している（外部から火災とわかる）。

1階西側エリアにて火災報知器作動を確認する。施設内では、自衛消防隊編成、出火元の確認、通報・消火・避難の一連について訓練を実施する。町会の方も煙を確認して、消火器を持ち火元へ向かい、初期消火に合流する。福生消防署の総評では、自動火災報知器が作動してから火元断定・初期消火までの流れがスムーズだったとのこと。ただし、今回訓練に参加した者だけでなく、職員一人ひとりが同じように行動できるように今後も訓練・研修を重ねていくようにとの指導あり。町会の方にも参加いただき、自助・共助・公助の重要性を改めて感じる事ができた。また、ポンプ車を使用し、施設内にある1号消火栓と同じ水压を体験することができた。

**令和7年11月11日 感染症及びまん延の防止のためのシミュレーション訓練  
BCPシミュレーション訓練（感染症）**

「まかない君」を使って昼食を作成する。

メニューは備蓄品を使用し災害時のメニューを利用者様の昼食とする。職員も実際に体験してみる。

**令和7年11月13日 消火訓練・夜間想定で行う。☆**

夜勤担当者への研修として、もし夜間に自動火災報知器が作動したら…を想定して、自衛消防隊編成、通報連絡、初期消火、避難誘導の一連の訓練を行う、今回は自動火災報知機の受信盤、煙探知機、熱感知器の見方、消火器、消火栓の使い方を重点的に行った。

**令和7年12月1日～12月8日 BCPシミュレーション訓練（感染症）**

西多摩保健所から手洗いキットを借り、各自自分の手洗いを振りかえる。手洗いの重要性を認識し、正しい手洗い方法を身に付ける。

**令和7年12月17日 BCPシミュレーション訓練（自然災害）☆**

様式6-災害：備蓄品リストの充実を図りより施設の状況に合ったBCP計画とするために11月19日業務継続委員会で現状のものを各部署の責任者に配布し12月17日までに確認・検討・必要であれば修正・加筆等を加え12月17日に全体で確認・検討し机上のBCPシミュレーション訓練とする。

**令和8年1月22日 避難訓練・地震想定**

明け方5時ごろ地震発生。夜勤者5名の身の安全をはかり、地震がおさまりに利用者様の安否確認、各居室の落下物の確認を行う。

**令和8年2月26日 総合訓練・洪水訓練**

福生市ハザードマップを参照し、施設の被害予測をもとに机上訓練を実施する。

1～3mの水没リスクがある状況に対し、各部署での対応について確認する。

人命は最上階の3階、必要物品は2階ホールに保管することで、万が一水害が生じても施設サービスが継続できるよう備えておく必要がある。机上でのシミュレーションであったが各部署内で「これはどうなるのか」と関心や疑問を持ち課題を明確にし、「このように改善したほうがいい」等の改善に必要な意見もでた。

**令和8年3月19日 令和7年度 振り返り**

令和7年度の自衛消防訓練活動を振り返り、訓練成果の評価を行い、令和8年度の自衛消防訓練についての計画作成につなげる。

☆ 印は消防署通知しました

## **使用物品等**

日常的に使う使用物品の管理を行い、在庫が少なくなると事務所に連絡をして事務所で発注しました。納品された物品は、介助員が所定の場所に片づけて管理をしました。

## **シーツ等リネン類の発注管理**

シーツ交換は、業者に委託しています。

リネン類の在庫等の数量管理も委託先の業者が行っています。

定期的なシーツ交換以外のシーツ交換は、介護職員が行い、利用者様の寝具類を心地よい状態に保っています。

環境整備・感染症予防・褥瘡予防・安眠・事故防止等に配慮して清潔保持を支援しました。

## **おむつ等管理**

紙おむつ類の使用については、排泄委員が中心となり、利用者様にとって良い物を、無駄なく効率的に使用できるよう取り組みました。吸収量が多いパットを使用することにより利用者様に快適に過ごして頂く事が出来ました。試用方法等の管理を行いコスト管理も行いました。職員全員がコスト意識を持ち使用するよう努めました。全体の在庫の管理をしながら発注し、過不コスト管理のため、足なく使用する事が出来ました。

### 年間行事の実施状況

行 事	実 施	内 訳	金 額	小 計
観桜会	4/13 (日)	模擬店食材等 謝礼 (原島憲天様)	35,658 33,411	69,069
端午の節句	5/5 (日)	お菓子 飲み物	26,588 3,015	29,603
ゲーム大会	6/17 (火) 6/22 (日)	飲み物	13,446	13,446
納涼祭	7/13 (日) 1・2階 7/29 (火) 3階	デザート代 ボランティア 飲み物等	42,282 10,000 8,757	61,039
地域祭礼 八雲神社祭礼	7/26 (土)	お祝い 食品、飲み物	10,000 36,661	46,661
敬老会	9/14 (日)	花代 お菓子 飲み物 色紙他材料費	31,000 14,190 3,453 770	49,413
文化祭	10/26 (日)	お花代 ケーキ・飲み物 太鼓御礼 かつぼれ御礼 材料費	4,400 55,171 70,000 10,000 330	139,901
クリスマス	12/21 (日)	ケーキ 飲み物 お菓子 材料費	43,182 11,101 17,512 3,085	74,880
餅つき	12/28 (日)	もち米と もち取り粉	9,700	9,700
新年式典	令和8年 1/1 (木)	門松 お飾り等 花 飲み物他	48,400 18,466 15,000 894	82,760
節分祭	2/3 (火)	ボーロ	2,376	2,376
ひな祭り	3/1 (日)	花 飾り 和菓子	2,100 4,729 10,557	17,386

合計 596,234円

### **ボランティア受入状況**

市民ボランティアの方他、2025夏体験ボランティアの方等、今年度は感染症対策を行いながら、ボランティアの方々に施設内で活動していただく事が出来ました。

### **実習生・研修生受入記録**

令和7年度は、感染症対策等、受け入れ方の工夫をしながら、中学生の職場体験、介護福祉士養成校の生徒さんの実習、初任者研修の施設実習等の受け入れを行いました。

### **地域交流参加等の状況**

地域交流は重要なこととの認識のもと、福生市民生委員の方々に施設に来園頂き、施設内のご案内や、行事の様子、食事(食形態等)の試食等、交流の機会を持つことが出来ました。

地域の祭りでは、町会の方々が神輿やお囃子を披露して下さり、利用者様が直接地域行事に触れることで活性化が図れたとともに、ご自分が地域住民であるということを感じていただけたものと思います。

8月には福生のメインイベントともいえる「福生七夕まつり」の民謡パレードに法人として参加し、サンシャインビラからも代表職員が参加しました。

## 令和7年度短期入所生活介護事業報告

### 1. 基本方針

福陽会の理念である「その方が、その方らしく生活できる環境づくり」をモットーに、利用者様が健康で笑顔あふれる日常を過ごせるよう目標を定める。

- ・利用者様の心身共に健康な生活を保持する。
- ・利用者様の個性を尊重した生活を配慮する。
- ・生活に希望と生きがいを持てるよう環境の整備と季節感のある行事を行う。

#### (1) 月別利用者様の延利用日数

4月	42日	5月	0日	6月	0日
7月	0日	8月	0日	9月	19日
10月	19日	11月	0日	12月	0日
1月	9日	2月	28日	3月	31日

1年間に、延べ日数で合計148日利用していただきその結果、稼働率は20,22%でした。

従来型多床室で個室がありませんので、感染症の感染防止策等により2床のベッドの二人部屋に1名の方が利用するという状況もありました。

#### (2) 協力病院・地域の医療機関等と連携を図り、ご家族様とも協力し合い、健康管理を行いました。

### 2. 重点目標

理事長、統括施設長、施設顧問医師からご指導をいただき、職員一同力を合わせて利用者様のその方らしい生活支援、感染症予防策の徹底、サービスの質の向上に取り組みました。

- (1) 緊急な入れを行う環境を整えて準備しました。
- (2) 重度要介護者の受け入れ環境を整えて準備しました。
- (3) 内部研修とOJTを強化しました。
- (4) 各部署のチームワークで感染症の予防と拡大の防止策を徹底して行いました。

生活の場として安全であるように環境を整え、その方のご利用期間中を安心して安全に過ごしていただき、その後は安心して居宅生活へ戻っていただけますようにと考えて、支援いたしました。

2025 年度  
事業報告書

社会福祉法人 福 陽 会

特別養護老人ホーム 第2サンシャインビル  
短期入所生活介護・介護予防短期入所生活介護（ショートステイ）

## 1. 事業報告（総括）

職員間での報告相談を中心に、「その人らしく生活できる環境づくり」の追求を深めて行く事により、利用者個々の充実した生活が送れるよう支援する事が出来た。新型コロナウイルス等の影響により面会制限や活動自粛等をせざるを得ない状況が続いたが、コミュニケーションの増加やフロア毎の諸活動の企画及び実施により、日常生活を楽しんでもらう事が出来た。

地域交流については、加美町会の運動会への見学参加や福生さくらまつり参加、地元加美町会や福生市との合同防災訓練実施、小中学校や夏体験ボランティアの受け入れ等も実施。又、地域包括との連動についても継続的に行う事ができた。行事時の地元演芸ボランティア慰問も前年度より再開とし、ご家族参加も再開できた事で3大行事は利用者様にも大変喜ばれる状況であった。

面会についてはフロアラウンジでの面会を継続し距離が近くなった事で利用者様やご家族様から喜びの声やたくさんの笑顔を見る事ができ、利用者個々の生活の安定に繋げる事ができた。

研修関係についても、施設開設以来変わる事の無い理事長・統括施設長・施設顧問医師の福陽会の理念を職員個々に十分に理解・浸透させる事ができた。今年度も内部研修を中心に定期研修会では外部講師を招いての研修は大変好評であり、フロア毎の内部研修の実施も継続する事ができた。

利用者の健康管理については、平均介護度 3.96 と重度化が継続している中、施設顧問医師の指導による日々の健康チェックと日常観察等を介護・看護職員が連動して行い、病気の早期発見・早期治療に努める事ができ、精度の高い感染症対策や看取り介護の実践が継続できた。同時に施設顧問医師を中心にこれまでと同様に充実した内容の感染症対策委員会を開催し、感染症に対する知識を深める事が出来た。

環境面についても、夏の猛暑に対しては前年度同様ボイラーの稼働時間の変更により夜間も快適な室温を提供、冬の乾燥対策として加湿器の増加、補助金により新たなベッドの導入等、より過ごしやすい環境が提供できた。

一方では、開設から 30 年が経過し、各設備の消耗や老朽化が更に進んでおり、エレベーター入れ替え工事や各種設備点検による機器交換等の施設備品修繕は大変高額なものとなった。修繕等については今後も消耗状況による各設備の入替え等、続いていく可能性が非常に高い為、施設全体の経費の見直し・削減を進めていき、効率的な施設運営を目指すと共に、利用者並びに施設職員が明るくそして幸福感や満足感を常に感じてもらえるような活気ある施設作りを強化並びに継続して行きたい。

### 【事業計画達成状況】

利用者様が明るく豊かに生活でき、利用者様のご家族様が施設生活に対して信頼や安心を感じてもらえるような、個々のニーズにあったサービス提供並びにプライバシーに配慮したサービス提供の充実をはかるべく、事業運営を心がけ、そして利用者・地域住民から評価される質の高いサービス提供することができた。年度当初目標を常に心がけ、一年間の事業運営にあたり、結果として、稼働率状況はやや安定的ではなかったものの、利用者個々の生活状況は穏やかで明るいものであったように思われる。次年度以降も職員が初心を忘れずに各自が責任を持って業務や利用者生活のサポートを遂行していく。

2. 職員構成 3月31日現在

担当職	職名	職員	非常勤
理事長		1	
統括施設長		1	
施設顧問医師			1
医師			5
産業医			1
施設長		1	
副施設長		1	
事務長		1	
事務員		1	2
生活相談員	主任生活相談員	0	
	生活相談員	3(2)	1
	介護長	0	
介護支援専門員		(2)	
介護職員		39	30
医務	医師		6
	看護主任	0	
	看護職員	6	1
	事務		0
機能訓練指導員	機能訓練指導員	4	
	P T		2
厨房	管理栄養士	2	
	調理員	11	1
保守管理・宿直	介助員	2	9

\* 兼務職員は主たる職務に記載し、  
兼務している職務では（ ）内に  
記載

\* 清掃・洗濯の  
一部はシルバー人材より派遣

\* 提携病院 あきる台病院

\* 介護派遣 0名

3. 会議・懇談会・委員会開催状況報告書

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	回数 合計
相談員会議	23	14	11	9	20	10	8	12	10	14	11	11	12
栄養会議	23	14	11	9	13	10	8	12	29	26	23	23	12
全体会議	9	14	11	16	20	10	8	12	10	14	18	11	12
栄養会議	23	14	11	9	13	10	8	12	29	26	23	23	12
行事業務検討委員会	21	19	16	28	-	1.29	27	24	29	26	23	23	12
行事計画委員会	28	26	23	28	-	1.29	27	24	29	26	23	23	12
リーダー会議	21	19	16	28	-	1.29	27	24	29	26	23	23	12
苦情処理委員会				14				10			9		3
苦情処理委員会													
事故対策委員会		12					13			12			3
虐待・拘束廃止委員会			9			15			8			9	4
個人情報保護推進委員会					11								1
実習研修推進委員会	17	15	19	21	18	22	20	17	15	19	16	16	12
厨房会議	5					6	2		12	16	13	13	7
ケース会議	14	12	9	14	11	15	13	10	8	12	9	9	12
	28	26	23	21	18	22	20	17	15	19	16	16	12
リーダー会議													
施設内レクリエーション委員会	17	15	19	14	11	15	13	10	8	12	9	9	12
広報委員会		8		10		11		13		8		12	6
褥瘡予防委員会	14	12	9	14	11	15	27	10	8	12	9	9	12
衛生委員会	22	27	-	1.22	19	30	21	25	23	27	24	23	12
感染症対策委員会	28	26	23	21	18	22	20	17	15	19	16	16	12
協力医療機関連携会議	8	13	10	8	19	9	9	11	9	13	10	10	12
利用者懇談会						24	29	26			25	25	5
法人合同会議	28	26	26	24	28	29	23	20	25	22	27	26	12
協力医療機関連携会議													

書式変更：中央揃え

書式変更：中央揃え

書式変更：中央揃え

書式変更：中央揃え

4. 市区町村別入退所状況

	入 所		退 所		合 計	
	男	女	男	女	入 所	退 所
葛 飾	0	1	1	2	1	3
国 立	0	1	0	0	1	0
江 東	0	0	0	1	0	1
杉 並	0	0	0	0	0	0
世田谷	0	1	1	1	1	2
立 川	2	0	3	1	2	4
福 生	4	10	4	17	14	21
文 京	0	1	0	0	1	0
目 黒	0	0	0	0	0	0
その他	6	16	10	11	22	21
合計	12	29	19	33	41	52

## 5. 利用者外出・外泊・面会状況

	外出		外泊		面会		
	人数	延回数	人数	延日数	対利用者	延人数	1日平均
4					168	203	6.8
5					167	303	9.8
6					166	201	6.7
7					163	214	6.9
8					221	165	5.3
9					162	202	6.7
10					161	226	7.3
11					161	221	7.4
12					157	275	8.9
1					161	270	8.7
2					168	220	7.3
3					167	266	8.6
合計	0	0	0	0	2022	2766	7.6

## 6. 処遇報告

### 1) 2F 事業報告・活動報告

【フロー目標】認知症の方の行動・症状を理解しその方に合った接し方、ケア、本人の尊厳を大事にして、出来ることをいかした生活が送れるよう支援していきます。

#### ① 年間を通じて

前期目標を達成する為、利用者様の生活環境を整え、利用者様の体調を整え、体調の変化に気を配り、年間行事への参加や外出支援、フロア活動としての季節ごとに企画したレクリエーションを行う事が出来た。後期目標に関しては、利用者様の体調管理に介護職員と医務との連携にて利用者様の体調の変化の早期発見とその後の対応を迅速に行えた。また、嘔吐処理などの感染対応のフロア研修日を設定し、

#### ② 安全対策

夜間帯、センサー反応がよく、色分けされたものに変更した物を使用し区別がつきやすく利用者の見守り精度が上がった。また利用者のADL低下、認知症の進行を考慮した居室変更を行い、対象利用者の転落、転倒のリスクを各職員が共有し夜間帯の安全対策強化とした

#### ③ フロア活動報告

##### 【利用者ショッピング】

新型コロナ感染症対策のため中止。

##### 【フロア外出支援】

新型コロナ感染症対策のため中止

##### 【フロアレクリエーション】

人員不足のため不定期で季節感のないカラオケ、などのレクリエーション活動になってしまった。ただ、掲示物にかんしては利用者とともに季節感のあるものを作成し面会スペースやフロア内に掲示できた。

##### 【フロア研修会】研修委員主催

事故報告が出た場合、なるべく早くミーティングをするように心掛け、改善、再発防止に努めフロア全体が把握、周知できるように取り組むことが出来た

## 2) 3F 事業報告・活動報告

### ① 利用者の個別ケアについて

ケアプランに基づいた個別ケアについて、職員一人ひとりが理解、発信することがフロア全体で概ね実践出来ており、情報共有についても昼のミーティングで当日の利用者の状況についての報告、確認を行い皆で把握することで、その後のケアに活かせるような体制が引き続き定着している。それにより少しの状態変化も察知し易くなり、医務やリハビリへの相談や連携も迅速に行われるようになっており、今後も更に適切で根拠のある個別ケアが実施されるよう継続していく。

リスク管理については、特に前半貼り薬に関しミスが続いた為改めて貼り方や注意事項等のマニュアルを設置し、いつでも見れるようにした上で必ず担当者2名で行うことを徹底することによりその後のミスを防ぐことが出来た。また内出血や剥離を繰り返す、特に皮膚が脆弱な利用者については一目でわかるよう赤いアームカバーを装着し常に意識しながら2名対応を徹底し、こちらもその後防ぐことが出来ている。尻もちなどの事故についてもカンファレンスを通し改善策の迅速な実施とフロアの共通認識により再発防止に努めている。

新型コロナウイルスやノロウイルス、インフルエンザなどの感染症について特に発生することもなく感染を防ぐことができた。各職員もプライベートでのマスク使用など各々が感染症への意識や自覚（かからない、持ち込まない）が高まっている。今後も、[新型コロナウイルスについては5月8日から5類感染症となったが](#)引き続きスタンダードプリコーションを基本に、職員の体調管理や医務との連携、また研修の実施などを通して様々な感染予防に努めていく。

### ② フロアレクについて

利用者様の生活に少しでも潤いを添えられるようレク委員会を中心に活動。フロア内の飾り付けは利用者様からの評判もよく継続している。またベランダの草花や季節の野菜の苗を植えて成長を楽しみにしたり、天気の良い日は外気浴を実施するなど利用者様に少しでも楽しんでいただくよう努力した。その他、日頃よりYouTubeで映画や昭和の音楽を流し、懐かしそうに口ずさむ様子も見られた。外出ドライブ（チューリップ・つつじ）、5階や庭での外気浴、屋台風お楽しみ会（お好み焼き・ゼリ一）、駄菓子屋、たこ焼きパーティー、カラオケ大会、ウクレレ演奏会、二胡演奏会、ミニカステラパーティー、アイスクリーム屋、童謡体操

### ③ 個人の尊厳・認知症ケア

「尊厳」というものの意味を理解し、利用者一人ひとりと真摯に向き合い、個別のケアや利用者特性、認知症の理解については職員指導や研修会の参加などで理解を深めてきた。今後も認知症の利用者様にも安心して施設での生活を送っていただけるよう引き続き努めていく。

### ④ ターミナルケア

終末期、居室担当を中心に居室を思い出の写真で飾り付けしたり、好きだった音楽を流しその人らしい安心安楽な環境づくりに努めた。また、ご家族に感染対応のご協力のもと面会時、大切な時間を一緒に過ごしていただけた。ご家族からの感謝の言葉もいただくことができた。

#### 排泄委員会（感染症委員会）

- ・利用者の状態変化に合わせた排泄材料の検討や排泄表の作成、褥瘡予防策の提案・実施。
- ・感染物品の管理や安全な排泄介助方法、嘔吐処理やガウンテクニックの指導。

#### 美化委員会

- ・感染予防の為に口腔ケアや整容などの物品管理や身の回り品等の整備。
- ・安全や清潔に配慮したフロア環境整備。各種ホワイトボードの確認、修正。

#### レク委員会

- ・季節感のあるフロア内外の装飾。
- ・感染予防に配慮した上でのフロアレクの企画・実行。

#### 研修委員会

- ・より質の高い職員の育成につなげる研修の実施や資料作成等。

### 3) 4F 事業報告・活動報告

#### 年間目標

常に尊敬の念を持ち、利用者一人一人と真摯に向きあうことで、『その人らしい生活感のある暮らし』『心身ともに健康な生活』『笑顔の絶えない楽しい生活』が送れるよう支援をしていきます。

#### 重点項目

##### ① 感染症対策

新型コロナウイルス感染症等の感染症対策においては、引き続き令和2年度のクラスターの経験から学んだ知識を源に、感染予防対策の習慣化だけでなく、さまざまな感染症に対する感染症予防対策の根拠を追求、日々の利用者ケアの見直しを行うことにより、日常的な感染予防対策として個々のレベルアップに繋がった。また、インフルエンザや、新型コロナも5類になったが、未だに流行し続けていることもあり、感染症には特に細心の注意を払い、職員個々に体調管理、プライベートでの注意を心掛けたが、家族間での感染は間逃れず、職員が感染してしまう結果となったが、フロアへ持ち込む事無く、また、医務との連携を図る事で、蔓延すること無く今期を終える事が出来た。今後も常に医務との連携を図りながら感染予防に努めていく必要がある。

##### ② 利用者個別ケア

利用者一人一人のケアプランをケース会議毎に職員に周知することで、フロア職員皆が利用者一人一人の想いやニーズ等の把握や対応、個々の情報を共有し、統一したケアを実施することが出来た。その成果として、食形態の変更、歩行器等の活用による歩行能力の向上、膝等の可動域制限のある利用者へは、機能訓練指導員との協力により効果が見られ、その利用者からは感謝の言葉を頂くこともありました。その事により利用者の生活の質が向上した実績も得られている。職員、利用者間の良好な交流が継続している中で、利用者同士の交流も引き続き多く見られた。外出や面会がままならない状況でしたが、面会制限緩和により、ご家族と過ごす時間も増えてきて、笑顔で生き生きとした利用者の様子がうかがえた。

##### ③ 認知症ケア・個人の尊厳

昨年度と同様、個々の職員が、尊厳という意味を理解することで、フロア内での情報共有をもとに、認知症であっても「その人がその人らしく」生活できるよう、アプローチを個別に工夫、周知することで、利用者、職員共にゆとりを持ち、穏やかな関係性を築くことに努めてきた。また、やむを得ず、医師との相談により抗精神薬の処方となった利用者に対しては、引き続き投薬後の副作用を考える等の意識も高まっている。

##### ④ 看取り介護（ターミナルケア）

昨年度よりひき続き、コロナ等の各種感染症対策にご協力頂きながらも、ご家族への密な状況報告を行う事で、ご家族との面会を円滑に実施することが出来た。ご家族の写真や大切な物、自慢な物、好きな歌等、「その人らしさ」を尊重した環境を整え、居室でもご家族と一緒に過ごされ、支援の手を差し伸べられる機会を提供することにより、利用者、ご家族からの満足度が実感できた。看取りケア実施中にも、様々な意見や思いを寄せ合うことで看取りケアの質を深める努力を継続している。看取り後については、故人のご家族に向けた「思い出のアルバム」を心込めて作成し、数々の嬉しいコメントを頂けた。

##### ⑤ リスクマネジメント

ヒヤリハットに関しては昨年度より減少している。同時に内出血に関しても、昨年度よりも減少している。発見、報告の意識付けと職員全体の目配り気配り等の意識を向上することが出来、事故も減少した。各職種職員間の情報共有にも役立つことが出来た。又、引き続き低床ベッドの活用、センサーの利用を状況に応じ実施している。歩行器、車椅子自乗の方が増加し、出来る限り自由に生活して頂けるようにしている。結果として尻もち、車椅子や椅子、ずり落ち等の事故報告や、些細なことも含めた件数は前年度よりも減少し、骨折に関しては0件に抑える結果となった。

##### ⑥ 生活支援、レクリエーション。

前期と同様に、天候の良い日は外気浴や花見や紅葉ドライブ（車内からの景色観賞）や、お誕生日会で誕生月の方への祝福や、カラオケ、音楽会、や四季折々の装飾等、レクリエーションを企画し実行、また、コロナ流行以降行えなかった、かき氷、お好み焼き、ホットケーキ、綿あめ、アイスクリーム、みかん狩り等の嗜好品も再開する事により、参加された利用者からは、笑顔で喜ばれる姿がみられていた。日常に於いても、利用者同士の楽しむ姿や等の写真を貼り出し、観られる姿も多くありました。また、職員との日頃の何気ない会話やスキンシップを交わりながら楽しそうに笑っている利用者が多く見られていた。（桜、バラ、紅葉、みかん狩り、こいのぼり等）ドライブ10回、花火見学1回、（かき氷、お好み焼き、ホットケーキ、綿あめ）各1回

4) 月間定例行事実施状況

行事 月	喫茶室	おやつ パーティー	ラーメン の日 冷し中華	うどん	希望食 の日	誕生日 会	移 動 美容室	ひまわ り美容 室
4	19	6	6	20	13	27	1445	1144
5	10	17	4	18	11	25	1844	1623
6	21	7	1	15	8	29	17 59	1510
7	19	5	6	20	13	27	944	1625
8	16	2	3	17	10	31	1944	1511
9	20	6	7	21	14	28	1332	1422
10	18	4	5	19	12	26	1147	21
11	15	-	2	16	9	30	1233	1511
12	20	6	7	21	14	28	1865	1526
1	24	17	5	18	11	25	937	1312
2	21	7	1	15	8	22	140	1321
3	21	7	22	15	8	29	1761	1321

5) 地域行事参加状況一覧表

年月日	行事名	人数
9月28日	加美町会運動会	4
3月29日	ふっさ桜まつり	4

6) 施設見学者一覧表

年月日	見学者名	人数	時間帯	適応
4月3日	介護サポーター希望者	1	11:00~11:30	施設見学、打ち合わせ
4月23日	入職希望者	1	10:30~11:30	施設見学、質疑応答
4月30日	〃	1	10:00~11:00	〃
5月20日	〃	3	10:00~11:00	〃
5月23日	関係業者	1	14:00~14:30	施設見学、打ち合わせ
5月29日	シルバー人材センター	2	16:00~17:00	〃
6月3日	福生市総務課	1	14:30~15:00	〃
6月5日	入職希望者	1	16:00~17:00	施設見学、質疑応答

書式変更：中央揃え

6月9日	人材開発センター	1	10:30~11:30	施設見学、打ち合わせ
6月25日	新卒説明会	1	12:00~13:00	施設見学、質疑応答
7月2日	新卒採用選考会	1	13:30~15:00	施設見学、採用選考
8月7日	関係業者	3	10:00~12:00	施設見学、取材
8月18日	新卒採用選考会	1	13:00~15:00	施設見学、採用選考
8月27日	福生市福祉保健部	2	10:00~11:00	施設見学、打ち合わせ
11月6日	入職希望者	1	16:00~17:00	施設見学、質疑応答
11月14日	〃	1	13:30~14:30	〃
11月25日	ボランティア希望者	1	10:00~11:00	施設見学、打ち合わせ
11月26日	入職希望者	1	11:00~12:00	施設見学、質疑応答
1月26日	関係業者	1	10:00~11:00	施設見学、打ち合わせ
1月30日	福生4小教員	2	10:30~11:00	〃
2月11日	新卒採用選考会	1	10:30~12:30	施設見学、採用選考
3月5日	新卒採用選考会	1	14:00~15:30	〃
3月24日	目黒区職員	1	14:00~15:00	施設見学、情報交換

書式変更: インデント: 最初の行: 0字

書式変更: インデント: 最初の行: 3字

書式変更: 両端揃え

書式付きの表

書式変更: 中央揃え, インデント: 最初の行: 0字

※その他施設入所希望のご家族等 多数見学あり

## 7. 厨房事業報告

### ① 各利用者に適切な栄養管理を行い、栄養状態の維持・改善に努める。

・栄養リスク判定

	高リスク	中リスク	低リスク	合計
2025年4月時点	14名(8.9%)	69名(43.7%)	75名(47.5%)	158名(100%)
2026年3月時点	20名(12.7%)	67名(42.4%)	71名(44.9%)	158名(100%)

高リスク者が6名増加、中リスクは2名減少となった。高リスク者増加の要因として3階の体重測定方法が変更となり、全裸で計測することになったため3階利用者の体重減少が目立った。2階:1名、4階:4名と3階以外の利用者的高リスクは抑えることが出来た。

随時、嗜好調査を兼ねたミールラウンドを行い、利用者に合わせて栄養管理を行うことで栄養状態の改善を行うことができた。

### ② 利用者様に喜ばれる食事を提供し、利用者の生活に彩りを添える。

実施内容「三色丼」 実施日 R7.2.22(日)

目的

利用者様に普段の献立では食べられない御飯ものとして、彩り豊かな見栄えのする、味の変わるなどの食べ進めながら楽しんでいただけることを目的として計画しました。

結果

ピンク、黄、茶、緑、色が鮮やかで見た目、とても好評でした。味もとても美味しかったと残さず召し上がって頂けた方も多かったです。

### ③ 徹底した衛生管理を行い、安心・安全な食事提供を行う。

食中毒流行期の初めである6月、11月に食中毒予防の冊子を配布し、厨房職員の食中毒予防意識を高めた。その他、食中毒の情報があった際は栄養士が厨房内に情報を共有し原因と対策について話し合いを行った。

- ・6月作成・配布 「細菌性食中毒の原因と対策」
- ・11月作成・配布 「ノロウイルスの原因と対策」

④ 他職種との連携を密に取り、質の高いケアを提供する。

栄養会議においては低栄養のリスク判定で「高リスク」判定となった利用者を各フロアに共有し、利用者のケアに役立ててもらった。

利用者のおやつは今まで飲料のみの提供であったが、職員・利用者からの強い要望で固形のおやつに切り替えた。利用者からは大変好評をいただき、職員からは利用者の状況に照らしたおやつ内容のアイデアを聞き取り、質の高いおやつ提供を実施できた。

◎行事食等の実施報告

月	日	内容	月	日	内容	月	日	内容
4	4	ラーメンの日	8	1	冷やし中華	12	5	ラーメンの日
	11	希望食の日		8	希望食の日		12	希望食の日
	18	そばの日		15	そばの日		19	うどんの日
	25	誕生会		29	誕生会		22	クリスマス会
	26	観桜会(内部)					26	誕生会
5	2	ラーメンの日	9	5	冷やし中華	1	1	元旦祝膳
	9	希望食の日		7	敬老の日		7	七草粥
	16	うどんの日		12	希望食の日		9	ラーメンの日
	30	誕生会		19	そばの日		11	鏡開き
				26	誕生会		16	希望食の日
6	6	ラーメンの日	10	3	ラーメンの日	2	6	ラーメンの日
	13	希望食の日		10	希望食の日		13	希望食の日
	20	そばの日		17	うどんの日		20	うどんの日
	27	誕生会		18	文化祭(内部)		27	誕生会
				31	誕生会			
7	4	冷やし中華	11	7	ラーメンの日	3	6	ひなまつり
	11	希望食の日		14	希望食の日		13	希望食の日
	18	うどんの日		21	そばの日		20	そばの日
	25	誕生会		28	誕生会		27	誕生会
	26	納涼祭(内部)						

希望食の日 10月～6月は刺身 7月～9月はうなぎ蒲焼

◎給食懇談会の実施報告

月	日	内容	月	日	内容	月	日	内容
4	28	3階聞き取り調査	8	31	4階聞き取り調査	12	22	2階聞き取り調査
5	11	4階聞き取り調査	9	7	3階聞き取り調査	1	28	4階聞き取り調査
6	29	2階聞き取り調査	10	26	4階聞き取り調査	2	22	3階聞き取り調査
7	25	2階聞き取り調査	11	21	3階聞き取り調査	3	6	4階聞き取り調査

## 【医務 2025 年度事業報告】

### 年間目標

- ① 利用者の安全で快適な生活を維持するための看護・医療面での一次・二次予防の推進
- ② 感染症の発症予防及び蔓延防止（新型コロナウイルス、インフルエンザ・ノロウイルス等）
- ③ 褥瘡を含む皮膚トラブルの予防

#### ① 利用者の安全で快適な生活を維持するための看護・医療面での一次・二次予防の推進

- ・看護職員の知識・技術向上の為、施設内研修及び外部研修への積極的な参加を行う
- ・多種職種との情報共有を密に行い、円滑にケアの提供が出来るよう努める
- ・利用者の身体状況を注意深く観察し、異常時は速やかに医師へ報告する
- ・栄養状態の把握のため毎月体重測定を実施し、他部署と情報の共有を図る
- ・年 1 回（4 月頃）利用者健診を実施（採血・心電図・胸部レントゲン）
- ・介護職員への看護・介護技術の指導・助言を行い、質の高いケアの提供を行う
- ・定期的に利用者の認知度をスクリーニングし、認知症の進行防止への介入を行う
- ・夜間の利用者急変時などもオンコール体制のもと、介護職員との連携を図り円滑に対応する
- ・利用者の身体状況に変化がある際は、御家族への連絡を速やかに行う
- ・利用者が快適に生活出来る為の外的環境（室温・湿度）の調整に努める。
- ・1 年に 2 回以上、歯科医師より口腔ケアの実地指導を受け技術の向上に努める。
- ・定期的に歯科医師・歯科衛生士より口腔ケアの個別的助言・指導を受け口腔機能の維持に努める。

研修参加について、今年度は診察と重なり勤務調整が困難な場面があった。次年度は研修リストより開催日を提示し、勤務調整がしやすい環境を整え研修参加を促していく。

情報共有として、ケアコネ導入により以前に比べて情報共有が捗った場面がみられる。情報の細分化を図り今後も適切に情報が伝達できるよう努めていく。また、生活面での情報共有が欠ける場面も多くみられたため、申し送り以外にも適宜問題点をカンファレンスし現場とのケアを共有できるよう努めていく。

利用者の状態異常時や変化のあった時は速やかに医師へ報告し指示受けを行うことができた。しかしながら家族連絡は速やかに欠けた場面もみられたことから相談員との情報共有も密に行い電話連絡を行っていく。

体重測定を他部署連携で測定することにより情報共有に努めた。また、原因となる摂取量については食事介助へ介入し摂食動作、認知機能の変化や歯科医師より口腔内の状態や嚥下状況など個別性のある情報を得てケアが行えるよう次年度は調整していく。また、口腔ケアが行われている事で喀痰量の減少や誤嚥性肺炎の予防効果もあり今後も定期的に口腔ケアの指導を受ける。

#### ② 感染症の発症予防及び蔓延防止（新型コロナウイルス、インフルエンザ・ノロウイルス等） これまでの新型コロナ感染症対策を基に新たな知識や情報を得て、また必要に応じてワクチン接種を行いながら感染対策を強化し、利用者や職員の安全、安楽な対処を行う

- ・感染症予防の基本となる手洗い・手指消毒の施行徹底と介護職員への指導
- ・アルコール消毒液を使用し利用者の手指や居室、フロアの消毒を行う。ノロウイルス感染症が疑われる場合は、0.02%次亜塩素酸ナトリウムで居室・フロアの消毒を行う
- ・加湿器を使用しながら室温・湿度の調整に努める
- ・年間 2 回以上感染症に関する研修会を施設内で実施
- ・各フロアで介護士を中心に嘔吐物処理の実技を行う
- ・年間を通して職員のマスク着用を義務化とする
- ・感染症が疑われる場合は、早期に簡易判別キットを用いて判別する
- ・医師への報告を行い、一定の期間隔離対応を行う
- ・感染症発生時は速やかに医師へ報告し、保健所と連携しながら速やかに感染対応の実施を行う。
- ・新型コロナウイルスやインフルエンザ予防の為、利用者や職員の予防接種を施行
- ・同室者のインフルエンザ感染が確認された場合、隔離対応と医師の指示のもと必要時予防的タミフルを投与する
- ・利用者の日頃からの体調管理に努め、免疫機能の維持・向上を図る

- ・全職員がスタンダードプリコーションを順守できるよう指導に努める
- ・感染症の新たな施設基準を元に各部署連携し実施する

新型コロナ罹患者が4名発生したが、拡大なく収束することができた。また、インフルエンザやノロウイルスによる感染症の発生はなかった。しかし、全体的には感染対策に対する意識が低下しているため、年2度の内部研修や、適宜指導教育を行いスタンダードプリコーションへの意識向上へ繋げられるよう努めていく。また、感染症対策委員会での内容や資料に目を通すよう働きかけていき情報を共有できるよう調整していく。

状態異常時には早期に抗原検査を施行し医師へ報告することが出来た。感染者に対しても居室移動をスムーズに行い隔離に努めることができた。また、隔離対応中のガウンテクニックなどについては適宜指導を行い、罹患予防に繋げられるよう今後も調整を行っていく。

### ③ 褥瘡を含む皮膚トラブルの予防

- ・利用者一人一人に対し、褥瘡発生リスクのスクリーニングを入所時から定期的の実施
- ・褥瘡発生高リスク者には個別計画を作成し、予防に努める
- ・褥瘡発生者及び低栄養者に対し、補食や内服などにより栄養や皮膚形成に有用なたんぱく質の摂取をする
- ・褥瘡形成した場合、褥瘡予防委員会にて報告し各部署で情報の共有及び対応策の検討を行う
- ・オムツによる蒸れやかぶれ予防の為、洗浄後に保湿剤を塗布し予防に努める
- ・軽度の発赤などが見られた場合、速やかに軟膏やドレッシングテープによる保護を行う
- ・オムツ交換や体位変換、トランスなどの方法について介護職員への指導・助言を行う
- ・褥瘡保持者及びターミナル者など高リスク者にはエアーマットを使用し2時間毎の体位変換を行う
- ・日頃から皮膚の保清に努める、皮膚のバリア機能を維持する
- ・褥瘡予防マニュアルの順守
- ・褥瘡形成した場合は速やかに医師へ報告し、処置方法の指示を仰ぐ事や多職種と連携し早期に治癒出来るよう検討をしていく

今年度の褥瘡発生者は3名。治癒に至らず見取りを迎えた方が2名。現在治療中の方が1名となっている。早期の医師への報告や受診については行うことは出来たが、予後不良のケースが目立った。今後の発生予防を強めるためにも利用者様の栄養状態や体形、ADLなどの情報をもとに他職種と連携し、個別性のある予防策を講じられるよう調整を行っていく。また、体位変換やポジショニングなどが効果的に行えるよう現場とも話し合いケアに繋げていく。

## 9. リハビリテーション事業報告

### (1) 総括

令和7年度のリハビリテーションにおいては、利用者の身体的・精神的特性およびその変化を把握し、看護・介護・リハビリテーション各部門が連携しながら、個々に適した安全かつ無理のない訓練の実施に重点を置いた。また、慢性疾患や障害を有する利用者に対しては、運動機能の適切な評価を行い、残存能力や体力を踏まえたうえで、日常生活において発揮可能な能力の予測と適応支援に努めた。また、利用者の言動や動作を丁寧に観察し、その訴えを尊重した関わりを行うことで、精神面の安定および意欲向上につながる支援を実施した。

### (2) 実施事項

- ① 利用者の身体機能を評価し、個別機能訓練計画書を作成
- ② 理学療法士による評価、評価結果および留意事項の周知
- ③ クッション等を使用したポジショニング
- ④ 関節可動域訓練・マッサージ
- ⑤ 筋力強化訓練、起居・移乗・移動動作訓練
- ⑥ 廃用性機能低下の予防
- ⑦ 福祉用具の検討・導入

(3) 結果

- ・関節可動域の維持・拡大、姿勢調整 29名
- ・起居・移乗・移動動作能力の維持・向上 22名
- ・疼痛の軽減 9名

上記のとおり、各項目において一定の成果が認められた。

関節可動域の維持・拡大を主目的とする利用者の増加に伴い、訓練はベッドサイドでの実施が多くを占めた。また、車椅子や歩行器を使用する利用者に対しては、起居・移乗・移動動作能力の維持・向上を目的とした訓練を継続的に実施した。体調不良により訓練を中止した利用者についても、他部署との連携により早期再開を図り、廃用性機能低下の防止に努めた。

これらの具体的事例として、

①腰椎圧迫骨折により疼痛および体幹機能の低下がみられ、日常生活動作において介助を要していた利用者に対し、疼痛軽減を目的としたマッサージおよび関節可動域訓練、下肢・体幹を中心とした筋力強化訓練、起居・移乗動作訓練を実施した。その結果、疼痛は徐々に軽減傾向を示し、手すりを使用した起居・起立動作や方向転換が一部可能となった。また、移乗およびトイレ動作についても一部介助下での実施が可能となるなど、全体としては機能の維持を図りつつ一部改善が認められた。

②体調不良により長期臥床となった利用者においては、回復後に頸部および体幹の関節可動域制限や姿勢不良が生じた。これに対し、ポジショニング、関節可動域訓練、筋力強化訓練を実施した結果、関節可動域および姿勢の一部改善が認められた。また、移乗・トイレ動作については一部介助レベルでの実施が可能となり、全体としては体調不良前の状態に近づく経過が認められた。

③アルツハイマー型認知症の進行により関節可動域制限および筋緊張亢進がみられる利用者においては、入浴・排泄・更衣介助において高度な介助を要し、車椅子座位姿勢の不良も顕著であった。継続的な関節可動域訓練および姿勢調整を行った結果、現状維持もしくは一部介助量の軽減につながるなど一定の成果が認められた。

その他、利用者の身体状況に応じた車椅子やクッション等の福祉用具の選定・調整を行うとともに、生活リハビリに日常生活動作に即した訓練を取り入れることで、残存能力の活用および潜在能力の向上に努めた。

以上より、個別性を重視した訓練および多職種連携による早期介入が、利用者の ADL 維持・向上に有効であったと考えられる。

(4) 反省点

車椅子座位および臥床時の姿勢不良に起因する、皮膚トラブルや関節可動域制限の進行が一部で再発している。これまで褥瘡予防委員会をはじめ、各フロアに対して事例を用いた説明を実施してきたが、十分な再発防止には至っていない。今後も、ケアカンファレンスや褥瘡予防会議等を通じて情報共有を徹底するとともに、再発要因の分析を行い、具体的な対策の標準化を図る。また、ポジショニングおよび除圧に関する実技指導を強化し、職員のケア技術の向上を図る。さらに、定期的な姿勢評価およびチェック体制を構築し、継続的な質の改善に努める。

リハビリ実施報告表

月	ROM・マッサージ			ポジショニング・シーティング			起立・バランス・歩行			理学療法士による評価			
	実施 日数	対象 者数	実施 人数	実施 日数	対象 者数	実施 人数	実施 日数	対象 者数	実施人 数	実施 日数	対象 者数	実施評 価人数	
4	27	43	101	27	11	40	4	27	32	96	3	43	14
5	26	45	142	26	14	36	5	26	31	122	3	45	16
6	27	44	113	27	14	38	6	27	30	100	3	44	12
7	27	41	133	27	12	50	7	27	29	80	3	41	13
8	26	43	107	26	16	52	8	26	27	78	3	43	12
9	26	42	142	26	13	58	9	26	29	81	3	42	13
10	27	44	152	27	19	35	10	27	25	66	3	44	12
11	25	40	150	25	16	37	11	25	24	67	3	40	13

12	27	39	206	27	16	45	12	27	23	81	3	39	12
1	27	40	236	27	16	74	1	27	24	113	3	40	8
2	24	41	279	24	16	94	2	24	25	105	3	41	14
3	26	41	213	26	14	73	3	26	27	96	3	41	15
計	315	503	1974	315	177	632	計	315	326	1085	36	503	154

## 10. 生活相談員・介護支援専門員 事業報告

法人の基本理念である「人がその人らしく生活できる環境づくり」を基本とし、ご家族様および多職種との連携を図りながら、利用者様一人ひとりが健康で生きがいを持って生活していただけるよう支援に努めました。

### I. 利用者様の生活支援

- 新規入所にあたっては、入所前の情報収集や事前面接等を通じてご利用者様の状態把握に努め、入所判定会議に諮りました。入所判定会議は原則として毎週1回開催し、顧問医師 青山先生にご同席いただきながら、関係各部署との情報共有を図り、受け入れの可否や受け入れ時の注意事項等について検討を行いました。

- 感染症対策を図りながら、対面での事前面接やご家族様との面談を行い、より丁寧な情報収集と支援につなげています。引き続き、ご家族様と十分に相談を重ねながら、入所されるご利用者様が安心して新たな生活を始められるよう、環境の変化による不安の軽減に努め、円滑に施設生活へ移行できるよう支援に努めました。

### II 利用者様の生活支援

- 入所後の生活支援においては、ご利用者様一人ひとりに適した施設サービス計画書（ケアプラン）を作成し、ケアの実施およびモニタリングを継続して行いました。また、ケース会議の開催を通じて各部署からの専門的意見を集約することでより質の高いケアの提供につながっています。必要に応じ計画の見直しを行い、PDCAサイクル（計画・実行・評価・改善）を機能させながら、ご利用者様がより充実した生活を送って頂けるよう努めました。

- 加齢や疾患等によりADLに大きな変化が見られた際には、医師をはじめ関係部署と情報共有を行い、ご家族様へ状態説明を実施した上で、改めてケアプランを作成し、状態に応じた支援に努めました。

- ご家族様との綿密なコミュニケーションを心掛け、情報共有を図りながら、ご利用者様支援を共に進めていけるよう努めました。また、ご意見やご要望に対して真摯に対応し、ご利用者本位のケアの質向上につなげられるよう取り組みました。2階フロアには認知症の周辺症状が強く受け入れが難しいと思われる認知症の方を受け入れましたが、状況に応じたケアに努め、おおむね穏やかな生活をして頂いています。内服薬の使用についてご家族様のご要望に沿った対応を行い、感謝され信頼を得ています。その他、遠方に住むご家族様等へラインアプリのテレビ電話機能を使いご面会が出来る事を案内し、使用して頂き感謝の言葉を頂けています。

- 看取り介護（終末期ケア）においては、利用者様本人およびご家族様の意向を尊重し、不安や悲しみに寄り添いながら、最期まで安心して施設で過ごしていただけるよう支援に努めました。お亡くなりになったご利用者様のご家族様へ、行事参加等施設で楽しく過ごされた笑顔のお写真を数枚お渡ししています。ご家族様に喜ばれて頂けています。

### III. ベッド稼働率

- 各部署との連携を強化し、入所利用者様の体調管理に努めることで、安定したベッド稼働につなげました。

・早期の情報収集、事前面接、入所判定等を実施し、新規利用者様の円滑な入所に努めました。

#### IV. 生活相談員及び職員の質の向上

・日々の業務通して研鑽に努め、必要な知識・技術やコミュニケーションの向上に取り組んでいます。また、スーパーバイザーとして職員の指導や育成を行い、意欲向上と支援体制の強化につながっています。

・フロア生活相談員1名が昨年介護支援専門員実務研修受講試験に合格しました。実務研修を修了し今年4月より介護支援専門員として従事します。

### 11. クラブ活動実績報告

#### ① クラブ活動について

新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、クラブ活動の自粛から、講師の先生方の引退などもあり、今年度も、年度当初から全てのクラブ活動を中止している。しかしながら、利用者の生活感や生きがいを見つけ出して行く為にも、クラブ活動の継続は必要であると考え。今後、新型コロナウイルス感染症の流行収束に合わせて、新しいクラブ活動の体制づくりに努めていく事で、利用者の健康や笑顔を引き出せるよう努めていく。

#### ⑤ 講師及び担当職員一覧表

クラブ名	講師及びボランティア名		
茶 道	井上先生	書 道	石井先生
華 道	佐野先生	陶 芸	川口先生
水彩画	職員 室賀		
手 芸	未定		

#### 茶道クラブ活動報告

活動回数	0回	参加延人数	0名	平均参加人員	0名	担当：
------	----	-------	----	--------	----	-----

##### 【活動報告】

- 1) 新型コロナウイルス感染予防の為クラブ活動中止。
- 2) 新型コロナウイルス収束後再び皆さんで楽しんでいただける様準備していきます。

#### 【月別活動報告】

月	内 容	月	内 容
4月	コロナウイルス感染予防の為中止	10月	コロナウイルス感染予防の為中止
5月	〃	11月	〃
6月	〃	12月	〃
7月	〃	1月	〃
8月	〃	2月	〃
9月	〃	3月	〃

#### 手芸クラブ活動報告

活動回数	0回	参加延人数	0名	平均参加人員	0名	担当：
------	----	-------	----	--------	----	-----

##### 【活動報告】

- 1) 新型コロナウイルス感染予防の為クラブ活動中止。

書道クラブ活動報告						
活動回数	0回	参加延人数	0名	平均参加人員	0名	担当：
【活動報告】						
1) 新型コロナウイルス感染予防の為クラブ活動中止。						
【月別活動報告】						
月	内 容		月	内 容		
4月	活動中止		10月	活動中止		
5月	活動中止		11月	活動中止		
6月	活動中止		12月	活動中止		
7月	活動中止		1月	活動中止		
8月	活動中止		2月	活動中止		
9月	活動中止		3月	活動中止		

華道クラブ活動報告						
活動回数	0回	参加延人数	0名	平均参加人員	0名	担当：
【活動報告】						
1) 新型コロナウイルス感染予防の為クラブ活動中止。						
【月別活動報告】						
月	内 容		月	内 容		
4月	新型コロナ予防対応でクラブ中止。		10月	新型コロナ予防対応でクラブ中止		
5月	新型コロナ予防対応でクラブ中止		11月	新型コロナ予防対応でクラブ中止		
6月	新型コロナ予防対応でクラブ中止		12月	新型コロナ予防対応でクラブ中止		
7月	新型コロナ予防対応でクラブ中止		1月	新型コロナ対応でクラブ中止		
8月	新型コロナ予防対応でクラブ中止		2月	新型コロナ対応でクラブ中止		
9月	新型コロナ予防対応でクラブ中止		3月	新型コロナ予防対応でクラブ中止。		

水彩画クラブ活動報告						
活動回数	0回	参加延人数	0名	平均参加人員	0名	担当：室賀 こずえ
【活動報告】						
1) 新型コロナウイルス感染予防の為クラブ活動中止。						

陶芸クラブ活動報告						
活動回数	0回	参加延人数	0名	平均参加人員	0名	講師：川口 由美子
【活動報告】						
新型コロナの影響により活動中止。						

12. 年間行事実施報告

月日	行事名	内容
4月26日	観桜会	5階にて模擬店及びブレイクダンスの慰問を楽しむ。
5月22日 5月29日 6月5日	日帰り ドライブ	バーミヤンで食事をし、入間の博物館アリットを見学される。
7月26日	納涼盆踊り 大会	5階ホールにて模擬店及び職員、ボランティアの踊りを楽しむ。
9月7日	敬老会	午前統括施設長、理事長、渡邊館長及び福生市長来園にて表彰。祝い膳を楽しむ。
10月18日	文化祭	家族を招き、5階にて模擬店及び作品展示とお囃子の慰問を楽しむ。
11月4日	焼き芋大会	各フロアにて焼き芋を楽しむ。
11月20日	みかん狩り	施設長宅でみかん狩りを楽しむ。
11月21日 11月28日 12月5日	紅葉ドライブ	御岳橋で紅葉見物を楽しみ、清水牧場でジェラートを味わう。
12月22日	クリスマス会	昼食行事食。午後は各フロアにて慰問とケーキ or プリンを楽しむ。
1月1日	元旦式典及び 祝善	午前、玄関ホールにてお囃子慰問を楽しみ、5階ホールにて元旦式典実施。昼食は各フロアにて祝膳を楽しむ。午後は手作り神社へ初詣。
2月4日	節分祭	各フロアにて豆まきを実施。
3月6日	ひな祭り	昼食各フロアにて祝膳を楽しむ。余興はフロア毎に実施。

13. 固定資産物品購入・入替 報告

ファンコイル・エアコン入替工事 ポンプ入替工事 パソコン入替 車いすスケール入替  
ガス炊飯器入替 製水機入替 電動自転車購入 送迎車両入替

14. 事故報告、ヒヤリ・ハット報告

2階	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
骨折							1	1		1			3
転倒	1		1		1	2	3	1	2	1	2	3	17
転落 (ベッド)			1				1			3		1	6
転落 (車椅子・椅子)	1		1										2
ずり落ち (移乗失敗)				2	1	1		1					5
剥離・裂傷	5	2	4										11
内出血	8	7	2	5		3			2	2		4	34
誤嚥						1							1
異食 (誤食)				1		1						1	3
尻もち													3
徘徊 (施設外発見)											1		1
徘徊 (施設内発見)					1								
服薬ミス		1		1									2
その他	1	1		2	1	2				1			7
合計	16	11	9	11	4	10	4	3	4	8	3	9	95
2階	ヒヤリハット						29件						

3階	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
骨折													
転倒		1		1		1	1			1			5
転落(ベッド)					1		1		2				4
転落(車椅子・椅子)				1					1				2
ずり落ち(移乗失敗)						1							1
剥離・裂傷	2	1			4	2		1					10
内出血	4	6	4	8	4	8	4	1		3	1	2	45
誤嚥													
異食(誤食)													
尻もち		2	1			1		1					5
徘徊(施設外発見)													
徘徊(施設内発見)				1									1
服薬ミス	3							1					4
その他	2	2	1	1		1		1					8
合計	11	12	6	12	9	14	6	5	3	4	1	2	85
3階	ヒヤリハット						37件						

4階	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
骨折													
転倒			1	2	2			1		2		1	9
転落(ベッド)		1						1			1	1	4
転落(車椅子・椅子)			1	2	2	5		1			2	1	14
ずり落ち(移乗失敗)													
剥離・裂傷									1			1	2
内出血	1	3	7	7		7	2	1	3	4		2	37
誤嚥													
異食(誤食)													
尻もち							1				2	1	4
徘徊(施設外発見)													
徘徊(施設内発見)										1			1
服薬ミス			2	1	1	2							6
その他				1	1	1	1						4
合計	1	4	11	13	6	15	4	4	4	7	5	7	81
4階	ヒヤリハット						33件						

15. 職員研修報告

【外部研修】

4	25	認定調査同行研修	渡辺綾子
5	15	福生市事業者連絡会総会	佐々木和仁他
6	10	東社協センター連絡会	佐々木和仁他
6	10・11	介護福祉士実習指導者講習	大野美和
6	10・11	〃	井梅直紀
6	15	医療的ケア教員講習	小関陽平
6	28	高口光子の対面セミナー	安齋翔太
7	4	秋川ブロック会	佐々木和仁
7	4	〃	西尾薫
7	16	高齢者権利擁護研修	石部麻美
8	7	東京都ひきこもり専門研修	石部麻美
9	5・11	高齢者虐待対応研修	志村吾郎
9	20・21	防火管理者新規講習	渡邊俊哉
10	14	東社協センター連絡会	佐々木和仁他
10	20	主任介護支援専門員研修	志村吾郎
11	3	〃	志村吾郎
11	14	秋川ブロック会	佐々木和仁
11	14	〃	西尾薫
11	17	キャラバンメイト研修	加藤智哲
11	28	東京都認知症対応力向上研修	勝田幸恵他
12	4	キャラバンメイト研修	志村吾郎
1	29・30	安全衛生推進者養成講習	小関陽平
2	3	主任介護支援専門員研修	志村吾郎
2	20	秋川ブロック会	佐々木和仁
2	20	〃	西尾薫
2	27	主任介護支援専門員研修	志村吾郎
3	10	高齢者虐待対応研修	勝田幸恵
3	11	ポジショニングシーティング研修	星信也他
3	17	防火管理者新規研修	松田翔太郎

【内部研修】

回	月 日	内 容	人数	講師	主 催
1	4月9日	百日せき/感染症と花粉症の見分け方	21	青山顧問医師	衛生委員会
2	4月17日	リスクマネジメント	5	研修委員	実習研修推進委員会
3	5月14日	急性呼吸器感染症（ARI）	28	青山顧問医師	衛生委員会
4	5月19日	身体拘束廃止・虐待防止	8	研修委員	実習研修推進委員会
5	6月11日	食中毒予防/腰痛予防	28	青山顧問医師	衛生委員会
6	6月19日	コミュニケーション	11	研修委員	実習研修推進委員会
7	6月20日	ターミナルケア	資料	研修委員	実習研修推進委員会
8	7月16日	夏風邪/7月の気象病	27	青山顧問医師	衛生委員会
9	7月25日	認知症	7	研修委員	実習研修推進委員会
10	8月18日	BCP（ハザードマップ確認、災害発生時の対応確認）	5	研修委員	実習研修推進委員会
11	8月20日	ダニの媒介感染症/夏太りの原因・対策	29	青山顧問医師	衛生委員会
12	9月10日	秋の花粉症/健康増進普及月間及び食生活改善普及運動月間	29	青山顧問医師	衛生委員会
13	9月19日	介護現場での倫理と法令順守	21	研修委員	実習研修推進委員会
14	10月8日	食中毒/胃腸トラブル	27	青山顧問医師	衛生委員会
15	10月20日	リスクマネジメント	7	研修委員	実習研修推進委員会
16	11月12日	インフルエンザ流行の拡大/血糖値スパイクのコントロール	28	青山顧問医師	衛生委員会
17	11月17日	身体拘束廃止	10	研修委員	実習研修推進委員会
18	12月2日	嘔吐物研修	2	研修委員	実習研修推進委員会
19	12月10日	インフルエンザ予防/口腔ケア・年末年始の食事配慮	25	青山顧問医師	衛生委員会
20	12月23日	嘔吐物研修	7	研修委員	実習研修推進委員会
21	1月14日	なぜ冬になると風邪やインフルエンザは流行するの？/2026年健康目標	28	青山顧問医師	衛生委員会
22	1月19日	ハラスメント防止/個人情報保護	9	研修委員	実習研修推進委員会
23	2月18日	インフルエンザの流行パターンと季節性/寒い季節は要注意	28	青山顧問医師	衛生委員会
24	2月25日	倫理・法令順守	8	研修委員	実習研修推進委員会
25	3月11日	2月3月の鼻水は花粉症？風邪？症状と解決策/3月に増えるメンタル不調	28	青山顧問医師	衛生委員会
26	3月17日	BCP 非常用電源使用方法	11	研修委員	実習研修推進委員会・介助員
27	3月21日	BCP AED体験・消火器の使い方	22	研修委員	実習研修推進委員会・福生消防署
28	3月27日	BCP スプリンクラー操作・簡易ベッド組立・非常食炊き出し	26	研修委員	実習研修推進委員会・福生市役所

今年度は、新型コロナウイルス感染症が5類感染症へ移行したことに伴い、感染対策を継続しながらも、施設内研修については集合形式で実施する機会を増やすことができた。昨年度まで多く取り入れていた資料配布中心の研修から、対面での研修や意見交換を交えた形式へ移行し、職員同士で学びを共有できる環境づくりに努めた。

感染症対策については、流行時期を見据えた計画的な研修実施を意識し、感染症予防や対応方法について改めて周知を図った。集合研修を通して、実際の対応場面を想定した確認や情報共有を行うことで、職員一人ひとりの認識向上につなげることができた。

また、人材に限られる中でも、多職種で連携しながら施設内外の研修へ参加し、専門職としての知識・

技術向上に努めた。各フロアにおいては、利用者の状態やケア上の課題を踏まえた研修を実施し、現場での実践につながる学びを深めることができた。

特に、専門家講師による介護現場における倫理・法令遵守に関する研修では、利用者の権利擁護や職員として求められる姿勢について改めて学ぶ機会となった。日々のケアを振り返りながら、適切な支援や接遇、リスク管理の重要性について理解を深めることができ、「自身の支援を見直すきっかけになった」「職員間で共通認識を持つ大切さを再確認できた」など、職員からも多くの前向きな意見が聞かれた。

さらに、地域住民参加型研修についても継続して実施し、感染症予防対策を講じながら、協同での演習や意見交換を行うことで、地域との交流や連携を深める機会となった。今後も、職員の専門性向上と安全な施設運営に向け、計画的かつ実践的な研修体制の充実を図っていきたい。

#### 16. ボランティア受入の状況

月	日	曜日	行事名	人数	業務内容	依頼先
4	8	火	介護ボランティア	1	介護補助等	個人
	21	月	歌ボランティア	1	歌レク補助	個人
26	土	観桜会ボランティア	1	観桜会手伝い	(株)セレモア	
	土	観桜会ボランティア	1	観桜会手伝い	(株)増田禎司商店	
5	2	金	書道ボランティア	1	書道レク補助	個人
	12	月	書道ボランティア	1	書道レク補助	個人
6	19	月	歌ボランティア	5	歌レク補助	セツブン草の会
	2	月	折り紙ボランティア	5	折り紙レク補助	セツブン草の会
6	6	金	水彩画ボランティア	3	水彩画レク補助	個人
	9	月	書道ボランティア	2	書道レク補助	個人
10	火	介護ボランティア	1	介護補助等	個人	
	14	土	歌ボランティア	1	歌レク補助	個人
7	16	月	折り紙ボランティア	4	折り紙レク補助	セツブン草の会
	4	金	歌ボランティア	1	歌レク補助	個人
7	7	月	折り紙ボランティア	4	折り紙レク補助	セツブン草の会
	11	金	お茶ボランティア	2	お茶レク補助	楽しむ会
14	月	書道ボランティア	2	書道レク補助	個人	
	24	木	介護ボランティア	1	介護補助等	個人
25	金	水彩画ボランティア	1	水彩画レク補助	個人	
	金	介護ボランティア	1	介護補助等	個人	
26	土	納涼祭ボランティア	1	納涼祭着付け、踊り	個人	
	28	月	介護ボランティア	1	介護補助等	個人
8	29	火	介護ボランティア	1	介護補助等	個人
	1	金	書道ボランティア	2	書道レク補助	個人
4	月	歌ボランティア	4	歌レク補助	セツブン草の会	
	6	水	介護ボランティア	2	介護補助等	個人
11	月	書道ボランティア	3	書道レク補助	花の会	
	13	水	歌ボランティア	1	歌レク補助	個人
18	月	折り紙ボランティア	4	折り紙レク補助	セツブン草の会	
	20	水	お茶ボランティア	2	お茶レク補助	楽しむ会
22	金	水彩画ボランティア	1	水彩画レク補助	楽しむ会	
	金	介護ボランティア	1	介護補助等	個人	
22	金	介護ボランティア	1	介護補助等	個人	
	25	月	花づくりボランティア	3	花づくり補助	花の会

	25	月	介護ボランティア	1	介護補助等	個人
	26	火	介護ボランティア	1	介護補助等	個人
9	1	月	歌ボランティア	4	歌レク補助	セツブン草の会
	8	月	書道ボランティア	1	書道レク補助	個人
	9	火	介護ボランティア	1	介護補助等	個人
	11	木	歌ボランティア	1	歌レク補助	個人
	16	火	介護ボランティア	1	介護補助等	個人
	22	月	掃除ボランティア	2	介護補助等	花の会
	26	金	水彩画ボランティア	1	水彩画レク補助	楽しむ会
10	3	金	書道ボランティア	2	書道レク補助	楽しむ会
	6	月	折り紙ボランティア	3	折り紙レク補助	セツブン草の会
	13	月	書道ボランティア	2	書道レク補助	個人
	18	土	文化祭ボランティア	1	文化祭補助	楽しむ会
	19	日	歌ボランティア	5	歌レク補助	セツブン草の会
	21	火	歌ボランティア	2	歌レク補助	花の会
11	7	金	書道ボランティア	2	書道レク補助	花の会
	10	月	水彩画ボランティア	2	水彩画レク補助	個人
	17	月	折り紙ボランティア	5	折り紙レク補助	セツブン草の会
	28	金	書道ボランティア	1	書道レク補助	楽しむ会
12	1	月	歌ボランティア	2	歌レク補助	セツブン草の会
	22	月	クリスマス会ボランティア	1	クリスマス会補助	個人
1	13	火	歌ボランティア	2	歌レク補助	個人
	19	月	折り紙ボランティア	4	折り紙レク補助	セツブン草の会
	23	金	書道ボランティア	2	書道レク補助	たのしみ会
2	2	月	折り紙ボランティア	3	折り紙レク補助	セツブン草の会
	13	金	書道ボランティア	2	書道レク補助	個人
	16	月	歌ボランティア	4	歌レク補助等	セツブン草の会
	20	金	書道ボランティア	1	書道レク補助	個人
	24	火	歌ボランティア	2	歌レク補助等	個人
	27	金	書道ボランティア	2	書道レク補助	個人
3	2	月	折り紙ボランティア	5	折り紙レク補助	セツブン草の会
	6	金	水彩画ボランティア	2	水彩画レク補助	たのしみ会
	6	金	ひなまつりボランティア	1	ひなまつり補助	個人
	13	金	書道ボランティア	2	書道レク補助	個人
	16	月	歌ボランティア	4	歌レク補助	セツブン草の会
	31	火	歌ボランティア	1	歌レク補助	個人

#### 17. 慰問受入状況

※ 新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、感染予防策として行事以外は受け入れ中止。

月 日	慰問者名	人数	行事名等	内 容

18. 実習生及び職場体験生徒受入状況

月	期 間	実習依頼先	人 数	実習内容及び目的
R7 6月	6/2～6/13	東京福祉大学	1	社会福祉士実習
7月	7/28～9/9(30日)	多摩リハビリテーション専門学校	2	介護福祉士実習Ⅱ
8月	8/4～8/19	福生高校	4	職場体験
9月	9/10～9/12	福生第一中学校	2	職場体験
	9/17～9/19	福生第二中学校	3	職場体験
10月	10/7～12/18	東京福祉大学	1	社会福祉士実習
R8 1月	1/19～1/21	福生第三中学校	3	職場体験
1月	1/19～1/29(9日)	多摩リハビリテーション学院専門学校	3	介護福祉 1-Ⅲ
2月	2/24～3/27(23日)	東京福祉大学	1	社会福祉士実習
3月	3/9～3/20(8日)	大原学園	1	社会福祉士実習

### 19. 消防訓練実施結果

令和7年度は、福生消防署内の訓練施設において自衛消防訓練を実施することができた。また、福生市との協定による避難訓練が継続的に実施できた事は良かったと思われる。そうしたことで、施設全体に防災の意識付けが出来た。

#### 令和7年度訓練内容

日 時	訓練種別	内 容
4 月	防火管理委員	防火管理委員の確認。 今年度の予定確認。
5 月	感染症の為中止	
6 月	感染症の為中止	
7 月	感染症の為中止	
8 月	防火管理 打ち合わせ	BCPの見直し（内容確認、追加、変更）
9 月	防火管理 打ち合わせ	BCPの見直し（内容確認、追加、変更）
10 月 10 日	避難訓練見学・意見交換会	ユーアイビラ避難訓練の見学。煙体験ハウスで煙体験。 福生消防署、福生市内施設、自治会との意見交換会に参加。
11 月 11 日	総合訓練	福生消防署訓練施設にて署員の指導の下、火災発生時の対応・119番通報・初期消火訓練・避難誘導などの総合訓練を実施。
12 月	感染症の為中止	
1 月	感染症の為中止	
2 月	感染症の為中止	
3 月 21 日	応急救護訓練	加美町会との合同訓練として、消防署署員に來園並びに指導して頂き AED 実施体験訓練を行う。また、水消火器による消火訓練を実施。
3 月 27 日	避難訓練	首都直下型地震が発生した想定で福生市との協定により当施設が福祉避難所に指定されている為、福生市役所と第2サンシャインビラ合同でパーテーション及び段ボールベッドの設置訓練を実施。
	総合訓練	火災発生時の対応から 119 番通報、避難誘導、避難場所の確認。初期消火時の消火栓、消火器の取り扱い方を学習。

## 20. ショートステイ事業報告

令和7年度は、稼働率80.0%、8.0名/日の目標に対して、稼働率28.5%、3.2名/日の結果となりました。入院者・死亡者が続いた時があり、ロングショート予定の人から、特養入所に切替えになることでロングショートの人数が伸びなかった。令和8年度も引き続き、稼働率80.0%、8.0名/日の目標設定をし、稼働率の安定と向上に努めたい。

人件費・直接介護支出・一般管理支出・施設管理費用は併設特養と按分しています。

### 【令和7年度ショートステイ事業活動実績報告】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	Total
利用者数	6	7	8	7	12	8	11	11	8	8	6	10	102
経過的要介護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護度1	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2	1	1	18
要介護度2	2	2	1	1	4	1	2	2	2	3	2	2	24
要介護度3	3	4	4	3	3	2	4	3	1	1	0	1	29
要介護度4	0	0	1	1	3	2	2	2	2	1	0	0	14
要介護度5	0	0	1	1	0	1	1	2	1	1	3	6	17
延利用日数	60	62	83	72	86	104	122	81	102	90	35	57	954
経過的要介護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護度1	6	5	6	6	36	8	12	12	12	12	6	6	127
要介護度2	6	8	5	5	8	5	8	13	11	17	8	8	102
要介護度3	48	49	40	44	21	29	59	11	13	7	0	2	323
要介護度4	0	0	11	16	21	32	12	35	35	23	0	0	185
要介護度5	0	0	21	1	0	30	31	10	31	31	21	41	217
平均ベッド稼働数	2.00	2.00	2.77	2.32	2.77	3.47	3.94	2.70	3.29	2.90	1.25	1.84	年平均 2.60

### 【ショートステイ利用日数状況調査（年間）】

	1日～2日	3日～5日	6日～10日	11日～15日	16日～20日	21日以上	合計
4月	0	3	1	1	0	1	6
5月	0	5	0	1	0	1	7
6月	0	4	1	1	0	2	8
7月	1	1	3	0	1	1	7
8月	2	4	1	1	1	1	10
9月	2	1	2	0	1	2	8
10月	0	4	4	1	0	2	11
11月	1	4	4	1	0	1	11
12月	0	2	3	1	0	2	8
1月	0	2	4	0	0	2	8
2月	0	3	3	0	0	0	6
3月	1	2	2	0	0	1	6
合計	7	35	28	7	3	16	96
	7.3%	36.5%	29.2%	7.3%	3.1%	16.7%	100.0%

\*前月から引き続いて入所されている場合は、入所月にカウントしています。

2025 年度

# 通所介護事業

(併設型通所介護事業)

(総合事業通所介護事業)

(高齢者生きがい活動支援デイサービス)

# 事業報告書

社会福祉法人福陽会

高齢者在宅サービスセンター加美

## ・通所事業（併設型通所介護事業・総合事業）

### 事業報告（総括）

今年度は、昨年よりさらに楽しみを増やしたいと考え、毎月御利用者様と一緒におやつを作り提供、夏はかき氷の提供を企画し8月の1週間に毎日提供し大盛況でした。ドライブでは、日の出イオン、清水牧場、サーティワン、ミスタードーナツ、高倉町コーヒー等、多方面へ出かける事が出来ました。また2グループによる演奏会、大正琴・ブレイクダンスの慰問、学生と昭和歌謡と一緒に歌うボランティア、定期的にセツブン草の会による歌や折り紙のボランティア、月2回のネイルボランティア、おまつ茶の会等、多くの方々に来園していただきました。

さらに多摩リハビリテーション学院より1年生2名5日間の実習（8月）、福生第2中学校より2年生、計5名3日間（9月）の受け入れを行いました。3月には福生第4小学校より35名が来園しトランプや折り紙などで一緒に遊び、子供たちと交流を通して活気ある活動ができ、ご利用者様の満足度へ貢献できました。今後も様々な活動を提供できるよう努めてまいります。

#### 【事業計画達成状況】

利用者様が明るく豊かに生活でき、利用者様のご家族様が施設生活に対して信頼や安心を感じてもらえるような、個々のニーズにあったサービス提供並びにプライバシーに配慮したサービス提供の充実をはかるべく、事業運営を心がけ、そして利用者・地域住民から評価される質の高いサービス提供することができた。また今年度は、生きがいデイ事業では昨年度比8.2%増の1日平均3.5人（1日平均0.27人増）との微増であったが、通所介護利用者数は、昨年度比7.4%減の1日平均26人（1日平均2人減）となり前年度を下回り、かなり厳しい数字となってしまいました。目標達成に向け更なる努力をし、利用者数増加に向けて取り組んで参ります。

・職員配置（3月31日現在）

併設型通所介護 総合事業

職種	常勤		非常勤	
	人数	専任・兼務状況	人数	専任・兼務状況
管理者	1人	他事業を兼務		
生活相談員	2人	内1人は介護職兼務	1人	介護職を兼務
介護職員	1人	生活相談員兼務	13人	内2人は生活相談員兼務
看護職員	0人		3人	機能訓練指導員を兼務
機能訓練指導員	0人		3人	看護職員を兼務
調理員	必要数			
運転手	必要数		必要数	全利用日送迎時間帯に勤務
事務職員	1人	他事業を兼務		

併設型通所介護事業 月別延べ利用者数

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	total
前年度	649	673	692	751	751	736	726	712	633	580	557	575	8,035
今年度	646	700	609	642	638	600	567	542	603	536	526	576	7,185
要介護1	218	230	186	188	189	177	167	161	190	172	180	202	2,260
要介護2	172	175	140	184	188	179	166	156	158	115	120	110	1,863
要介護3	223	256	225	202	174	150	127	120	129	124	96	131	1,957
要介護4	30	39	50	60	61	69	64	64	67	67	72	59	702
要介護5	3	0	8	26	26	25	43	41	59	58	58	74	403
今年度-前年度	-3	27	-83	-109	-113	-136	-159	170	-30	-44	-31	1	-850

併設型通所介護 一日平均利用者数

単位：

人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	Total
平均利用者数 ① ÷ ②	24.85	25.93	24.36	23.78	24.54	23.08	21.00	21.68	22.33	22.33	21.92	22.15	23.18
延べ利用者数 ①	646	700	609	642	638	600	567	542	603	536	526	576	7,185
開所日数 ②	26	27	25	27	26	26	27	25	27	24	24	26	310

日常生活支援総合事業 月別延べ利用者数

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	total
前年度	27	25	23	26	27	25	28	25	17	15	40	35	313
今年度	35	37	38	39	41	38	48	48	62	45	53	57	541
要支援 1	0	0	4	10	15	12	9	4	9	8	8	4	83
要支援 2	35	37	34	29	26	26	39	44	53	37	45	53	458
今年度-前年度	8	12	15	13	14	13	20	23	45	30	13	22	228

日常生活支援総合事業 一日平均利用者数

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	Total
平均利用者数 ① ÷ ②	1.35	1.37	1.52	1.44	1.58	1.46	1.78	1.92	2.30	1.88	2.21	2.19	1.75
延べ利用者数 ①	35	37	38	39	41	38	27	25	27	24	53	57	541
開所日数 ②	26	27	25	27	26	26	27	25	27	24	24	26	310

研修報告

東京都社会福祉協議会開催の研修、施設内研修等の参加を推進し介護職員のスキル向上を目指した。

研修実施記録については第2サンシャインビラ事業報告書を参照のこと。

【施設設備改善及び備品購入報告について】

① 物品購入実績 送迎車両1台入替

② 施設における共通経費は併設第2サンシャインビラと按分

【高齢者生きがい活動支援デイサービス 事業報告】

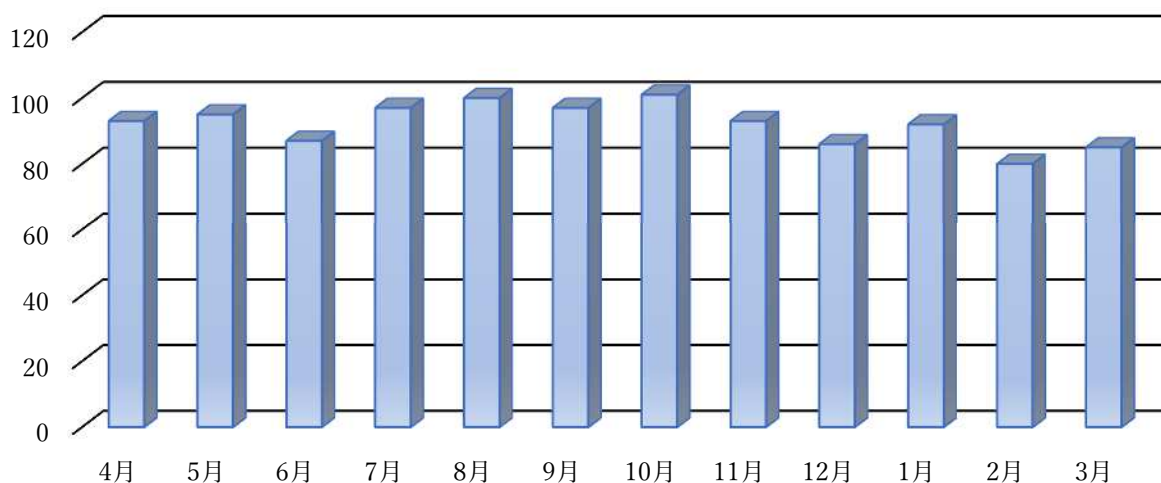
福生市からの委託事業で、おおむね65歳以上の自立の高齢者を対象に、生きがいづくりや心身機能の維持向上、介護予防及び閉じこもり防止を目的として事業活動を行った。今年度は講師を招いての書道クラブを再開する事が出来て、利用者から喜ばれた。また利用者数は、昨年度比8.2%増の1日平均3.5人（1日平均0.27人増）とわずかながらの微増となった。

高齢者生きがい活動支援デイサービス延べ利用人員実績簿(第2サンシャインビル)

単位：人

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	total
利用人員	93	95	87	97	100	97	101	93	86	92	80	85	1,106

高齢者生きがい活動支援デイサービス事業利用人員  
(第2サンシャインビル)

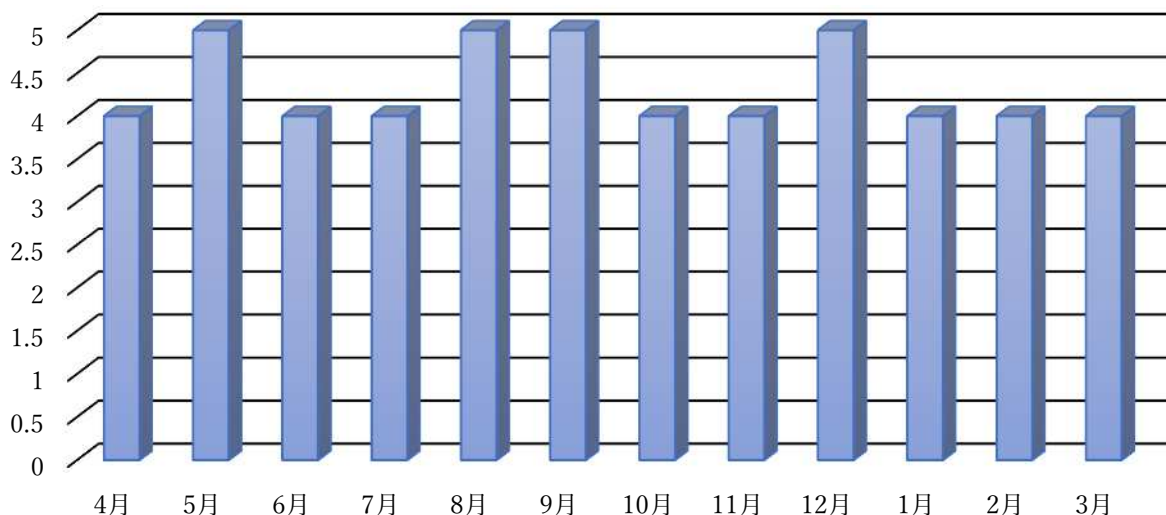


高齢者生きがい活動支援デイサービス入浴サービス（一般浴）延べ利用人員実績簿

単位：人

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	total
利用人員	4	5	4	4	5	5	4	4	5	4	4	4	52

高齢者生きがい活動支援デイサービス事業入浴者人員



令和7年4月

# ふれあい

在宅サービスセンター加美 ☎042-553-3736

月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	
お手玉ゲーム CDカーリング	紙皿グラグラ 椅子玉寄せ	タオル山積み コップ投げ	串刺しゲーム ペットボトル起こし	お手玉積み上げ 後ろ向き玉入れ	
7	8	9	10	11	12
ロボお手玉 工作	数えてベグ挿し ペットボトルボーリング	割りばしゲーム 大砲ボーリング	ヤクルト山積み スカット玉入れ	輪投げピンゴ お魚釣り	田植えゲーム カラオケ
14	15	16	17	18	19
お手玉ゲーム カラオケ	紙皿グラグラ 椅子玉寄せ	タオル山積み カラオケ	串刺しゲーム CDカーリング	お手玉積み上げ コップ投げ	ロボお手玉 ペットボトル起こし
21	22	23	24	25	26
数えてベグ挿し 歌	割りばしゲーム 後ろ向き玉入れ	ヤクルト山積み ペットボトルボーリング	輪投げピンゴ 大砲ボーリング	田植えゲーム カラオケ	お手玉ゲーム スカット玉入れ
28	29	30			
紙皿グラグラ お魚釣り	タオル山積み コップ投げ	串刺しゲーム CDカーリング			

...ご利用前の、体調確認！ご家族様へのお願い...  
ご家族に熱がなくても咳などの風邪症状がある、発熱している際には、**ご利用前に、速やかに事前連絡**を頂きますようお願いいたします。お迎え時に37.0度以上の発熱が認められた際には、お休みをして頂くこともありますのでご理解・ご協力の程よろしくお願いたします。

## ◆入浴(午前/午後)◆

展望浴 (月)(水)(金)(土)  
チェアー浴 (月)~(土)



## ◆美容室◆

ひまわり 10日(木)  
移動美容室 25日(金)



## ◆4月イベント◆

7日(月) セツブン草(工作)  
14日(月) 書道  
16日(火) 防災訓練  
21日(月) セツブン草(歌)  
25日(金) 水彩画  
26日(土) 親睦会  
桜やチューリップの見頃を考慮して  
ドライブも行いたいと思っております。



## ◆4月誕生日食◆

10日(木)~12日(土)  
☆お誕生月の方のお祝いとして、昼食にはお祝膳他、お楽しみおやつ等をご提供しております

## ◆手作りおやつ◆

17日(木)  
※前回は、裏面をご覧ください



### 一言メモ

今年度より『ふれあい』をリニューアルしました。デイサービスの様子が少しでも届けられるように作成していきますのでこれからもよろしくお願いたします。



☆感染症予防に所内ではこまめな手洗い消毒を励行致しております。手洗いうがいは時にはセンターに備えております使い捨てペーパータオルのご使用をお願い致します

☆来所時には新しいマスク(可能であれば使い捨ての不織布マスク)か洗濯されたマスクの着用をお願い致します。予備のマスクをバックの中に持参して頂ければ落とし汚れた場合、交換が出来ます

令和7年5月

# ふれあい

在宅サービスセンター加美 ☎042-553-3736

月	火	水	木	金	土
			1	2	3
			お手玉ゲーム 椅子玉寄せ	紙皿グラグラ コップ投げ	タオル山積み ペットボトル起こし
5	6	7	8	9	10
串刺しゲーム 後ろ向き玉入れ	お手玉積み上げ ペットボトルボーリング	ロボお手玉 スカット玉入れ	数えてベグ挿し お魚釣り	割りばしゲーム 大砲ボーリング	ヤクルト山積み CDカーリング
12	13	14	15	16	17
輪投げピンゴ カラオケ	田植えゲーム 椅子玉寄せ	お手玉ゲーム コップ投げ	紙皿グラグラ ペットボトル起こし	タオル山積み 後ろ向き玉入れ	串刺しゲーム ペットボトルボーリング
19	20	21	22	23	24
お手玉積み上げ 歌	ロボお手玉 スカット玉入れ	数えてベグ挿し お魚釣り	割りばしゲーム 大砲ボーリング	ヤクルト山積み カラオケ	輪投げピンゴ 椅子玉寄せ
26	27	28	29	30	31
田植えゲーム CDカーリング	お手玉ゲーム コップ投げ	紙皿グラグラ ペットボトル起こし	タオル山積み 後ろ向き玉入れ	串刺しゲーム ペットボトルボーリング	お手玉積み上げ スカット玉入れ

...ご利用前の、体調確認！ご家族様へのお願い...  
ご家族に熱がなくても咳などの風邪症状がある、発熱している際には、**ご利用前に、速やかに事前連絡**を頂きますようお願いいたします。お迎え時に37.0度以上の発熱が認められた際には、お休みをして頂くこともありますのでご理解・ご協力の程よろしくお願いたします。

## ◆入浴(午前/午後)◆

展望浴 (月)(水)(金)(土)  
チェアー浴 (月)~(土)



## ◆美容室◆

ひまわり 8日(木)  
移動美容室 23日(金)



## ◆5月イベント◆

5日(月) ネイル(ボランティア)  
12日(月) 書道  
15日(木) 防災訓練  
19日(月) セツブン草  
23日(金) 水彩画



## ◆5月誕生日食◆

26日(月)~28日(水)  
☆お誕生月の方のお祝いとして、昼食にはお祝膳他、お楽しみおやつ等をご提供しております

## ◆手作りおやつ◆

30日(金)  
※前回は、裏面をご覧ください



### 一言メモ

ネイルをして下さるボランティアさんが来てくれます。

ネイルをすることで心身に良い影響があります。この機会にぜひお試しください！



☆感染症予防に所内ではこまめな手洗い消毒を励行致しております。手洗いうがいは時にはセンターに備えております使い捨てペーパータオルのご使用をお願い致します

☆来所時には新しいマスク(可能であれば使い捨ての不織布マスク)か洗濯されたマスクの着用をお願い致します。予備のマスクをバックの中に持参して頂ければ落とし汚れた場合、交換が出来ます

令和7年6月

# ふれあい

在宅サービスセンター加美 ☎042-553-3736

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
お休み	展望風呂(午前・午後) セツブン草(工作) 豆蔵ゲーム	紙皿グラクラ 椅子玉寄せ	展望風呂(午前・午後) タオル山積み コップ投げ	串刺しゲーム コップ投げ	展望風呂(午前・午後) お手玉積み 後ろ向き玉入れ	展望風呂(午前・午後) ネイル(ボランティア) お手玉積み 後ろ向き玉入れ
8	9	10	11	12	13	14
お休み	展望風呂(午前・午後) 書道 数えてマク糊し カラオケ	割りばしゲーム スカット玉入れ	展望風呂(午前・午後) タオル山積み お魚釣り	ひまわり美容室 輪投げピンゴ 大砲ボーリング	展望風呂(午前・午後) お手玉積み CDカーリング	展望風呂(午前・午後) 展望風呂(午前・午後)
15	16	17	18	19	20	21
お休み	展望風呂(午前・午後) セツブン草(歌) 紙皿グラクラ	タオル山積み コップ投げ	展望風呂(午前・午後) タオル山積み お魚釣り	お手玉積み上げ 後ろ向き玉入れ	展望風呂(午前・午後) 防災訓練 お手玉積み CDカーリング	展望風呂(午前・午後) 展望風呂(午前・午後) ネイル(ボランティア) 数えてマク糊し スカット玉入れ
22	23	24	25	26	27	28
お休み	展望風呂(午前・午後) 手作りおやつ 割りばしゲーム お魚釣り	タオル山積み 大砲ボーリング	展望風呂(午前・午後) 展望風呂(午前・午後) 輪投げピンゴ CDカーリング	田植えゲーム ゆらゆら傘	展望風呂(午前・午後) 水彩画 移動美容室 お手玉積み CDカーリング	展望風呂(午前・午後) 展望風呂(午前・午後) 慰問 紙皿グラクラ
29	30	誕生食				
お休み	展望風呂(午前・午後) タオル山積み 椅子玉寄せ	<p>・・・ご利用前の、体調確認！ご家族様へのお願い・・・</p> <p>ご家族に熱がなくても咳などの風邪症状がある、発熱している際には、ご利用前に、速やかに事前連絡を頂きますようお願いいたします。お迎え時に37.0度以上の発熱が認められた際には、お休みをして頂くこともありますのでご理解・ご協力の程よろしくお願いいたします。</p>				



☆感染症予防に所内ではこまめな手洗い消毒を励行致しております。手洗いうがい時にはセンターに備えております使い捨てペーパータオルのご使用をお願い致します

☆来所時には新しいマスク(可能であれば使い捨ての不織布マスク)が洗濯をされたマスクの着用をお願い致します。予備のマスクをバックの中に持参して頂ければ落とし汚れた場合、交換が出来ます

◆入浴(午前/午後)◆  
展望風呂は(月)X(水)X(土)  
チェア一浴は(月)～(土)行っております

◆誕生食◆  
お誕生月の方のお祝いとして、昼食にはお祝膳他、お楽しみおやつ等をご提供しております

◆手作りおやつ◆  
先月分は裏面をご覧ください

**ネイル(ボランティア)**

**水彩画クラブ**

令和7年7月

# ふれあい

在宅サービスセンター加美 ☎042-553-3736

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
お休み	タオル山積み 椅子玉寄せ	展望風呂(午前・午後)	展望風呂(午前・午後)	展望風呂(午前・午後)	展望風呂(午前・午後)	展望風呂(午前・午後)
7	8	9	10	11	12	13
お休み	展望風呂(午前・午後) セツブン草 輪投げピンゴ	展望風呂(午前・午後) 手作りおやつ ネイル	展望風呂(午前・午後) 輪投げピンゴ お魚釣り	ひまわり美容室 田植えゲーム 大砲ボーリング	展望風呂(午前・午後) 展望風呂(午前・午後)	展望風呂(午前・午後) 展望風呂(午前・午後)
14	15	16	17	18	19	20
お休み	展望風呂(午前・午後) 書道 タオル山積み カラオケ	展望風呂(午前・午後)	展望風呂(午前・午後) お手玉積み 後ろ向き玉入れ	展望風呂(午前・午後) お手玉積み CDカーリング	展望風呂(午前・午後) 展望風呂(午前・午後)	展望風呂(午前・午後) 展望風呂(午前・午後) 防災訓練 割りばしゲーム カラオケ
21	22	23	24	25	26	27
お休み	展望風呂(午前・午後) 展望風呂(午前・午後)	展望風呂(午前・午後)	展望風呂(午前・午後) 水彩画 移動美容室 紙皿グラクラ カラオケ	展望風呂(午前・午後) 展望風呂(午前・午後)	展望風呂(午前・午後) 展望風呂(午前・午後) 納涼祭 タオル山積み お魚釣り	展望風呂(午前・午後) 展望風呂(午前・午後)
28	29	30	31	誕生食		
お休み	展望風呂(午前・午後) 串刺しゲーム スカット玉入れ	展望風呂(午前・午後) お手玉積み 後ろ向き玉入れ	展望風呂(午前・午後) お手玉積み CDカーリング	展望風呂(午前・午後) 展望風呂(午前・午後)		

☆感染症予防に所内ではこまめな手洗い消毒を励行致しております。手洗いうがい時にはセンターに備えております使い捨てペーパータオルのご使用をお願い致します

☆来所時には新しいマスク(可能であれば使い捨ての不織布マスク)が洗濯をされたマスクの着用をお願い致します。予備のマスクをバックの中に持参して頂ければ落とし汚れた場合、交換が出来ます

◆入浴(午前/午後)◆  
展望風呂は(月)X(水)X(金)X(土)  
チェア一浴は(月)～(土)行っております

◆誕生食◆  
お誕生月の方のお祝いとして、昼食にはお祝膳他、お楽しみおやつ等をご提供しております

◆手作りおやつ◆  
今回はクレープでした！  
様子は裏面をご覧ください

**書道**

**お手玉積み上げゲーム**

日に日に暑さが増し、知らぬ間に脱水状態になる時期に入りました。こまめな水分補給、室内温度の確認等デイサービスでも十分に配慮して参りますが、ご自宅でも注意いただければと思います。

令和7年8月

# ふれあい!

在宅サービスセンター加美 ☎042-553-3736



日	月	火	水	木	金	土
					1	2
お休み					展望風呂(午前・午後) 夕涼み山積み コップ投げ	展望風呂(午前・午後) 抽選ゲーム 後ろ向き玉入れ
3	4	5	6	7	8	9
お休み	展望風呂(午前・午後) セツブン草 お芋玉投げ ペナルティボール	展望風呂(午前・午後) お茶会 ペナルティボール	展望風呂(午前・午後) 裏までベタ塗り スガ外玉入れ	展望風呂(午前・午後) 抽選ゲーム カーリング	展望風呂(午前・午後) ヤクルト山積み ペナルティボール	展望風呂(午前・午後) 抽選ゲーム お魚釣り
10	11	12	13	14	15	16
お休み	展望風呂(午前・午後) 書道 抽選ゲーム カラオケ	展望風呂(午前・午後) お茶会 大輪車	展望風呂(午前・午後) 紙面クラクラ CDカーリング	展望風呂(午前・午後) ひまわり美容室 夕涼み山積み ゆらゆら	展望風呂(午前・午後) 展望風呂(午前・午後) 抽選ゲーム お芋玉投げ	展望風呂(午前・午後) 展望風呂(午前・午後) お芋玉投げ カラオケ
17	18	19	20	21	22	23
お休み	展望風呂(午前・午後) セツブン草	展望風呂(午前・午後) 展望風呂(午前・午後)	展望風呂(午前・午後) 展望風呂(午前・午後)	展望風呂(午前・午後) 展望風呂(午前・午後)	展望風呂(午前・午後) 水彩画 移動美容室	展望風呂(午前・午後) 展望風呂(午前・午後)
~かき水を食べよう~						
24	25	26	27	28	29	30
お休み	展望風呂(午前・午後) 防災訓練 お芋玉投げ カラオケ	展望風呂(午前・午後) 展望風呂(午前・午後)	展望風呂(午前・午後) 展望風呂(午前・午後)	展望風呂(午前・午後) 展望風呂(午前・午後)	誕生食 抽選ゲーム CDカーリング	誕生食 抽選ゲーム お芋玉投げ
31	<p>☆感染症予防に所内ではこまめな手洗い消毒を励行致しております。手洗いうがい時にはセンターに備えております使い捨てペーパータオルのご使用をお願い致します</p> <p>☆来所時には新しいマスク(可能であれば使い捨ての不織布マスク)が洗濯をされたマスクの着用をお願い致します。予備のマスクをバックの中に持参して頂ければ落としたり汚れた場合、交換が出来ます</p> <p>☆歯ブラシ持参のご利用者様・ご家族様 歯ブラシの状態と歯磨き粉の残量の確認をお願いいたします</p>					

◆入浴(午前/午後)◆  
展望風呂は(月)水(金)土  
チェアー浴は(月)~(土)行っております

◆誕生食◆  
お誕生月の方のお祝いとして、昼食にはお祝儀他、お楽しみおやつ等をご提供しております

◆手作りおやつ◆  
7月は杏仁豆腐でした!  
様子は裏面をご覧ください

## レク

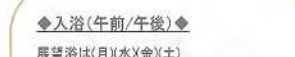


コップ(プラスチック)投げゲーム

令和7年9月

# ふれあい!

在宅サービスセンター加美 ☎042-553-3736



日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
お休み	展望風呂(午前・午後) セツブン草(午後) 抽選ゲーム	展望風呂(午前・午後) お芋玉投げ カラオケ	展望風呂(午前・午後) お茶会 お魚釣り	展望風呂(午前・午後) ドライブ(午後) 裏までベタ塗り ミニバスケット	展望風呂(午前・午後) 抽選ゲーム ペンボウゲーム	展望風呂(午前・午後) ヤクルト山積み カラオケ
7	8	9	10	11	12	13
お休み	展望風呂(午前・午後) 書道 抽選ゲーム カラオケ	展望風呂(午前・午後) 手作りおやつ ペナルティボール	展望風呂(午前・午後) 展望風呂(午前・午後)	展望風呂(午前・午後) ひまわり美容室 紙面クラクラ CDカーリング	展望風呂(午前・午後) 展望風呂(午前・午後)	展望風呂(午前・午後) 展望風呂(午前・午後)
14	15	16	17	18	19	20
お休み	展望風呂(午前・午後) 展望風呂(午前・午後)	展望風呂(午前・午後) 展望風呂(午前・午後)	展望風呂(午前・午後) 展望風呂(午前・午後)	展望風呂(午前・午後) 展望風呂(午前・午後)	展望風呂(午前・午後) 展望風呂(午前・午後)	展望風呂(午前・午後) 展望風呂(午前・午後)
21	22	23	24	25	26	27
お休み	展望風呂(午前・午後) 展望風呂(午前・午後)	展望風呂(午前・午後) 展望風呂(午前・午後)	展望風呂(午前・午後) 展望風呂(午前・午後)	展望風呂(午前・午後) 展望風呂(午前・午後)	展望風呂(午前・午後) 展望風呂(午前・午後)	展望風呂(午前・午後) 展望風呂(午前・午後)
28	29	30				

◆入浴(午前/午後)◆  
展望風呂は(月)水(金)土  
チェアー浴は(月)~(土)行っております

◆誕生食◆  
お誕生月の方のお祝いとして、昼食にはお祝儀他、お楽しみおやつ等をご提供しております

◆手作りおやつ◆  
様子は裏面をご覧ください

## 壁面製作



## レク



多摩リハビリテーション学院の実習生が来ていました

☆感染症予防に所内ではこまめな手洗い消毒を励行致しております。手洗いうがい時にはセンターに備えております使い捨てペーパータオルのご使用をお願い致します

☆来所時には新しいマスク(可能であれば使い捨ての不織布マスク)が洗濯をされたマスクの着用をお願い致します。予備のマスクをバックの中に持参して頂ければ落としたり汚れた場合、交換が出来ます

☆歯ブラシ持参のご利用者様・ご家族様 歯ブラシの状態と歯磨き粉の残量の確認をお願いいたします。

令和7年10月

# ふれあい

在宅サービスセンター加美 ☎042-553-3736



日	月	火	水	木	金	土
お休み	風邪ハレーの様子 みなさま夢中になって やってくれました！		1 展望風呂(午前・午後) 囲碁ゲーム スカット玉入れ	2 展望風呂(午前・午後) 囲碁ゲーム スカット玉入れ	3 展望風呂(午前・午後) 囲碁ゲーム スカット玉入れ	4 展望風呂(午前・午後) 囲碁ゲーム スカット玉入れ
5	6 展望風呂(午前・午後) セツブン草(午後) お手玉ゲーム スカット玉入れ	7	8 展望風呂(午前・午後) 手作りおやつ(午後) お手玉ゲーム スカット玉入れ	9 展望風呂(午前・午後) 手作りおやつ(午後) お手玉ゲーム スカット玉入れ	10 展望風呂(午前・午後) 水彩画 お手玉ゲーム スカット玉入れ	11 展望風呂(午前・午後) 水彩画 お手玉ゲーム スカット玉入れ
12	13 展望風呂(午前・午後) 書道 お手玉ゲーム スカット玉入れ	14	15 展望風呂(午前・午後) ドライブ(午後) お手玉ゲーム スカット玉入れ	16 展望風呂(午前・午後) ドライブ(午後) お手玉ゲーム スカット玉入れ	17 展望風呂(午前・午後) ドライブ(午後) お手玉ゲーム スカット玉入れ	18 展望風呂(午前・午後) ドライブ(午後) お手玉ゲーム スカット玉入れ
19	20 展望風呂(午前・午後) セツブン草(午後) お手玉ゲーム スカット玉入れ	21	22 展望風呂(午前・午後) 防災訓練 お手玉ゲーム スカット玉入れ	23 展望風呂(午前・午後) 防災訓練 お手玉ゲーム スカット玉入れ	24 展望風呂(午前・午後) 移動美容室 お手玉ゲーム スカット玉入れ	25 展望風呂(午前・午後) 移動美容室 お手玉ゲーム スカット玉入れ
26	27 展望風呂(午前・午後) 移動美容室 お手玉ゲーム スカット玉入れ	28	29 展望風呂(午前・午後) 移動美容室 お手玉ゲーム スカット玉入れ	30 展望風呂(午前・午後) 移動美容室 お手玉ゲーム スカット玉入れ	31 展望風呂(午前・午後) 移動美容室 お手玉ゲーム スカット玉入れ	

◆入浴(午前/午後)◆  
展望風呂は(月)水(金)土  
チェア入浴は(月)~(土)行っております

◆誕生食◆  
お誕生月の方のお祝いとして、昼食にはお祝膳他、お楽しみおやつ等をご提供しております

◆手作りおやつ◆  
今回はあんみつでした！

学生ボランティア

地元の高校生が来てくれました！

★感染症予防に所内ではこまめな手洗い消毒を励行致しております。手洗いうがい時にはセンターに備えております使い捨てペーパータオルのご使用をお願い致します

★来所時には新しいマスク(可能であれば使い捨ての不織布マスク)か洗濯をされたマスクの着用をお願い致します。予備のマスクをバックの中に持参して頂ければ落とし汚れた場合、交換が出来ます

★歯ブラシ持参のご利用者様・ご家族様 歯ブラシの状態と歯磨き粉の残量の確認をお願いいたします。

★最近落し物が増えてきました。出来る限り持ち物に記名をしていただければと思います。よろしくお願ひいたします

市内中学生の職場体験

令和7年11月

# ふれあい

在宅サービスセンター加美 ☎042-553-3736

日	月	火	水	木	金	土
お休み	1 展望風呂(午前・午後) 囲碁ゲーム スカット玉入れ					
2	3 展望風呂(午前・午後) セツブン草(午後) お手玉ゲーム スカット玉入れ	4 展望風呂(午前・午後) 焼菓子大会(午後) お手玉ゲーム スカット玉入れ	5 展望風呂(午前・午後) 焼菓子大会(午後) お手玉ゲーム スカット玉入れ	6 展望風呂(午前・午後) 焼菓子大会(午後) お手玉ゲーム スカット玉入れ	7 展望風呂(午前・午後) 焼菓子大会(午後) お手玉ゲーム スカット玉入れ	8 展望風呂(午前・午後) 焼菓子大会(午後) お手玉ゲーム スカット玉入れ
9	10 展望風呂(午前・午後) 焼菓子大会(午後) お手玉ゲーム スカット玉入れ	11	12 展望風呂(午前・午後) 焼菓子大会(午後) お手玉ゲーム スカット玉入れ	13 展望風呂(午前・午後) 焼菓子大会(午後) お手玉ゲーム スカット玉入れ	14 展望風呂(午前・午後) 焼菓子大会(午後) お手玉ゲーム スカット玉入れ	15 展望風呂(午前・午後) 焼菓子大会(午後) お手玉ゲーム スカット玉入れ
16	17 展望風呂(午前・午後) 焼菓子大会(午後) お手玉ゲーム スカット玉入れ	18	19 展望風呂(午前・午後) 焼菓子大会(午後) お手玉ゲーム スカット玉入れ	20 展望風呂(午前・午後) 焼菓子大会(午後) お手玉ゲーム スカット玉入れ	21 展望風呂(午前・午後) 焼菓子大会(午後) お手玉ゲーム スカット玉入れ	22 展望風呂(午前・午後) 焼菓子大会(午後) お手玉ゲーム スカット玉入れ
23	24 展望風呂(午前・午後) 焼菓子大会(午後) お手玉ゲーム スカット玉入れ	25	26 展望風呂(午前・午後) 焼菓子大会(午後) お手玉ゲーム スカット玉入れ	27 展望風呂(午前・午後) 焼菓子大会(午後) お手玉ゲーム スカット玉入れ	28 展望風呂(午前・午後) 焼菓子大会(午後) お手玉ゲーム スカット玉入れ	29 展望風呂(午前・午後) 焼菓子大会(午後) お手玉ゲーム スカット玉入れ
30	30 展望風呂(午前・午後) 焼菓子大会(午後) お手玉ゲーム スカット玉入れ					

◆入浴(午前/午後)◆  
展望風呂は(月)水(金)土  
チェア入浴は(月)~(土)行っております

◆誕生食◆  
お誕生月の方のお祝いとして、昼食にはお祝膳他、お楽しみおやつ等をご提供しております

◆手作りおやつ◆  
10月はお団子でした！

「ドライブだけじゃなくて・・・」  
という声がありましたので、アイスクリームを食べに行ってみました！！  
毎月とは限りませんが、美味しい物を食べたり飲んだりする時間を作っていきたいと思います。♪  
飲食代は個人負担とさせていただきますのでご理解・ご協力よろしくお願い申し上げます。

★感染症予防に所内ではこまめな手洗い消毒を励行致しております。手洗いうがい時にはセンターに備えております使い捨てペーパータオルのご使用をお願い致します

★来所時には新しいマスク(可能であれば使い捨ての不織布マスク)か洗濯をされたマスクの着用をお願い致します。予備のマスクをバックの中に持参して頂ければ落とし汚れた場合、交換が出来ます

★歯ブラシ持参のご利用者様・ご家族様 歯ブラシの状態と歯磨き粉の残量の確認をお願いいたします。

★最近落し物が増えてきました。出来る限り持ち物に記名をしていただければと思います。よろしくお願ひいたします。

令和7年12月

# ふれあい

在宅サービスセンター加美 ☎042-553-3736



日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
お休み	展望風呂(午前・午後) 前編えゲーム	展望風呂(午前・午後) 前編えゲーム	展望風呂(午前・午後) 前編えゲーム	展望風呂(午前・午後) 前編えゲーム	展望風呂(午前・午後) 前編えゲーム	展望風呂(午前・午後) 前編えゲーム
7	8	9	10	11	12	13
お休み	展望風呂(午前・午後) 書道	展望風呂(午前・午後) 書道	展望風呂(午前・午後) 書道	展望風呂(午前・午後) 書道	展望風呂(午前・午後) 書道	展望風呂(午前・午後) 書道
14	15	16	17	18	19	20
お休み	展望風呂(午前・午後) ドライブ(午後)	展望風呂(午前・午後) ドライブ(午後)	展望風呂(午前・午後) ドライブ(午後)	展望風呂(午前・午後) ドライブ(午後)	展望風呂(午前・午後) ドライブ(午後)	展望風呂(午前・午後) ドライブ(午後)
21	22	23	24	25	26	27
お休み	展望風呂(午前・午後) 誕生日食&クリスマス会	展望風呂(午前・午後) 誕生日食&クリスマス会	展望風呂(午前・午後) 誕生日食&クリスマス会	展望風呂(午前・午後) 誕生日食&クリスマス会	展望風呂(午前・午後) 誕生日食&クリスマス会	展望風呂(午前・午後) 誕生日食&クリスマス会
28	29	30	31			
お休み	展望風呂(午前・午後) クリスマス会	展望風呂(午前・午後) クリスマス会	展望風呂(午前・午後) クリスマス会	展望風呂(午前・午後) クリスマス会	展望風呂(午前・午後) クリスマス会	展望風呂(午前・午後) クリスマス会

◆入浴(午前/午後)◆  
展望風呂は(月)X(水)X(土)  
チェア入浴は(月)~(土)行っております

◆誕生食◆  
お誕生月の方のお祝いとして、昼食にはお祝膳他、お楽しみおやつ等をご提供しております

◆手作りおやつ◆  
11月はロールケーキでした!



ドライブ



ドーナツを食べ

☆感染症予防に所内ではこまめな手洗い消毒を励行致しております。手洗いうがい時にはセンターに備えております使い捨てペーパータオルのご使用をお願い致します

☆来所時には新しいマスク(可能であれば使い捨ての不織布マスク)か洗濯をされたマスクの着用をお願い致します。予備のマスクをバックの中に持参して頂ければ落とし汚れた場合、交換が出来ます

☆歯ブラシ持参のご利用者様・ご家族様 歯ブラシの状態と歯磨き粉の残量の確認をお願いいたします

☆最近落し物が増えてきました。出来る限り持ち物に記名をしていただければと思います。よろしくお祈りいたします



令和8年1月

# ふれあい

在宅サービスセンター加美 ☎042-553-3736

日	月	火	水	木	金	土
	26	27	28	29	30	31
お休み	2026 謹賀新年	2026 謹賀新年	2026 謹賀新年	2026 謹賀新年	2026 謹賀新年	2026 謹賀新年
4	5	6	7	8	9	10
お休み	展望風呂(午前・午後) セツブン草	展望風呂(午前・午後) 初詣に行こう!	展望風呂(午前・午後) 初詣に行こう!	展望風呂(午前・午後) 初詣に行こう!	展望風呂(午前・午後) 初詣に行こう!	展望風呂(午前・午後) 初詣に行こう!
11	12	13	14	15	16	17
お休み	展望風呂(午前・午後) 書道	展望風呂(午前・午後) 書道	展望風呂(午前・午後) 書道	展望風呂(午前・午後) 書道	展望風呂(午前・午後) 書道	展望風呂(午前・午後) 書道
18	19	20	21	22	23	24
お休み	展望風呂(午前・午後) 誕生日食	展望風呂(午前・午後) 誕生日食	展望風呂(午前・午後) 誕生日食	展望風呂(午前・午後) 誕生日食	展望風呂(午前・午後) 誕生日食	展望風呂(午前・午後) 誕生日食
25	26	27	28	29	30	31
お休み	展望風呂(午前・午後) 手作りおやつ	展望風呂(午前・午後) 手作りおやつ	展望風呂(午前・午後) 手作りおやつ	展望風呂(午前・午後) 手作りおやつ	展望風呂(午前・午後) 手作りおやつ	展望風呂(午前・午後) 手作りおやつ

◆入浴(午前/午後)◆  
展望風呂は(月)X(水)X(土)  
チェア入浴は(月)~(土)行っております

◆誕生食◆  
お誕生月の方のお祝いとして、昼食にはお祝膳他、お楽しみおやつ等をご提供しております

## おしらせ

◎書道の活動日を1月より第2金曜日に変更します。

◎ひまわり美容室は1月より料金改定します。

◎エレベーターのリニューアル工事をいたします  
工事期間は1/12(月)から1/27(火)までとなります。工事期間中はデイサービスの活動を5Fホールにて行いますので、ご不便をおかけしますが、何卒ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

☆感染症予防に所内ではこまめな手洗い消毒を励行致しております。手洗いうがい時にはセンターに備えております使い捨てペーパータオルのご使用をお願い致します

☆来所時には新しいマスク(可能であれば使い捨ての不織布マスク)か洗濯をされたマスクの着用をお願い致します。予備のマスクをバックの中に持参して頂ければ落とし汚れた場合、交換が出来ます

令和8年2月

# ふれあい

在宅サービスセンター加美 ☎042-553-3736

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
展望風呂は月・水・金・土			チェアー浴は月～土行っております			
お休み	セツブン草(午後) 輪投げレゴ	節分 豆まき(午後) お羊羹ゲーム	お刺しゲーム 後ろ向き玉入れ	ロボお手玉 風船ハネ	紙風船クラクラゲーム カーリング	田植えゲーム CDカーリング
8	9	10	11	12	13	14
展望風呂は月・水・金・土			チェアー浴は月～土行っております			
お休み	防災訓練 ヤクルト山積み コック投げゲーム	田植えゲーム ペグボール転がし	輪投げレゴ かから草	ひまわり美容室 お手玉山積み スリット玉入れ	書道(午後) ネイル(午後) 《ボランティア》 《ボランティア》 ロボお手玉 カラオケ	教えてベグ押し ピンポンゲーム
15	16	17	18	19	20	21
展望風呂は月・水・金・土			チェアー浴は月～土行っております			
お休み	セツブン草(午後) 田植えゲーム	お楽しみレゴがあるかも！ 教えてベグ押し 《ボランティア》	ドライブ(午後) どこへ行くかはお楽しみ ロボお手玉 カラオケ	ヤクルト山積み 魚釣りゲーム	輪投げレゴ ペグボール転がし	お刺しゲーム 後ろ向き玉入れ
22	23	24	25	26	27	28
展望風呂は月・水・金・土			チェアー浴は月～土行っております			
お休み	誕生食 タオル山積み はらぺこ草	田植えゲーム スリット玉入れ	ロボお手玉 風船ハネ	手作りおやつ (午後) 紙風船クラクラゲーム CDカーリング	水彩画(午後) 移動美容室 ネイル(午後) 《ボランティア》 お手玉ゲーム みんなで歌おう	ヤクルト山積み 天竺第一レゴ

☆感染症予防に所内ではこまめな手洗い消毒を励行致しております。手洗いうがい時にはセンターに備えております使い捨てペーパータオルのご使用をお願い致します

☆来所時には新しいマスク(可能であれば使い捨ての不織布マスク)か洗濯をされたマスクの着用をお願い致します。予備のマスクをバックの中に持参して頂ければ落としたり汚れた場合、交換が出来ます

☆歯ブラシ持参のご利用者様・ご家族様 歯ブラシの状態と歯磨き粉の残量の確認をお願いいたします。

**ありがとうございます**

エレベーターのリニューアル工事の際には、皆様にご協力頂きまして誠にありがとうございました。工事期間中は5階ホールで活動の予定をしておりましたが、1日だけで済み、1階デフロアにて通常の活動が行えました。

**お知らせ**

**機能訓練サービスの体制変更**


当事業所では、専属の機能訓練指導員を配置することとなりました。それに伴いまして、新たに機能訓練の利用希望される方を募集いたします。

詳細につきましては、当サービスまでお気軽にお問合せ下さい。

下記の日程は機能訓練士が不在の日となります。

2月2日(月)、2月11日(水)  
2月19日(木)、2月23日(月)

機能訓練指導員 井上 翼 です！



令和8年3月

# ふれあい

※都合により予定を変更することがあります。ご了承下さい。

在宅サービスセンター加美 ☎042-553-3736

日	月	火	水	木	金	土	
1	2	3	4	5	6	7	
展望風呂は月(水)(金)(土)			チェアー浴は(月)～(土)行っております				
お休み	セツブン草(午後) ネイル(午後) 《ボランティア》 お羊羹ゲーム	ひな祭り 製作レク(午後)	紙風船クラクラゲーム ペグボール転がし	田植えゲーム 魚釣りゲーム	輪投げレゴ シューティングゲーム	ロボお手玉 後ろ向き玉入れ	
8	9	10	11	12	13	14	
お休み	お刺しゲーム CDカーリング	お手玉ゲーム 大輪ボール転がし	田植えゲーム カーリング	教えてベグ押し スリット玉入れ	ヤクルト山積み カラオケ	慰問 ブレイクダンス (午後) 割れ紅アニメ	
15	16	17	18	19	20	21	
展望風呂は月・水・金・土			チェアー浴は月～土行っております				
お休み	セツブン草(午後) タオル山積み	防災訓練 割れ紅ゲーム みんなで歌おう	ネイル(午後) 《ボランティア》 輪投げレゴ 椅子に乗せゲーム	ロボお手玉 コック投げレク	紙風船クラクラゲーム CDカーリング	田植えゲーム カラオケ	
22	23	24	25	26	27	28	
お休み	教えてベグ押し スリット玉入れ	割れ紅ゲーム 風船ハネ	お楽しみレゴがあるかも！ お手玉山積み みんなで歌おう	ヤクルト山積み ペグボール転がし	水彩画(午後) 移動美容室	誕生食	
29	30	31	お花見ドライブ(午後) お手玉ゲーム カラオケ				お刺しゲーム お魚釣りゲーム

◆入浴(午前/午後)◆  
展望風呂は(月)(水)(金)(土)  
チェアー浴は(月)～(土)行っております

◆誕生食◆  
お誕生月の方のお祝いとして、昼食にはお祝膳他、お楽しみおやつ等をご提供しております



☆感染症予防に所内ではこまめな手洗い消毒を励行致しております。手洗いうがい時にはセンターに備えております使い捨てペーパータオルのご使用をお願い致します

☆来所時には新しいマスク(可能であれば使い捨ての不織布マスク)か洗濯をされたマスクの着用をお願い致します。予備のマスクをバックの中に持参して頂ければ落としたり汚れた場合、交換が出来ます

☆歯ブラシ持参のご利用者様・ご家族様 歯ブラシの状態と歯磨き粉の残量の確認をお願いいたします。

2025年度

指定居宅介護支援事業  
事業報告書

社会福祉法人福陽会

介護プランセンターサンシャインビラ

## 事業報告

- 本年度は年間延べ2,718件（前年度2,617件）のケアプラン作成業務を行った。
- 福生市等からの委託業務である介護予防ケアプラン作成受託業務等を積極的に行った。
- 併設事業である、訪問介護・通所介護・短期入所生活介護等への情報提供を積極的に行い、併設事業の人員確保に努めた。情報提供では連絡事項を文書化し、これにより適切かつ円滑な連絡につとめた。
- 利用者個別ファイルを作成し、契約～アセスメント～ケアプラン作成～モニタリングと一元管理を徹底した。
- よりよいケアプランを利用者に提供すべく、資質向上・情報収集のため、積極的に研修に参加した。
- 東京都介護支援専門員実務研修実施機関として登録し、実習生を受け入れた。
- 年度末に大幅な人員体制の変更あったが、計画的な引継ぎと新体制に向けての調整や相談を行い、安定した業務の継続を行った。

### 【事業計画達成状況】

利用者様が明るく豊かに生活でき、利用者様のご家族様が施設生活に対して信頼や安心を感じてもらえるような、個々のニーズにあったサービス提供並びにプライバシーに配慮したサービス提供の充実をはかるべく、事業運営を心がけ、そして利用者・地域住民から評価される質の高いサービス提供することができた。年度当初目標を常に心がけ、一年間の事業運営にあたってきた。新体制で迎えることとなる、次年度以降も職員が初心を忘れずに各自が責任を持って業務を遂行していく。

### 職員配置（3月31日現在）

職名	当センター職員配置人数と氏名（資格）
センター長	1名
管理者	1名（主任介護支援専門員 0名）
介護支援専門員	3名（主任介護支援専門員 0名）

ケアプラン

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	total
ケアプラン 作成	238	242	243	230	222	219	242	249	248	239	234	111	2718

※令和7年12月以降、特定事業所加算IIは未算定となる。

要支援受託

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援 受託	11	12	12	12	11	10	10	11	12	11	7	6	125

認定調査実施件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
認定 調査	2	0	1	0	1	0	4	0	0	0	0	0	8

研修・会議等出席状況

月 日	研修名称等	出席職員
4月	事業所内研修「接客マナーについて」	新橋・奥村・大八木・野元・大谷・日下・志村
	第1回主任介護支援専門員連絡会	新橋・野元・大谷
5月	事業所内研修「心を通わせるコミュニケーション」「倫理綱領」	新橋・奥村・大八木・野元・野元・日下
	BCP 研修(炊き出し訓練)	新橋・大谷・安藤
	福生市介護保険事業者連絡協議会主催研修「認知症高齢者に寄り添う」	奥村・野元・日下
6月	事業所内研修「特定事業所加算について」	新橋・奥村・大八木・野元・野元・日下
	第2回主任介護支援専門員連絡会「ケース検討会議」「社会資源の再確認」	新橋・大谷・安藤
7月	訪問看護こころ主催「訪問リハビリは身体機能訓練だけではない」	志村・安藤・奥村・大八木・日下
	事業所内研修「プライバシー保護の取り組み」	新橋・奥村・大八木・野元・野元・日下
	日本ケアサプライ「ヤングケアラー・障害者支援編」	新橋
8月	第3回主任介護支援専門員連絡会「独居・身寄りなし・お金なしどう対応する」	新橋・大谷・安藤・日下
	Livedo オンラインセミナー「高齢者虐待はなぜ起きる」「身体拘束せずに事故を防ぐ方法」	大谷・奥村・安藤・野元・日下・大八木
9月	日本ケアサプライ「難病・生活困窮者自立支援制度」	新橋
	西多摩保健所/西多摩保健所・精神保健福祉講演会「アルコール問題をもつ高齢者と家族に対する相談支援」	志村
10月	第4回主任介護支援専門員連絡会「事例検討会」	大谷
	事業所内研修「成年後見制度」	新橋・大谷・奥村・安藤・吉澤・野元・日下
11月	事業所内研修「感染症対策について」	新橋・奥村・大八木・野元・大谷・日下・吉澤
	地域包括支援センター主催「医療・介護・障害・困窮に繋がらない方への介入について」	新橋
12月	事業所内研修「認知症について」	新橋・奥村・大八木・野元・大谷・日下・吉田・安藤
	第5回主任介護支援専門員連絡会主催研修「医療との連携」「包括の医療職」	大谷・吉田
1月	東京都国保連主催「円滑な多職種連携を行うための体制づくり」	吉田
	福生市介護保険事業者連絡協議会主催「賀詞交換会」	吉田・大八木・日下・吉澤
	東京都福祉局主催「カスタマーハラスメント対策説明会」	吉田

2月	福生市介護保険課「ケアプラン点検」	吉田
	第6回主任介護支援専門員連絡会「避難行動要支援者に対する支援」	吉田
3月	第2サンシャインピラ、福生市役所との合同訓練「BCP対策に基づく防災訓練」	吉田・日下
<p>※特定事業所加算Ⅱ算定要件による定期的な会議の実施（週1回以上実績）</p> <p>※新人、介護支援専門員入職時研修実施</p> <p>※介護支援専門員に対する継続的な個別研修を実施</p> <p>※東京都介護支援専門員実務研修における実習生の受け入れ</p> <p>※東京都介護支援専門員研修課程Ⅰ・Ⅱ ※主任介護支援専門員研修 ※主任介護支援専門員更新研修</p> <p>※他法人との共同研修</p>		

令和7年度

福生市地域包括支援センター加美  
高齢者見守りステーション

事業報告書

社会福祉法人 福陽会

【配置職員】

センター長	1名(兼務)
主任介護支援専門員	1名
社会福祉士	1名
主任介護支援専門員・社会福祉士	1名
経験のある看護師兼認知症地域支援推進員	1名
第2層生活支援コーディネーター兼介護支援専門員	1名
認定調査員(介護支援専門員)	1名(非常勤)

令和7年度は、新人職員が2名入職し新たなチーム体制となりました。

認知症総合支援事業としては、今年度6月よりオレンジカフェを毎月開催し、ミニ講座や笑いヨガなども行い、認知症の方以外の方の集いの場所として定着してきました。

総合相談・支援事業では、生活困窮や虐待事例、成年後見制度活用への支援、家族全体への支援など重層的な支援が必要な事例が増え、権利擁護事業へとつなげています。また、居住支援も少しずつ増えています。そのため以前よりさまざまな機関、専門職との連携を行いました。

事業内容

【総合・相談支援事業】

昨年度は項目の選択数をそのまま類型として数えていましたが、本年度は項目の選択数に制限をつけて、類型をしているため、3包括ともに数字としては減っていますが、実際の相談件数はやや多くなっていると思います。

・開所日・相談実人数

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
開所 日数	25	24	25	27	25	24	26	23	24	23	22	25
相談実 件数	106	100	106	101	105	94	89	80	104	93	78	116

Total.1172件

・高齢者支援係との連絡会

	開 催 日
地域包括支援センター見守りステーション連絡会 (毎月)	4/25、5/26、6/27、7/25、8/29、9/26 10/31、11/28、12/19、1/30、2/27、3/27

・専門職連絡会

	開催日
西多摩地域包括支援センター連絡会	7/9
医療職連絡会（約3か月に1回） 西多摩地域包括支援センター医療食連絡会（年1回）	4/10、7/2、9/11、11/6、3/3 12/8
主任介護支援専門員連絡会（毎月） 西多摩地域包括支援センター主任介護支援専門員連絡会（年1回）	4/28、5/15、6/12、7/17、8/14、9/18、 10/16、11/20、12/11、1/15、2/19、3/19 1/28
社会福祉士連絡会（原則約3か月に1回） 西多摩包括支援センター社会福祉士連絡会（年1回）	4/23、5/24、7/14、9/17、12/20、2/18、3/11 10/15
生活支援コーディネーター連絡会 （約3か月に1回）	4/17、5/15、6/19、7/17、12/18

・介護予防リーダー合同連絡会参加：なし

・自立支援型地域ケア会議（年4回第4水曜日）

今までの各包括主催の個別地域ケア会議から3包括合同での自立支援型地域ケア会議となる。視点を、本人の自立支援・介護予防・重度化防止とし「その人らしくあるため」の選択肢を増やせるように専門職からの意見をえて、市主催の地域ケア会議につなげる。

実施日	事例提供者
6月18日	中川、熊川包括、武蔵野包括
8月20日	勝田、熊川包括、武蔵野包括
11月19日	石部、熊川包括、武蔵野包括
1月21日	居宅介護支援事業所からの事例提出

・個別地域ケア会議

実施日	え	内 容	
11月12日		「医療、介護、障害、困窮につなげたい方」（武蔵野包括）	三包括主催
3月17日		「客観的に見て支援が必要だが、自覚のない本人と介護者となりえない家族について」	加美主催

【認知症総合支援事業】

・介護者相互の交流会<オレンジカフェ加美>】

認知症当事者の方、その方のご家族、支援している方などが、認知症等について日頃の悩みなどを語り合い、交流を深めることができる憩いの場として実施しました。

ウェルシア加美平にて固定

開催日	参加者数	開催日	参加者数
6月24日	5	11月25日	5
7月22日	3	12月23日	3
8月26日	7	1月27日	6
9月30日	5	2月24日	9
10月28日	5	3月24日	6

・認知症サポーター養成講座

認知症に対する正しい知識と理解をもち、認知症の方やその家族が安心して暮らせるよう地域で一緒にサポートをしていただける方を増やしていくために実施しました。

実施日		会場	参加者数
5月27日		ウェルシア加美平店	6
11月14日	牛浜一福寿会	牛一会館	15
11月19日	志茂第一 市主催	志茂一会館	26
12月8日	市主催フォローアップ講座	もくせい会館	
1月27日	四小(4年生) 市主催	四小	45
2月26日	加美サロン	わかぎり会館	12

【包括的・継続的ケアマネジメント支援事業】

・市内主任介護支援専門員連絡会

介護支援専門員、地域の関係者等、地域における多職種相互の連携を図り、地域課題を把握して問題解決の為に協議を実施しました。また、主任介護支援専門員などのネットワークを運営し、各事業所における個別援助技術の向上に努めました。

終了後は、ケアプラン相談会を実施。

実施日	内容	参加者数(人)
4月25日	令和7年度の事業について、他	8+6
6月28日	学習会「社会資源再確認」、事例検討、他	13+7
8月22日	ケアマネジャー座談会「独居、身寄りなし、お金なし」どう対応する？、他	12+6

10月24日	あつみデンタルクリニック歯科医師による学習会、事例検討、他	13+5
12月19日	「医療との連携「MDRPUとスキン-ケア」について、ALSOK見守りサポート勉強会、他	11+6
2月27日	福生市「避難行動支援希望者登録制度・「BCP」について、介護予防計画その見直し期間について、他	7+2

・介護支援専門員・居宅サービス事業所向け 包括主任介護支援専門員連絡会主催研修会は、三包括主催で行っていましたが、本年度は実施しないことになりました。

#### 【市民向け研修/介護予防の啓発/出前講座】

- ・高齢になっても安心して地域で生活できるよう、関心の高い課題を取り上げ、小地域福祉活動や地域へ出向き、研修等を計画・実施しました。

実施日	対象	内容	参加者数 (人)
6月24日	オレンジカフェ参加者	OS-1,アクエリアス、ポカリスエットの違い	4
7月22日	〃	薬剤師から「メイバランスについて」	8
10月28日	〃	薬剤師から「歯磨き粉について」	5
11月25日	〃	「地域権利擁護事業について」	5
1月27日	〃	「成年後見制度について」	6
3月21日	加美町会	加美町会、第2サンシャインビラ	
3月24日	オレンジカフェ参加者	「消費者被害について」・「救急キット」説明	6
3月27日	第2サンシャインビラ	福生市防災訓練会議	

#### 【家族介護者教室の開催】

- ・高齢者を介護している家族や、これから介護に携わる方、支援者に対し介護方法等についての教室を開催しました。

実施日	内 容	参加者数(人)
12月15日	「移動するときのコツ教えます」	9

【権利擁護事業】

高齢者虐待やセルフネグレクト、生活困窮、成年後見制度の活用支援等権利擁護に関する支援が増えていきます。

・市民向け講座 包括社会福祉士連絡会主催

実施日	内 容	参加者数(人)
11月26日	「老後の生活を考える～成年後見制度について」	10

・コアメンバー会議への参加

実施日	
3月23日	加藤、中川

【参加した地域活動/合同講演会など】

実施日	内 容	会 場	参加職員
5月16日	加美平いきいきサークル	加美平住宅集会室	勝田
7月28日	JKK 涼みどころ	JKK	勝田
9月28日	介護予防記念講演会	もくせい会館	中川
11月9日	加美町会文化祭	加美公会堂	石部・中川

【その他】

参加した研修

実施日	内 容	主 催	会 場	参加職員
7月16日	権利擁護テーマ別研修「セルフネグレクトへの支援の基本」	東京都福祉保健財団	ベルサール飯田橋 駅前1F ホール	勝田
7月1日- 7月31日	個人情報保護法並びにプライバシー保護について	東社協	WEB	石部、勝田、 中川、志村
7月26日	市民後見人について	成年後見センター	福生市福祉センター 集会・学習室	石部、勝田、 中川、志村
8月7日	令和7年度関係機関向け専門研修「ひきこもり概論」	東京都福祉保健財団	東京都福祉保健財団 19F 多目的 HR	石部
8月8日	令和7年度関係機関向け専門研修「ひきこもり概論」	東京都福祉保健財団	東京都福祉保健財団 19F 多目的 HR	中川・勝田
8月22日	ふくふくネット 「DWIBS」について	公立福生病院	WEB	加藤
9月5・11・ 12日	令和7年度市町村職員等高齢者権利擁護研修「養護者による高齢者虐待対応研修(基礎研修)」	東京都福祉保健財団	あいおいニッセイ同和損保新宿ビル	志村

9月11日	東京都認知症多職種共同研修	東京都福祉保健局	S&D たまぐーセンター	加藤
9月26日	ふくふくネット「専門認定看護師の照会とともに出張セミナーについて」	公立福生病院	WEB	加藤
10月14日	悩む、困る、難しい「どう対応したらいいんだろう」と思うことはありませんか？	西多摩保健所	西多摩保健所 2F 講堂	石部
10月20日 11月3日 12月28日 1月12日 2月23日 2月27日	東京都主任介護支援専門員研修	C-MAT	ホテルエミシア東京立川	志村
10月24日	ふくふくネット「疥癬等、流行の感染症について」	公立福生病院	WEB	加藤
11月8日	東京都キャラバンメイト養成研修	東京都福祉局高齢者施策推進部	東京海洋大学品川キャンパス	加藤
11月28日	第3回東京都認知症地域対応力向上研修	東京都健康長寿医療センター	ベルサール新宿グランド	勝田
11月28日	ふくふくネット「がん患者の看取りについて」	公立福生病院	WEB	石部・志村
12月4日	東京都キャラバンメイト養成研修	東京都福祉局高齢者施策推進部	東京海洋大学品川キャンパス	志村
1月16日	介護支援専門員が押さえておくべき介護保険法～今後の展望や介護保険法改正に向けた介護支援専門員の在り方などを学ぶ～	日の出町役場いきいき健康課	日の出町役場 3F 第1・2会議室	勝田・志村 中川
2月2日	高齢者虐待について	瑞穂町帰還形地域包括支援センター	瑞穂町 ふれあいセンター2F	志村
3月10日 11日	市町村職員等高齢者権利擁護研修「高齢者虐待応用研修 B」	東京都福祉保健財団	あいおいkニッセイ 童話尊母新宿ビル	勝田

会議への出席

実施日	内 容	実施主体	会 場	参加職員
5月26日	令和7年度第2回地域ケア会議 (傍聴)	羽村市主任介護支 援専門員連絡会	羽村市役所 2F	中川
10月2日	令和7年度福生市高齢者虐待防止 連絡会	福生市高齢福祉課	もくせい会 館	加藤
11月21 日	地域密着型通所介護 運営推進会 議	リハビリセンターあ おぞら	リハビリセンタ ーあおぞら	勝田
12月13	地域密着型通所介護 運営推進会 議	樹楽デイサービス	樹楽デイサービス	白川
1月30日	青梅成木台病院連絡会	青梅成木台病院	ゆとろぎ	勝田
2月4日	福生市地域包括支援センター運営 協議会	福生市高齢福祉課	福生市庁舎 第2棟4F	勝田 中川・志村

認定調査実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10	11	12	1月	2月	3月
件数	21	22	33	28	28	28	31	30	28	31	34	27
(委託)	(2)						(4)					

(委託先は介護プランセンターサンシャインビラ)

Total.341件・(委託)6件

令和7年度

福生市高齢者見守りステーション

事業報告書

社会福祉法人 福陽会

## 高齢者見守りステーション

### 【配置職員】

相談員 大河原 希充子  
相談員（非常勤） 鈴木 敦子

高齢者見守りステーションは、福生市全域の概ね 65 歳以上の一人暮らし世帯・高齢者のみで構成する世帯に属する者・日中独居及び心配情報のあった高齢者について、福生市から委託を受けた以下の業務について運営した。

### ● 高齢者見守り相談窓口の設置

### ● 在宅高齢者の生活実態の把握と見守り

- ・介護保険サービスまたは地域包括支援センターの支援を受けていない高齢者を対象とし訪問した。
- ・戸別訪問や電話等の適切な手段により情報収集・生活実態の把握を行った。
- ・支援が必要であるのに自ら声をあげない高齢者の掘り起しを行った。
- ・地域住民等からの心配情報により必要がある場合は戸別訪問し状況確認を行った。
- ・生活実態を把握し必要があれば情報提供・関係機関へ繋げた。

### ● 地域包括支援センターとの連携

- ・介護保険等の申請が必要と考えられる場合は関係機関へ円滑に引き継ぎを行った。
- ・相談記録等は域包括支援センターシステムに速やかに入力した。
- ・福生市在宅高齢者のためのサービス等の申請代行依頼を行った。

### ● その他必要と認められる業務

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	Total
戸別訪問等 実績	547	472	455	446	360	468	515	290	547	572	412	406	5490
うち連携数	73	69	43	50	50	50	68	45	56	38	31	56	629

2025 年 度 (案)

事 業 報 告 書

社会福祉法人 福 陽 会

特別養護老人ホーム 第3サンシャインビル  
短期入所生活介護・介護予防短期入所生活介護 (ショートステイ)

## 1. 事業報告（総括）

### 1. 中長期経営計画

(1) 福陽会の基本理念を毎朝唱和する事で、全職員が基本理念を基本としたサービス提供に努めた。利用者様を始め、ご家族様、地域の皆様と共に大きな家族として「こころある介護」を行うことができた。

(2) 中期基本方針

①利用者様、ご家族様、地域の方々から評価して頂けるサービス提供ができるよう、他部署で連携を取り、各部署風通しの良い関係性が構築できた。「こころある介護を提供する事で、利用者様の笑顔を多く引き出す事ができた。

②業務検討委員会にて毎月の稼働率の報告を行い、各部署の所属長が経営に対する意識を持ち業務を行う事ができた。

③資格取得支援制度を活用し、新たな資格取得、内部、外部研修によるスキルアップ支援を行った。

④第3者評価を受け、透明性を確保した。

⑤新たな福祉ニーズに対応する事業については実施できなかった。

### 2. 基本目標

福陽会の基本理念については、毎日基本理念の唱和を行うと共に、理事長、統括施設長、施設顧問医師にご指導いただきながら、職員に対し理念、法人としての考えを伝える事で福陽会の職員としての意識向上を図った。新入職員については、入職時に統括施設長の思いが書かれた文章から福陽会基本理念について説明を行う事で基本理念の浸透に努めた結果、新人であっても理念に共感でき、それを基としてケアを行う職員が増えている。

### 3. 基本方針について

加齢に伴って生ずる心身の変化に起因する疾病等により要介護状態となり、入浴、排泄、食事等の介護、機能訓練並びに看護及び療養上の管理、その他の医療を要する方等について、これらの利用者様が尊厳を保持し、その有する能力に応じ自立した日常生活を営む事が出来るよう、施設顧問医師指導の下、各部署連携し必要な介護サービスを提供し、地域福祉の増進を図る事を目的として事業を行った。

(1) 利用者様の健康状態、身体状況を充分考慮に入れ、各部署の職員による情報の共有と連絡、相談を密に行い、職員1人1人が利用者様を良く観察し、介助が必要な利用者様が最低限度の援助で快適な生活が送れる為の環境作りに努めた。

(2) 「ボランティア交流会」を開催し、地域の方達に施設を知っていただきながら、意見交換を行い、地域のニーズの把握を行った。

(3) 音楽ボランティアや傾聴ボランティア、慰問の方々にお越しいただき、ご利用者様に季節感を感じていただけるよう行事を開催した。

### 4. 2025年度の重点目標

法人理念である「人がその人らしく生活できる環境づくり」を念頭に、理事長、統括施設長、施設顧問医師のご指導の下、ご利用者様、ご家族様に「第3サンシャインビルに来て良かった」と思っただけの施設を目指し取り組みを行いました。

今年度の特養の稼働率は96.67%、平均介護度は4.1となりました。目標としていた稼働率99%には届きませんでした。施設顧問医師のご指導のもと、多職種連携し、安心・安全なサービス提供体制の維持に努めることができました。一方で、入院者数の増加による空床期間の発生に加え、物価高騰の影響や入所ニーズの変化などがあり、目標としていた稼働率の達成には至りませんでした。稼働率向上に向けた取り組みとして、居宅介護支援事業所や民生委員の方々との交流を図り、地域との関係づくりや施設周知に努めました。一定の交流や理解促進につながったものの、利用者確保へ直結するまでには課題が残る結果となりました。今後も、地域や関係機関との連携を継続しながら、施設の特色や強みを積極的に発信し、「選ばれる施設づくり」に努めてまいります。

ショート稼働率は73.9%、平均介護度は2.6となりました。目標値である80%には届かなかったものの、過去最高の稼働率を達成することができました。居宅介護支援事業所への継続的な営業活動により、新規利用者の紹介につながったほか、ご利用者様・ご家族様からの評価により、リ

ピート利用も増加しました。また、空床状況に応じた柔軟な受け入れ対応を行ったことも、稼働率向上の一因となりました。しかし、利用状況には波があり、空床が継続する時期も見られたため、安定的な利用確保が今後の課題となっています。引き続き、居宅介護支援事業所との連携強化を図るとともに、緊急利用や短期利用ニーズへの迅速な対応を行い、更なる稼働率向上を目指してまいります。

サービスの質の向上については、ご利用者様一人ひとりに合った生活環境を提供できるよう、施設顧問医師のご指導のもと、多職種が連携しながら支援を行いました。

ご利用者様やご家族様の声をサービスへ反映できるよう、利用者懇談会を開催し、ご意見・ご要望の聞き取りを実施しました。いただいたご意見を基に、日々の支援内容や生活環境の改善に努めました。行事やレクリエーションについても、季節を感じられる催しや飾りつけ、体操やカラオケ、手芸等の日常的な活動を継続して実施し、ご利用者様の生活に楽しみを感じていただけるよう取り組みました。

各部署で策定した事業計画について、半期ごとに進捗確認を行い、取り組み状況の検証を実施しました。課題については部署間で共有し、サービスの質向上に向けた改善に努めました。

職員支援については、法人内の資格取得支援制度を活用し、職員の資格取得支援を行いました。今年度は、介護福祉士3名、介護支援専門員1名が資格試験に合格し、専門性向上につながりました。研修については、内部研修を継続的に実施し、知識・技術の向上に努めました。外部研修への参加促進や、職員一人ひとりに合わせた個別研修計画の作成・運用については十分に実施できず、今後の課題となっています。今後は、職員が目標を持ちながら成長できる体制づくりを進めるとともに、研修機会の充実を図り、人材育成の強化に努めてまいります。

衛生委員会や感染症委員会を通じて、施設顧問医師より感染対策や健康管理に関するご指導・助言を受け、職員が心身ともに健康に働ける職場環境づくりに取り組みました。

ICT機器の活用については、生産性向上と職員負担軽減を目的として、センサー付きベッドや自動体位交換付きのエアーマットを導入しました。ご利用者様の安全確保と業務効率化の両立を図りながら、働きやすい職場環境づくりと職員定着に向けた取り組みを進めました。

地域交流・地域貢献に関しては、ご利用者様が地域の一員として安心して暮らせる環境づくりを目指し、地域とのつながりを深める取り組みを行いました。ボランティア交流会を開催し、ボランティアの方々をはじめ地域住民や関係機関との交流を図るとともに、継続的な関係づくりに努めました。また、中学生の職場体験を受け入れ、福祉や介護への理解を深めていただく機会を提供しました。さらに、町からの依頼を受け、中学校での車椅子体験学習へ参加し、地域福祉への啓発活動にも取り組みました。今後も、地域や学校、ボランティア、関係機関との連携を継続し、地域に開かれた施設づくりを進めてまいります。

BCP（感染症・自然災害）への取り組みは、BCP（感染症・自然災害）に基づき、感染症対応および災害対応に関する研修・訓練を実施しました。

訓練を通じて、緊急時における対応手順や役割分担を確認し、職員の危機管理意識向上に努めました。また、訓練後には内容を振り返り、課題整理を行うことで、より実践的な対応が可能となるようBCP内容の見直し・改善にも取り組みました。施設顧問医師のご指導のもと、感染予防対策の徹底と職員間での情報共有を継続して行い、年間を通して感染症の蔓延を防ぎながら適切に対応することができました。今後も継続的に研修・訓練を実施し、感染症や自然災害など不測の事態に対して、迅速かつ適切に対応できる体制整備を進めてまいります。

看取り介護については、施設顧問医師を中心に、ご利用者様の状態観察を行いながら、多職種が連携して看取り介護に取り組みました。ご利用者様およびご家族様の意向を丁寧に伺い、その思いを尊重しながら、安心して最期の時間を過ごしていただけるよう支援を行いました。また、ご家族様との連絡・情報共有を密に行うことで、不安軽減に努めるとともに、ご利用者様とご家族様が穏やかな時間を共に過ごせるよう支援しました。2025年度は18名の方の看取り介護を実施し、多くのご家族様より感謝のお言葉をいただきました。今後も、ご利用者様一人ひとりの尊厳を大切に、その人らしい最期を支えられるよう努めてまいります。

## 2. 職 員 構 成 3月31日現在

担当職	職 名	職員	非常勤
施設長		1	
副施設長		1	
顧問医師			1
産業医			1
事務長			
事務員		3	2
生活相談員		2(1)	1
介護支援専門員		2(1)	1
介護職員		24	37
医務	医 師		2
	看護リーダー	1	
	看護職員	3	3
機能訓練指導員	機能訓練指導員	1	
	P T		1
厨房	管理栄養士	1	
	調理員	4	4
保守管理・宿直	介助員	1	4

\* 兼務職員は主たる職務に記載し、兼務している職務では（ ）内に記載

## 3. 会議・懇談会・委員会開催状況報告書

### 委員会

会議は毎月第2木曜日とし開催した。理事長、施設顧問医師の指導、助言のもと、各部署が連携し委員会活動を円滑に行うことができた。

#### 1) 業務検討委員会

法人の基本理念を基盤に、経営、人事、業務内容、次世代機器の導入検討等、各部署から議題を出し、改善に向け話しあった。各部署の状況を知ることでお互いの理解を深め、業務を円滑に行うことができた。

#### 2) 全体会

1回/月開催し、施設運営の状況や連絡事項、各部署からの情報を共有し、施設全体で同じ認識を持ち業務にあたるよう努めた。施設顧問医師による衛生委員会・感染症委員会も同時開催した。

#### 3) 入所判定会議

入所申込があった際には家族やケアマネなどから聞き取りを行い、速やかに判定会議が進められるよう準備を行った。申込者の状態を考慮しつつ施設顧問医師に意見を仰ぎ、判定を行った。

#### 4) 看取り介護委員会

看取り介護宣言のあった利用者様とご家族が安心して生活できるよう、聞き取りや適宜カンファレンスを行い、最善のケアが提供できるよう努めた。ご家族様からは多数、感謝の言葉をいただくことができた。

#### 5) 衛生委員会

職員の定期健康診断を実施した。また、産業医の指導のもと、労働者の健康管理に努めた。衛生管理者等による施設内巡回を定期的実施し、労働災害になりかねない箇所を検証し、職員が働きやすい環境整備を行った。また、職員のストレスチェックを実施し、従業員のメンタルヘルス不調を未然に防止した。

#### 6) 感染症委員会

会議にて都内の感染状況の発信を行い、施設内感染予防の啓発に努めた。また、勉強会を通じ感染対応の周知に努めていった。結果、今年度は大きなクラスターの発生はなく経過。しかしながら、実施指導の頻度は低く、指導スタッフの配置に関しても更新できていないことも多く指導の不十分さも残る結果となった。新人スタッフへの指導などは行っているが、今後は現存するスタッフへの指導も適宜行い、施設内感染予防の水準を高めていきたい。

#### 7) 事故防止委員会

会議にて施設で発生した事故、アクシデント、ヒヤリハット事例を取り上げ話し合いの場を設ける。話し合った内容を各部署で周知と注意喚起を行い、今後の未然防止に役立てるように努めることが出来た。

#### 8) 栄養会議

体重測定の結果や食事摂取状況について情報の共有を行い、個々の食行動の問題や低栄養のリスクがある利用者様のケアの方法についての話し合いを実施し、対応の検討を行った。

#### 9) ケース会議

利用者様から聞き取りを行い、その方のニーズや生活上・介護上の問題点、身心の状態を把握し、その情報をもとにケアプランを作成した。ケアプランに沿ったサービスを提供し、利用者様がより快適に生活できるよう努めた。

#### 10) リーダー会議

月に一度、各ユニットより問題点や相談などを提議し、話し合いを行った。ユニットの現状や人員配置にも目を向け、各ユニット連携してご利用者様へより良いサービスを提供出来るよう努めた。また、リーダー同士意見交換を行い、ユニットリーダーの質の向上にも努めた。

#### 11) 行事委員会

文化祭や観桜会といった施設の主要な行事において、ご利用者様とご家族様がともに楽しい時間を過ごせるよう配慮しながら実施し、安心して参加いただける環境づくりに努めた。

また、ボランティアや地域の方々との交流として、お菓子づくり等の活動も取り入れ、地域とのつながりを深めることができた。職員による催し物は、事前の練習を重ねることで完成度を高めるとともに、ユニットを越えた職員間の交流促進にもつながった。日頃ケアにあたる職員の普段とは異なる一面を披露することで、ご利用者様に大きな喜びや笑顔をもたらすことができ、生活の活性化にも寄与できた。今後も、感染対策に配慮しながら、より充実した行事運営に努めていく。

#### 12) 内部研修委員会

職員が講師となり内部研修を開催し、様々な視点から学び、実務に沿った研修を実施することで職員のスキルアップにつなげることができた。

#### 13) 褥瘡予防委員会

会議にてリスクアセスメント表を用い情報共有を行った。また、必要時カンファレンスを行い、対象の除圧方法やポジショニングを話し合った。結果、持ち込みの褥瘡は1名いるが、今年度は施設内での褥瘡発生は0件であった。しかし、不適切なポジショニングなども散見されたため、現場との勉強会などを企画し適切な体位変換が行えるよう調整していきたい。

#### 14) 虐待防止委員会

施設全体で「虐待の芽」アンケートを実施し、虐待に関する知識向上と認識共有、結果を評価し施設全体で情報を共有し、虐待防止に取り組んだ。

また、苦情拘束委員会、接遇委員会、内部研修委員会と連携を図り、虐待防止に努めた。

#### 15) 苦情・拘束委員会

毎月、意見箱の意見、ご利用者様やご家族様等から直接受けた苦情に関して話し合い、今後の対応について検討した。委員会で話し合った内容については、職員に周知徹底した。身体拘束に関しては、拘束することなくご利用者様が安全に生活することができるよう話し合い、身体拘束ゼロを目指した。また、委員会の中でも研修・プリント配布をして、身体拘束について勉強する機会を増やした。その研修を通して何気ない行動も、もしかしたら身体拘束になってしまうのではないかと考えながらケアをすることで、より良いケアに繋ぐことができたと思う。身体拘束のグレーゾーンなど、今後も研修を継続して、より知識を深めていきたい。

#### 16) 防災管理委員会

BCP（事業継続計画）の内容を見直し、災害時に予測される事態を各部署で列挙・検討した。BCPは適時見直すとともに、防災・防火体制の強化を図り、入居者の安心・安全を最優先とした施設運営に推進していく。また、今後も訓練を行い、非常時にも冷静に対応できる体制を整える。

#### 17) ボランティア委員会

感染症等の状況を踏まえながら、ボランティアの新規受入れや行事、レクリエーションが行えるように調整をおこなった。ボランティアの方々と交流を図ることで利用者様に少しでも楽しんでいただける時間を作ることができた。また、ボランティア交流会にてボランティアの方々へ日頃の感謝をお伝えしたと共に職員やボランティアの方々との意見交換を行う事が出来た。

#### 18) 厨房会議

厨房内の衛生管理、業務内容の見直し、行事食の検討、利用者様の希望に沿った献立、調理技術の向上及びチームワーク等について協議し、改善に努めた。

#### 19) 利用者懇談会

利用者様から施設に対する要望や希望などの聞き取りを行った。様々な意見や要望を聞くことができ、待遇の向上に繋げることができた。

#### 20) 給食懇談会

月に1回実施し、献立の感想や食事の食べやすさ、食べ物の固さ、食べたい物など要望をお聞きし、献立や調理に反映させた。

#### 21) 接遇委員会

今年度は業務検討委員会の中で接遇に関して話し合った。目標として、挨拶、丁寧な言葉遣いをする事を掲げ、職員同士で注意し合える環境づくりに取り組んだ。言葉遣いに関しては課題が残るが、改善方向に向かっており、職員の接遇に関する意識は向上した。

#### 22) 排泄委員会

リブドゥから研修を受け、適正なオムツ・パッドを選定しました。研修を通して、職員の排泄介助に対する意識の向上を図ることが出来ました。また、1人ひとりに合った適正なオムツ・パッドの選定を行う事でご利用者様の排泄に対する不快感の除去等を図ることが出来ました。他ユニットとの情報交換を行い、排泄の質の向上に努めました。

## 4. 処 遇 報 告

### 1) 2F 事業報告・活動報告

#### (1) あやめユニット

ご利用者様のご要望に耳を傾け、希望に沿ったケアを提供できるよう努めた。

外出レクやお誕生日会・季節の飾り作り等、その季節に合った行事を行い、利用者に楽しんで日常を送って頂くことが出来た。

職員間で情報共有し、一人ひとりに合った適切なケアをおこなった。また、ユニット内を清潔に保持することで、感染予防に努めた。

ご家族様の面会時には、積極的に日々のご様子をお伝えし、ご家族様との信頼関係を深めることが出来た。

#### (2) さゆりユニット

家庭に近い環境をつくり、在宅の生活ペースを把握し、個々に合った生活支援を実施した。

個々の既往歴や生活歴を把握し日々の様子観察をこまめに行い、体調変化等を早期発見出来るよう努めた。また、利用者台帳、サービス計画書、ケアプランを適宜確認し、適切なサービスを提供した。

ユニット内でレクリエーションの充実を図った。毎日リハビリ体操を行い、身体を動かすことに喜びを感じて頂いた。おやつレクを多く行い、普段は食べないものを楽しみながら、作る喜びも感じていただくことができた。

### (3) さくらユニット

利用者様に対して職員間で情報の共有と連携し、関わりを大切にすることで寄り添うケアに努めることが出来た。利用者の方とのコミュニケーションを図り、意向を汲み取り、個別ケアに努めることで安心して生活出来る環境を提供することが出来た。リハビリ体操、レクリエーション、行事と利用者の方に楽しんで頂ける生活の提供と笑顔を引き出す支援が行えた。多職種と連携、情報共有を図り、体調の管理とADLの変化に留意した対応が行えた。

### (4) みもぎユニット

利用者の方が安心かつ安全に生活出来るようにする為に、情報収集を行い職員間での情報共有を図り、1人ひとりに寄り添い個別ケアに努めることが出来た。日々の体調の把握、身体レベルの変化に注意を払い、多職種と連携を図り対応することが出来た。季節に応じた行事とレクリエーションを行い利用者の方の生活の活性化に努め、利用者様が楽しめる生活の場を提供行えた。

## 2) 3F 事業報告・活動報告

### (1) すみれユニット

利用者様の趣味や好きな事の情報収集を行い余暇の時間で行っていただいた。行事やレクリエーションに参加し季節を感じたり、音楽を楽しんだり、嗜好品を召し上がって満足いただけた。

内部研修への参加し技術向上を図ると共に、送りノートや朝の送り時での申し送り等で利用者様のケア内容を職員間で共有し統一したケアを行う事に努めた。

### (2) つばきユニット

秋には利用者様への外出に関するアンケートを行い、紅葉を見に出掛けたいという声が多数聞かれた。昭和記念公園へのドライブレクを行い、様々な木々の紅葉や景色を見てもらう事ができ、大変喜んでいただけた。

利用者様に小まめに声かけを行い、傾聴や様子観察に努めた。その結果、体調不良等の早期発見、早期対応ができた。利用者様の小さな心情の変化にも気付くことができ、より信頼関係を深めることができた。

居室担当を中心に住環境の整備を行い、整理整頓と清掃を行った。離床介助時には毎回、ベッドメイキングを行った。その結果、日々の生活を清々しく送ることができた。

### (3) つつじユニット

利用者様やご家族様の希望に沿った、個別ケアの実施を行った。

尿量に応じて排泄交換の時間帯やトイレに行きたいという利用者様、トイレに連れて行って欲しいといった、ご家族様の希望に沿った対応をフロア職員と話し合いを行い個別ケアに努めた。

利用者様が快適に過ごして頂けるよう、居室の整理整頓や床清掃などに努めた。

今後は居室担当が積極的に整理整頓や環境整備に力を入れるよう指導していく必要がある。

利用者様の状態把握のため、その日あった変化などを申し送りノートに記載し、朝の申し送り時にノートに記載している1週間分の内容を復唱する事で、職員間での情報共有と周知徹底に努めた。また他部署への報告・連絡・相談を行い、ADLの変化に早期対応を行った。

昼食前のリハビリ体操や余暇時間を使った散歩やレクリエーションを行い、利用者様が楽しんで生活して頂けるような支援を行った。

また毎月の行事担当を決めて、行事の計画・実施を行い、利用者様の笑顔も多く見られていた。

### (4) あじさいユニット

ターミナルケアの利用者様の身体や精神の苦痛を緩和するために、医務をはじめとした他部署と連携し、安楽に過ごせるよう努めた。

個々の利用者様の生活リズムの把握に努め、訴えや希望を傾聴し利用者様のニーズに沿ったケアをおこなった。また、他部署と「報連相」を密に行った結果、ケアの質の向上だけでなく、スタッフの負担軽減にも繋がった。

利用者様のケアについて、職員同士で話し合う場を設け、活発に意見交換を行った。

その方に合った食事形態、食事用介助物品、排泄用品、排泄方法などを状態に合わせて調整し、利用者様に快適に生活して頂けるように支援した。

季節に応じたレクリエーションや塗り絵や体操、カラオケなどを行い、利用者様が生き生きと毎日を過ごせていた。

### 3) 4F 事業報告・活動報告

#### (1) ひまわりユニット

職員間のコミュニケーションを多く図りチーム作りを心掛ける事で、利用者様に安心して心地よい生活環境の提供に努めました。利用者様の筋力維持や楽しんで過ごして頂けるよう毎日のリハビリ体操や、レクリエーションの提案し笑顔で元気に過ごして頂けるような支援を心掛け行いました。また、利用者様の心身に変化はないかを観察し、早期発見と情報共有にも努め、他部署と連絡、相談を行いました。

#### (2) コスモスユニット

毎日 Youtube の動画を有効活用し、季節感の有る曲を使いリハビリ体操や口腔体操を日常に取り入れました。時間になると自然に利用者様も集まりだし定着が見られました。

季節を体感して頂けるように、ドライブレク等を実施しました。

朝の申し送りに力を入れました、また職員同士のコミュニケーションをとり質の高いケアを心掛けました。

### 4) 移動理美容

理容が第4月曜日の月1回、美容が第1金曜日の月1回行っている。

利用者様、ご家族様の希望により、理容・美容を選択して利用していただいている。

## 5. 厨房事業報告

### 1. 栄養ケアマネジメント

(1) 施設顧問医師による指導を受け、利用者様の身体状況の管理、療養食の提供を行った。

(2) 喫食量の把握、嗜好調査の実施、ケアプランの作成、評価などを行い、利用者様一人一人に合った栄養ケアを提供した。

### 2. 食事

(1) 旬な食材を多く使用して季節感のある食事提供を試みた。

(2) ソフト食提供し、嚥下調整食が必要な方でも目で見て楽しめるような食事を提供した。

(3) 毎週日曜日は雑炊を提供した。

(4) 毎週金曜日はパン、または麺を提供した。

(5) 七草粥や鏡開き、小正月、春の彼岸、夏至、土用の丑の日、重陽の節句、十五夜、秋の彼岸、冬至、年越しそばなど、暦に合わせた食事を提供した。

(6) 季節感のある行事食やイベント食といった特別な食事を月に1回以上提供した。

(7) 行事食は盛付けの工夫やカードの装飾などを行い、見た目も楽しんでいただけるようにした。

(8) おやつに関わるレクを月4回以上実施した。

(9) 各地方の郷土料理を取り入れ、月に1回以上提供した。

(10) 調理員が主催するイベントを年2回以上実施した。

(11) 厨房会議を月に1回以上行い、意見を出し合って意識の統一を図った。

### 3. 衛生

(1) HACCP に沿った衛生管理と大量調理衛生管理マニュアルに基づいた食事提供を行った。

(2) 食品衛生や感染症に関する勉強会を月1回以上行い、厨房職員の知識と意識の向上を図った。

### 4. 非常食

(1) BCP に基づき、4日分の非常食と水、使い捨て食器の備蓄をした。

(2) 非常食や水、使い捨て容器の備蓄を定期的に確認し、円滑な提供が出来るように整備した。

## 6. 医務室利用者健康管理報告

### 総括

ご利用者様の生活に寄り添い、ご利用者様とご家族様の望む生活が送れるよう日々援助していく。そして、ご利用者様の言葉に耳を傾け、日々の変化の中でご利用者様が何を望んでいるのかを考え、ご利用者様、ご家族様の気持ちが反映できるような看護を行っていく。

状態異常時は健康を害する原因を考え、医師との連携をスムーズに行い早期に医療を開始できるよう努めていく。また、ご本人様、ご家族様の思いを抽出し、生活の自立性や満足度が損なわれない医療が提供できるように努めていく。

異常発見時は、医師へ上申し早期に医療介入を行った。そして、ご家族様に状態の報告を行い相談員とともにご家族様の希望が添えるようケアを行った。また、ターミナルなどで生活の質を上げていくために、ご家族様の思いを抽出し、他部署と連携してその想いをケアに反映させていった。医療の介入は生活を阻害する側面も持っている為、ご利用者様が何を望むのか考え、その人らしい生活の中で最期が看取れるような看護を実践していくことを今後の目標とする。

1. 生活を第一に考え、寄り添いながら健康状態を把握していく。

日々の関り合いを増やすことで利用者様の生活を学び、個別性を考えたその人らしい生活を送れる看護を提供できるように努めていく。

現在、フロアナースも新人にて一般業務を習得中。利用者様とのコミュニケーション不足のためか、個別性のある情報やケアは希薄になっている。今後の業務習得に応じて利用者様との関りを増やし、個々の変化に気づけるよう指導していく。

2. ご利用者様の生活をサポートするため、ご家族様との関りを大切にしていく。

ご利用者様の状態変化時は相談員とともにご家族様へ連絡を行い、ご家族様の思いや希望をケアに反映させていく。

現在も相談員へ連絡を任せてしまっている部分が多く反省点が残る。他職種連携にて情報を共有するためにも状態の連絡は一緒に出来るよう新人にも教育指導していく。

3. 多職種連携を図るため報告、連絡、相談を密に行っていく。

各部署への情報伝達能力を高め、情報共有の向上を図り、包括的に利用者様をケアできるように努めていく。

軽度な処置の開始など連絡が抜けることがみられている。小さなことでも相談員、フロアに報告を徹底し情報共有に努め包括的にケアが行えるよう調整をしていく。

4. 状態の変化や異常を早期発見し安定した生活をサポートしていく。

異変の報告に対して速やかに状態観察を行い、早期のケアに反映できるよう努めていく。また、状態異常時は提携病院の医師へスムーズに繋げ、早期に状態異常へのアプローチができるように努めていく。

状態変化の前兆に気づき早期のケアに繋げることが出来る場面が増えてきている。引き続き、各部署の情報をアセスメントし早期のケアが行えるようアプローチしていく。

5. 専門職として日々新しい知識を学び、看護の質の向上を図る。

日々変わる医療の知識や方法論に興味を抱き、各々の能力向上を図る。また、個人が得た情報を医務内でも共有し、医療の質の向上に努めていく。

今年度はフロアナースの配置と一般業務習得の優先度が高かったが、次年度は研修のリストを提示し興味があるものへ参加できるよう業務調整し、質の向上へ繋げていく。

通院・入院履歴

	通院	入院	退院
4月	16名	1名	0名
5月	27名	3名	1名
6月	18名	0名	3名
7月	15名	1名	1名
8月	17名	2名	0名
9月	8名	5名	1名
10月	14名	1名	1名
11月	16名	3名	0名
12月	22名	2名	4名
1月	18名	3名	2名
2月	23名	3名	3名
3月	26名	2名	1名
	年間通院者数 220名	年間入院者数 26名	年間退院者数 17名

3月31日現在の医療ケア介入必要者

胃瘻からの経管栄養実施者	2名
点滴施行者	0名
血糖測定者	0名
在宅酸素使用者数	1名
常時、口腔・鼻腔内からの喀痰吸引が必要となる利用者	0名
褥瘡処置施行者	1名
褥瘡以外の皮膚処置施行者	8名
ターミナルケア対応者	14名
合計	26名

2025年度死亡退所者

入院先での死亡者	2名
施設内での死亡者	4名
施設内ターミナルケア対応 死亡者	18名
合計	24名

## 7. リハビリテーション報告

### (1) 総括

令和7年度のリハビリにおいて利用者様の生活場面に密着した機能訓練と、多職種協働によるケアの質向上を目的としたリハビリの介入を実施した。また、利用者様の「笑顔」を大切にし、コミュニケーションをとりながらより多くの笑顔と発語を引き出していけるように努めた。寝たきりの利用者様には声掛けをこまめに行いながらフロアとのポジショニング共有や拘縮の予防を心掛けた。

年度途中よりリハビリのスケールを導入し、利用者様の総運動量の増加、生活リハビリの質の向上などの介入ができた。また、令和6年度より実施していたリハビリ助手を主体としたレクリエーション活動の質を高め、各フロアで簡易的にレクリエーションを実施出来る環境づくりに努め、利用者様からも高い満足度を得ることができた。

他職種との連携を密にとり利用者様の情報共有に努め、身体状況に合わせた姿勢作りや褥瘡予防のためのポジショニングを行う事が出来た。

施設顧問医師、理学療法士の指導の下、利用者様の身体状況、日常生活におけるニーズなどを考慮し、個別的で実効性のある訓練計画の策定を目指した。

感染症の蔓延予防として利用者様が使用される物品の消毒、リハビリ介入時の手指消毒などの感染対策を考慮しながら機能訓練に努めた。

### (2) 実施事項

- ①機能訓練計画書の作成・生活リハビリの作成
- ②関節可動域訓練
- ③筋力訓練・歩行訓練
- ④安楽な姿勢作りや除圧方法の検討
- ⑤利用者様とのコミュニケーション
- ⑥車椅子や靴の選定
- ⑦エアーマット、センサーの管理
- ⑧LIFE 情報入力・バーセルインデックスの測定・リハビリリスクアセスメントの測定
- ⑨車椅子やベッドの調整
- ⑩レクリエーションによる作品作り

### (3) 結果

リハビリスケールの作成に伴い個別訓練の介入頻度が最適化されADL低下や拘縮の発生リスクが減少し持ち込み1名を除き褥瘡発生0名、各部署の利用者様へのADLの関心が高まり、生活リハビリの質が向上し利用者様の総運動量が増加した。リハビリ助手のレクリエーションに費やせる時間が増え作品作りの完成度が向上し利用者様の満足度も高くなった。また、生活リハでの各種体操、手芸、運動を通じたレクリエーション介入が出来た。一人一人の様々な形で介入でき、コミュニケーションも多くとることが出来た。他部署との連携を密にとり、利用者様が安心、安全に生活を送れるように努めた。定期的に利用者様のADLの値を測定し、状況に合わせた計画書を作成した。

### (4) 課題

日常での運動機会をさらに確保し拘縮、廃用症候群の予防に引き続き努めていく。

今後も利用者様の安楽な姿勢作り、姿勢の保持に努め、誤嚥事故や皮膚トラブルの予防に努め褥瘡の発生を防いでいく。利用者様のADLを維持、増進していき毎日を穏やかに笑顔あふれる生活を送れるよう支援していく。

## 8. 生活相談員・介護支援専門員 事業報告

### ・生活相談員報告

#### 1、利用者様支援、多職種連携の調整役

福協会の基本理念である「人がその人らしく生活できる環境づくり」を常に考えながら、各階に相談員を配置している。日頃から利用者様の状態などを把握するために、介護現場職員をはじめ、医務・リハビリ・栄養等各部署と細目に情報共有をしている。またご家族からも利用者様の情報を集めて、各部署へ発信し、お一人おひとり利用者様の環境を整えていくよう努めた。生活相談員がユニット内を回り、利用者様への声掛けや職員から情報を集め、利用者様のご様子を確認することでご本人のニーズを把握した。その情報を元に多職種でアプローチできるよう調整を行い、解決できるよう支援を行った。また、利用者懇談会を毎月第3週の火曜日に行い、利用者様の生活への良い点や悩みや要望等の意見を聞く機会を設けてきた。話をすることで今まで見えなかったものが見えてきて、ニーズに合わせたケアが出来たと思われる。ターミナルケアに関しては引き続き細かく、多職種で話し合いをしてケアに当たるよう努めた。利用者様はもちろんのこと、ご家族のケアにも重点を置いて取り組んだ。居室にソファや簡易的なベッドを用意して、ご家族の宿泊支援を行うなど、死に対する心の準備に寄り添ったケアが出来たと思う。今年度も生活相談員が調整役となり、情報の伝達・共有を行い、利用者様、そしてご家族へのチームケアができるように心がけていく。また、医療面でのご利用者様の状態に関するご家族様への連絡は看護職員と生活相談員で行っており、職種間でより多くの連携の必要性を感じた。今後も『報告・連絡・相談』を多職種間で徹底し、より良い多職種連携のシステムを作っていきたい。

#### 2、ご家族様、施設間調整

施設と利用者様、ご家族様との橋渡し役と考え動いてきた。利用者様のご様子を都度お伝えし、ご家族との関係調整役として動いたことで、それぞれのご家族より安心して利用者様を任せていただけた。今までと同様、担当相談員より細目にお電話をするなどして情報共有することで、信頼関係を今まで以上に築くことが出来たのではないかと思う。今後もご家族への連絡等をしっかり行き、安心していただけるよう努めていく。医療面のご家族への連絡は担当看護職員と生活相談員の二名で行う体制をとっている。看護職員から専門的な目線で話をすることでご家族も安心されている様子である。今後も細かく連携していきたい。

#### 3、利用者様の入所前、入所時の支援について

入所を希望する方が相談にいらした時に、その方にとって当施設が提供するサービスを本当に必要としている方なのかどうか、まずその人のニーズは何かを見極めて情報提供を行った。また、入所時には事前にご本人、ご家族より聞き取りを行い、これまでの生活歴、趣味、嗜好等々ご本人の情報を収集して各部署へ共有し、ケアに反映させた。

利用者様が施設へ入所する前の事前面接は、近隣の場合であれば制限があっても行うことができたため、今後も可能な限り、相談員と多職種にて事前面接を実施し、入所前の情報共有を進めていく。

#### 4、介護職員へのスーパーバイズについて

各ユニットリーダーの現場指導とは別に、各フロアの相談員が職員のスーパーバイザーとなり、利用者様に対するケアや対人への対応等の確認を行い、指導、評価を行った。職員の職場環境の変化や日頃の様子等にも目を向けて、ストレスやメンタルの面での職員の相談役を担った。

#### 5、営業について

営業活動の重要性を強く感じた。営業強化週間を1か月の間に設けて、電話での営業活動を行うように心がけた。担当地域を振り分けて担当地域の居宅介護支援事業所や老健、病院等に電話をした。営業を行うことで問い合わせや見学が増えてきている。また研修で知り合ったケアマネさんと親しくなり、問い合わせも少しずつ増えている。先日相談を受けたケースでは、料金の折り合いがつかず、第1と第2へ紹介をし、今調整を行っているとの事だった。資料請求の方に対しては、分かりやすいように料金表に一言付け加え、施設見学などは予約制ではあったが随時承り、

施設の温かさをアピールすることに努めた。その結果、「温かい言葉に嬉しくなりました。」「他の施設ではここまでしてくれなかった。」等の声をご家族よりいただき、好評な様子だった。今後もひと手間を惜しまずに、ご家族に寄り添った相談を行って、施設をアピールしていきたい。

#### \*介護支援専門員事業報告について

##### ① 入所前の情報収集について

入所前に、生活環境を聞き取り把握することで、リロケーションダメージを最小限に抑え、施設での生活に移行できるように、支援を続けた。24時間シート作成も継続して行い、注意点などを指摘し、他職種に発信して情報を共有出来るように努め、新規ご利用者様の支援をしていった。

把握しきれない事もあるため、入所後も継続して情報収集を行い、その人にあった支援を出来るように努めた。

##### ② ケアプラン作成について

聞き取りを行った情報を元に、施設サービス計画書を暫定に作成し、ご家族様・ご本人様に説明・同意をしていただいた。1か月後に初回カンファレンスを開催し、その人らしい生活が送ることができるよう新規プランを作成した。また、ADL等に著しい変化がみられた時には、カンファレンスを開催し、状態に応じたプランを作成し支援できるように努めた。目標に関してはより具体的な言葉で、その利用者様のことを考えながら作成するよう努めた。

新規入所に関しては、ADLに変化がなかった場合には3か月、更新に関しては6か月と設定。ADLに変化があった場合には期間は3か月とするも、その都度様子を観察し作成した。

ターミナルケア開始のプランに関してはカンファレンスを行い初回のプランを作成し、その後は状態の把握に努め3か月に1度の見直しを行い、計画書を作成した。

##### ③ モニタリングについて

1か月ごとに月末評価としてモニタリングを行いご利用者様の状態を把握した。介護職員は『ケアカルテ』の中にある支援経過に記入をしている。また介護支援専門員は『ケアカルテ』のモニタリング用紙に3か月後・6か月後の2回行い、項目に合わせて観察事項を記入して、継続するか変更するかの資料とした。

またターミナルケアの方については、3か月ごとのモニタリングを行い、より細かに観察を行っていった。

##### ④ ケース会議について

毎月第2火曜日・第3火曜日・第4火曜日にケース会議を行った。職種間調整が難しい場合には、介護支援専門員による聞き取りを行ったが、基本的には調整をしてケース会議を開催。職種間の情報共有にて、利用者様の状況を把握しプラン作成に繋げた。ご本人の意向は担当介護支援専門員が、またご家族様のご意向は、担当相談員が事前に聞き取りを行い、ケース会議で発信することで、ご本人・ご家族も含めたケアプランを作ることができた。またケース会議のコーディネーター・進行役として、各職種の専門性を尊重し、まとめるよう努めた。今後も多職種で情報を共有して、ケアに繋げていきたい。

##### ⑤ 介護職員へのスーパービジョンの展開

施設サービス計画書についての内部研修や、モニタリング時に介護職員に対し、施設サービス計画書の必要性についてスーパービジョンを展開した。記録の書き方や観察の注意点などを都度介護職員に伝え、利用者のニーズに沿えるように注意を払った。今後も引き続きスーパービジョンの展開を図り、意識を向上していくよう努めていきたい。

##### ⑥ アセスメントについて

居室担当者が作成した介護のアセスメント表を、介護支援専門員が確認、添削をすることで、ご利用者様を見つめ直す機会が増えたように感じる。今後も確認、添削を行うことで、アセスメント力の向上を図り、より良くご利用者様を知るようにしていきたい。

## 9. クラブ活動実績報告

① クラブ活動について

華道クラブのみ講師をお呼びしてユニットごとで活動を行った。

② クラブ活動名と講師名

クラブ名	講師名
華道	根守 和子先生
茶道	大野先生・森田先生
書道	石井 亮子先生
音楽	澤田 康次先生

華道クラブ活動報告						
活動回数	3回	参加延人数	57名	平均参加人数	19名	担当：井上
<p><b>【活動報告】</b></p> <p>1. 講師をお呼びし、施設職員が補助に入り、活動を行った。</p> <p>2. 四季折々の花を自由に生け、素晴らしい作品を作ることができた。</p>						
【月別活動報告】						
月	内容		月	内容		
4月	活動なし		10月	施設文化祭出展の作品		
5月	"		11月	日の出町文化祭出展の作品		
6月	"		12月	お正月用の作品		
7月	"		1月	活動なし		
8月	"		2月	"		
9月	"		3月	"		
職員担当フロア：各フロア職員						

## 10. 年間行事実施報告

### 第3 サンシャインビル 2025年度「年間行事計画実施表」

日 時	曜日	行 事 名	内 容
4月19日	土	観桜会	おやつにて食事提供を行い、武州唐獅子太鼓、職員によるソーラン節を実施。
5月		運動会	ユニット単位で運動会を企画・実施。
7月12日	土	納涼祭	職員による花笠音頭踊りや慰問の方々をお招きし「ソーラン節」を披露し夏祭り形式で実施。
8月		夕涼み会	おやつにてアイスを提供。ユニット単位で催し物を企画し、職員によるフラダンス踊りを実施。
9月13日	土	敬老会	各階ごとに敬老会を実施。職員による二胡の演奏と慰問の方々をお招きし、大正琴とのコラボ演奏を実施。
9月28日	日	八幡神社例大祭	山車、お神輿に来て頂き、利用者様も楽しんで鑑賞される。
11月1日	土	文化祭	三遊亭遊子様、弦楽四重奏の慰問の方々をお招きして披露していただいた。
11月中		日の出文化祭	現地に少人数ずつお連れして、作品を鑑賞される。
11月～12月		ドライブレク	各ユニットにて企画し、少し遠い場所へのドライブレクを実施。
12月		クリスマス会	ユニット単位でクリスマス会を実施。職員が催し物を行う。
12月27日	土	餅つき	ユニット単位で餅つきを実施。出来た餅で鏡餅を作成し飾り付けた。
1月2日	金	元旦式典	各階ごとに式典を実施。お囃子の方にも来て頂き、新年をお祝いした。
1月1.2.3日		初詣	日の出町にある八幡神社へユニットごとに時間を分けて実施。
2月3日	火	節分	ユニット単位で節分を行う。職員が鬼に変装し、豆まきを行った。
3月		ひな祭り	ユニット単位でひな祭りを行う。ユニットごとでレクを企画して実施。

## 11. 固定資産物品購入・入替報告

○介護職員室エアコン入替工事  
○介護ベッド入替  
○屋上防水工事

○ご利用者様居室エアコン入替工事  
○エアマット購入

○宿直室エアコン入替工事  
○パソコン入替

## 12. 事故報告・ヒヤリ・ハット報告

### 自治体への報告

	転倒	転落	その他	計
4月	0	0	0	0
5月	0	0	0	0
6月	1	0	0	1
7月	1	0	1	2
8月	0	0	0	0
9月	0	0	1	1
10月	0	0	0	0
11月	0	0	0	0
12月	0	1	0	1
1月	2	0	0	2
2月	3	0	0	3
3月	0	0	1	1
合計	7	1	3	11

### アクシデント報告

	転倒・転落	誤飲・誤食	誤薬・未薬	その他	計
4月	0	0	0	4	4
5月	2	0	0	5	7
6月	4	1	0	0	5
7月	3	1	0	2	6
8月	4	0	0	1	5
9月	3	2	0	0	5
10月	1	0	0	5	6
11月	2	0	0	5	7
12月	4	0	0	4	8
1月	2	1	0	6	9
2月	4	0	0	0	4
3月	4	0	1	0	5
合計	33	5	1	32	71

### ヒヤリハット報告

4月	35
5月	30
6月	27
7月	28
8月	24
9月	23
10月	31
11月	27
12月	29
1月	26
2月	29
3月	33
合計	342

### 13. 職員研修報告

#### 【外部研修】

研修日	研修内容
5月22日	「第2回栄養管理講習会」 電子申請システムの統一化に伴うアカウント登録及びオンライン申請の方法について
5月23日	「労働安全衛生規則の改正に伴う大塚製薬工場における熱中症対応の体制整備」 熱中症対策の義務化
7月26日	「第23回北関東摂食嚥下リハビリテーション研究会」 災害時における摂食嚥下障害者支援を考える
8月2日	「GLIM基準による低栄養診断と適切な栄養ケアのアプローチとは？」 栄養障害を引き起こす疾病を持つ人に対する栄養ケア
12月22日	厨房やベッドサイドでできる嚥下調整食の物性評価方法 嚥下食の定義と目的
1月24日	摂食嚥下機能支援シンポジウム

#### 【内部研修】

開催月	研修内容
開催月	内部研修内容
随時	新人教育研修
随時	感染対応のシミュレーション
4月	褥瘡予防について
5月	身体拘束について
5月	口腔ケアについて
6月	看取り介護について
6月	事故防止・緊急時の対応について
6月	BCP（災害） 防災計画とBCPの違い グループワーク
7月	入浴について
7月	BCP（感染）嘔吐物処理
8月	ケアプランについて
9月	身体拘束・人権擁護について
10月	感染症について
10月	認知症について
10月	BCP（感染） 厨房でノロウイルスが発生した際の対応
11月	食事について
12月	
12月	虐待について
1月	事故防止・身体拘束について
1月	排泄介助について
2月	プライバシーについて
2月	看取り介護について
3月	メンタルヘルスについて
3月	接遇マナーについて
3月	BCP（災害）ハザードマップ、通勤路確認

※毎月 福陽会理念に対する研修を行う

## 14. ボランティア・慰問 受け入れ状況報告

2025年度は感染症対策の緩和を図りながら、施設内での行事やレクリエーションの調整をおこなった。今後も利用者様に楽しんで頂けるよう、状況に合わせて調整をおこなっていききたい。

- ・2025年度ボランティア活動者、慰問、受け入れ数
  - 傾聴ボランティア …4名（月6回）
  - 音楽ボランティア …3名（第三水曜日）
  - ピアノボランティア …2名（第三月曜日）
  - オカリナボランティア…2名（第四月曜日）
  - サクソボランティア…2名（第四日曜日）
  - 夏体験ボランティア …2グループ（オカリナ、空手披露）
  - ボランティア交流会 …16名
  - 手品披露 …1名

## 15. 消防訓練実施結果

2025年度は初期消火時の対応、非常食の場所の確認と災害等を想定して非常食を作る訓練を実施した。訓練を通してBCPの内容を見直し、災害時に起こり得る事態を話し合う等、職員の実践的な対応力の向上に努めた。また、6年ぶりに自衛消防審査会に出場し、準優勝を獲得した。消防審査会を通し、職員の災害に対する意識の向上を図れた。

## 16. ショートステイ事業報告

### ★短期入所生活介護・短期入所介護予防生活介護

ショートステイの受け入れに関しては今までと同様、土日・祝日問わずに受け入れ態勢を整え、夕食後の送迎、事前にご自宅へ訪問して面接・契約などを行い、ご家族の負担軽減を図るよう努めた。ご家族やケアマネからは、使い勝手が良いと好評だったが、目標としていた80%に到達できなかった。前年度よりは稼働も上がっているが、今一步、足りなかった。特養の利用者様の入院やご逝去が相次ぎ、特養入所を見据えたショートステイの利用者様が特養に移行してしまったケースが多くあったことも原因の一つであった。一昨年実施した、ケアマネした『ショートステイ見学会』が好評だったため、今年度も実施した。認知症カフェはまだ実施には至らず。第4自治会の方に対しての『施設見学相談会』は、民生委員の方と相談をしながら開催をしたが、皆さん興味津々で、好評だった。今後も『ショートステイ見学会』だけではなく、『認知症カフェ』等の計画をして、実施できるように多職種の協力を仰いでいきたい。今後もより『選ばれる施設』を目指していきたい。

単発のショートステイの利用者様だけにとどまらず、特養入所を見据えた利用者様確保をして、稼働を大幅に戻していきたい。今後も施設の『使いやすさ＝売り』をアピールできるよう居宅介護支援事業所等への営業活動を増やし、ケアマネジャーとのつながり・連携を強めていきたい。

### 令和7年度稼働率

4月	5月	6月	7月	8月	9月
70%	71%	72.6%	59.3%	87%	68.6%

10月	11月	12月	1月	2月	3月
84.5%	73%	72.2%	79.3%	84.28%	68.3%

2025 年度

指定訪問介護事業  
指定介護予防訪問介護事業  
指定居宅介護(障害者自立支援法)  
指定重度訪問介護(障害者自立支援法)  
事業報告書

社会福祉法人福陽会  
ヘルパーステーション サンシャインビラ

ヘルパーステーションサンシャインビラでは「人がその人らしく生活できる環境づくり」をモットーに利用者が健康で生活感あふれる日常を過ごせるよう援助することを基本目標とし、事業活動を行ないました。

サービス提供時間数は本年度延べ 20,809 時間（前年度 20,336 時間）、派遣回数延べ 33,088 回（前年度 29,805 回）、月平均にすると 1734.1 時間（前年度 1697.2 時間）、2757.3 回（前年度 2483.7 回）の訪問介護サービスを提供しました。利用者数は延べ 1165 人（サービス終了分を含む。3 月 31 日現在実利用者数 97 名）となっています。

障害者自立支援法に基づく指定居宅介護は延べ 655.5 時間、派遣回数延べ 955 回、月平均にすると 54.6 時間、79.6 回のサービス提供でありました。重度訪問介護のサービス提供は本年度はありませんでした。

なお、市区町村の支援事業として実施している移動支援事業のサービス提供時間数は本年度延べ 0 時間、派遣回数は延べ 0 回、月平均では 0 時間、訪問回数は 0 回、利用者数は現在 0 名です。

重点を置いた活動内容として、利用者や家族に対するコミュニケーションの重要性とサービスに対する満足度の調査、ヘルパーの援助方法の向上を目的とし、利用者宅への頻繁な訪問を心掛けました。

利用者の「自立支援」をいかに提供し、また、利用者に満足していただけるサービスをいかに提供するかを、ヘルパー個人への指導、教育、そして基本理念の十分な理解と心のこもった暖かい対応を通してすすめていきました。

同時に経験の少ないヘルパーや、資格を得て間もないヘルパーに対し、技術面での具体的な研修や、精神的な援助の方法、コミュニケーションの回り方の相談を行うことで、フォローやバックアップの体制を築いていき、利用者への満足度の増加と危険性の減少、そしてヘルパーの不安解消、実力向上に努めました。

講師を招いての研修会の機会を増やし、専門家からの指導を受けることにより、正確な知識を取り入れ対応につなげることで、ヘルパーの意識・技術の向上を目指しました。また随時個別指導を行ない連絡事項や対応の周知に努めました。

来年度以降も新規利用者の獲得とサービス提供時間数を増やすことを目標とし、登録ヘルパー全体での研修やチームミーティング等も積極的に取り入れ、ヘルパー個人の対応能力を幅広く持てるようにし、より良いサービスの提供に尽力していきます。

また、関係各所や地域とのつながりを大切にし、皆様に選択していただける事業所となるために誠実に業務に携わっていきます。

また、書類整備・保管に係る業務負担の軽減のため、次年度には記録システムの導入を実現し、業務の効率化、情報共有の円滑化、サービスの質の向上を目指していきます。

#### (1) 中期経営計画(2023 年度～2027 年度)の達成について

- I 利用者様が明るく豊かに生活でき、利用者様のご家族様がヘルパーの利用に対して信頼や安心を感じてもらえるような、個々のニーズにあったサービス提供並びにプライバシーに配慮したサービス提供の充実をはかってきた。
- II 利用者に満足してもらえるサービスの提供において、ヘルパー個々の技術や知識に差があるため、質の高いサービスの平準化を目指している。介護福祉士資格の保有率増加により、加算の取得が可能になっている。  
またサービス向上への取り組み、職員教育にも力を注いだ。正職員の増加によりサービス供給の安定がはかれた。
- III 安定した介護報酬収入を目指し、新規利用者獲得へ向け努力した。

## 研修実施報告書

今年度実施した研修について以下のとおり報告する。

開催日	研修内容	参加者 (人数)
4月22・24日	訪問先への責任者同行実施研修 高齢者虐待・接遇・ストレスケアについて	38
5月22・27日	薬について 服薬管理講座（中や薬局薬剤師による講義）	38
6月24・26日	感染症と食中毒の予防について 感染症 BCP 研修・訓練（ガウンテクニック、嘔吐物処理方法）	38
7月22・24日	熱中症対策について 看取りについて	38
8月26・28日	認知症について（ユマニチュードの考え方）	38
9月25・30日	医療との連携について（薬剤師による講義「高齢者に多い病気の理解」） BCP 訓練（炊き出し訓練）災害発生時の対応（避難訓練）	38
10月23・30日	プライバシー保護の取り組み 高齢者虐待(身体拘束適正化)について	36
11月25・27日	状況観察と緊急時の対応 感染症研修(手袋とマスクの安全な外し方、手洗い)	36
12月23・25日	事故発生及び再発防止について ヒヤリハット事例検討	36
1月8・27日	介護職員のコミュニケーションスキル ハラスメントについて 事例検討	34
2月26・27日	口腔ケア・排泄介助・転倒時の介助について BCP 訓練（緊急時の連絡体制の確認） 事例検討	34
3月26・27日	職員倫理 法令遵守 令和7年度の振り返り 自己反省・自己評価	33

## 職員配置

(2026年3月31日現在)

職種	人数	常勤 非常勤	専任・兼務状況
管理者	1	常勤	サービス提供責任者・訪問介護員を兼務
サービス提供責任者	5	常勤	管理者・訪問介護員を兼務
		常勤	訪問介護員を兼務
		常勤	訪問介護員を兼務
		常勤	訪問介護員を兼務
		常勤	訪問介護員を兼務
訪問介護員	33	(常勤兼務5名) 常勤11名 非常勤21名	

令和7年度

事業報告書

社会福祉法人福陽会  
サンシャインビラ介護学院  
〈介護職員初任者研修事業〉

## 事業報告書目次

事業報告（総括）	1
地域別受講人数一覧表	2
教育課程の実施報告	3～4

## 事業報告

今年度の「介護職員初任者研修講座」は、受講生の申し込みの動向を確認しながら、3回実施した。

受講理由は家族の介護に役立てるため、今後の高齢化社会に貢献するため等様々であったが、研修の終盤には資格取得後すぐに介護の現場で仕事をしてみたい、と希望する受講生が多数みられた。

また、高齢者の事故や介護に関する報道を見聞きして、超高齢化社会における様々な問題に深い関心を持つ受講生が多かった。

修了評価試験の導入により座学の講義中も緊張感が漂い、各自が工夫してメモやノートを作成するなど、グループワークの際も積極的に発言する様子がうかがえ、活気に満ちた研修内容であった。

また、法人内施設実習を通して、受講生には講義と演習だけで伝えきれない介護現場実際の様子を見ていただき、より有意義な内容となった。

講師を務めた当法人の職員は、研修カリキュラムを基に如何にして受講生に解り易い講義・演習を実施できるかを課題とし、各自の創意工夫により受講生からの評価も高く充実した研修であった。

当法人の教育方針である「介護職員初任者研修事業を通じて、高齢者介護に対する知識、技術の向上を図り地域社会に貢献する」という目標は概ね達成された。

今年度 地域・年齢別受講人数一覧表

	第 1 回 R7/4/4~6/27	第 2 回 8/1~10/24	第 3 回 12/2~2/27	合 計
福生市	1	2 (1)	0	3
羽村市	0	(1)	1	2
青梅市	0	2 (1)	2	4
あきる野市	0	3	1	4
昭島市	2 (1)	(1)	0	3
立川	0	0	(1)	1
瑞穂町	0	0	2	2
武蔵村山市	0	0	0	0
東大和市	0	0	0	0
八王子市	0	1	0	1
日野市	0	1	0	1
日の出	0	1	0	1
奥多摩	0	0	0	0
国立	0	0	0	0
新宿	0	1	0	1
埼玉県	0	1	0	1
合計	3	14	7	24

※ ( ) 内は男性

## 教育課程の実施報告

### 【募集手続き】

募集手続きは次の通りとした。

- (1) 当法人指定の申込用紙に必要事項を記入の上、期日までに申し込む。  
ただし、定員に達した時点で申込み受付は終了する。
- (2) 当法人は書類審査の上、受講者の決定を行い受講決定通知書を受講者宛てに通知する。
- (3) 受講決定通知書を受け取った受講者は、指定の期日までに受講料等を納入する。
- (4) 当法人は、受講料等の納入を確認した後、教材を郵送する。
- (5) 当法人は、受講申し込み時または開講日初日、公的証明書にて本人確認を実施する。

### 【科目の免除】

科目の免除についてはこれを認めない。

### 【修了の認定】

修了の認定は、すべてのカリキュラムを履修し、次の修了評価を行った上、修了認定会議において基準に達したと認められた者に対して行う。

- (1) 修了評価は、担当講師が科目ごとに行い、その評価をまとめて項目全体の評価を行う。
- (2) 修了評価は、筆記試験により行う。ただし、介護に必要な基礎的知識の理解度及び生活支援技術の習得状況の評価については、併せて実技試験も行う。
- (3) 認定基準は、次の通り、理解度の高い順にA、B、C、Dの4区分で評価した上で、C以上の評価の受講者を、評価基準を満たしたものとして認定する。  
評価基準に達しない場合には、必要に応じて補講等を行い、基準に達するまで再評価を行う。

認定基準（100点を満点とする）

A=90点以上、B=80～89点、C=70～79点、D=70点未満

### 【公表する情報の項目】

東京都介護職員初任者研修事業実施要綱8に規定する情報の公表に基づき、当法人ホームページ（URL：<http://www.fukuyokai.com>）において開示する内容は、以下の通りとする。

#### (1) 研修機関情報

法人情報（法人格、法人名称、住所、電話番号、代表者名）

研修機関情報（事業所名称・住所、理念、学則、研修施設、設備、  
在籍講師数（専任・兼任別））

#### (2) 研修事業情報

研修の概要（対象、研修スケジュール（期間、日程、時間数）、定員、実習の

有無、研修受講までの流れ（募集方法、申込方法等）、費用（受講料、テキスト代）、留意事項、研修担当責任者、研修の特色）研修カリキュラム（科目別シラバス（科目別学習計画）、担当講師一覧）

実習（協力実習機関の名称・住所等、実習プログラム内容、プログラムの特色、協力実習機関における延べ実習人数）修了評価（修了評価の方法、評価者、再履修等の基準）実績情報（過去の研修実施回数（年度ごと）、研修修了者数（年度ごと）、

過去の研修延べ参加人数、卒業後の相談・支援）

連絡先等（申し込み・資料請求先、法人の苦情対応者名・役職・連絡先、事業所の苦情対応者名・役職・連絡先）

質を向上させるための取り組み（実習の質の向上のための取り組み、研修機関と実習機関との連携）

令和7年度  
事業報告書

社会福祉法人福陽会  
サンシャインビラ介護学院  
〈介護福祉士実務者研修事業〉

## 事業報告書

### 目次

事業報告（総括）	1
地域受講人数一覧表	2
教育課程の実施報告	3～6

## 事業報告

今年度の「介護福祉士実務者研修講座」は、計画通りに4回実施した。

介護福祉士国家試験は、実務経験3年以上であることに加え、実務者研修の修了という受験要件であるため、限られた期間で受講を完了させようという受講生の強い意気込みを感じた。

各科目の講師は、一定時間の教員講習会を修了した介護福祉士、並びに医療的ケア講習会を修了した正看護師が担当し、念入りな授業案の作成、最新介護技術の導入、評価の方法を研究する等工夫を凝らした結果、充実した研修内容となった。

そして、受験対策直前講座は、内容の多くが試験活用でき、合計24名が参加して良かったと大変好評だった。特に職員は無料とした事で、多数の合格者輩出や職場のスキルアップに大きく貢献することができた。

また、サンシャインビラ介護学院における実務者研修は、卒業生や紹介による受講生が増えるなどだいぶ浸透すると共に、担当講師の情報交換・研修の活性化・レベルアップで、高齢者介護に対する知識・技術の向上を図り地域社会にも貢献することができた。

今年度地域・男女別受講人数一覧表

	第1回 7/4/1-9/30	第2回 7/5/1-10/31	第3回 6/8/29-12/28	第4回 7/1/1-6/30	合計
福生市	1	3	2	1	7
羽村市	0	0	2(1)	1	3
青梅市	3(2)	5	4(1)	2	14
あきる野市	0	2(1)	3	2	7
昭島市	1	1	0	0	2
立川市	0	1	0	0	1
瑞穂町	1	0	0	0	1
武蔵村山市	2(1)	1	0	0	3
日の出町	1	0	0	1	2
日野市	0	0	0	0	0
奥多摩町	0	0	0	0	0
檜原村	0	0	0	0	0
八王子	0	0	0	0	0
小平	0	0	1(1)	0	1
合計	9	13	12	7	41

※（ ）は男性

## 教育課程の実施報告

○実務者研修に係る授業時数及び履修認定については以下の通り実施した。

研修科目	時間数	無資格	訪問介護員研修			介護職員 初任者研修	介護職員 基礎研修	認知症 実 践者研修	喀痰吸引等 研修
			1 級	2 級	3 級				
人間の尊厳と自立	5	○						○	○
社会の理解 I	5	○						○	○
社会の理解 II	30	○		○	○	○		○	○
介護の基本 I	10	○			○			○	○
介護の基本 II	20	○			○	○		○	○
コミュニケーション技術	20	○		○	○	○		○	○
生活支援技術 I	20	○						○	○
生活支援技術 II	30	○			○			○	○
介護過程 I	20	○			○			○	○
介護過程 II	25	○		○	○	○		○	○
介護過程 III（スクーリング）	45 8 日間	○	○	○	○	○		○	○
発達と老化の理解 I	10	○		○	○	○		○	○
発達と老化の理解 II	20	○		○	○	○		○	○
認知症の理解 I	10	○		○	○				○
認知症の理解 II	20	○		○	○	○			○
障害の理解 I	10	○		○	○			○	○
障害の理解 II	20	○		○	○	○		○	○
こころとからだのしくみ I	20	○			○			○	○
こころとからだのしくみ II	60	○		○	○	○		○	○
医療的ケア	50	○	○	○	○	○	○	○	
医療的ケア（スクーリング）	12 2 日間	○	○	○	○	○	○	○	
合計受講時間数	462	462	107	332	432	332	62	432	400

○印は受講必須科目

## ○教職員組織

本学院の教職員組織は、以下の通りで実施した。

- (1) 教員 24 名
- (2) 事務員 1 名

○入所資格、入所選考、入所手続、休学、受講の取り消し、補講、修了認定は、以下の通りで実施した。

### (入所資格)

多様化する高齢者等のニーズに対応した専門的な知識、技術を有する介護福祉士の資格取得を目指す、東京都内及び東京都近郊在住・在勤で通学可能な者。

### (入所選考、入所手続)

- (1) 本学院の入所選考については、書類審査の上、受講者の決定を行い受講決定通知書を受講者宛てに通知する。
- (2) 本学院の入所手続は、指定の申込用紙に必要事項を記入の上、期日までに申し込む。ただし、定員に達した時点で申込み受付は終了する。
- (3) 受講決定通知書を受け取った受講者は、指定の期日までに受講料等を納入する。
- (4) 本学院は、受講料等の納入を確認した後、教材を郵送する。
- (5) 本学院は、受講申し込み時または開講日初日、以下の公的証明書の提示または提出により、本人確認を実施する。なお、本人確認ができない場合は、入所を拒否できることとする。・運転免許証の提示・健康保険証の提示・パスポートの提示・年金手帳の提示・住民基本台帳カードの提示・在留カード等の提示・戸籍謄本、戸籍抄本または住民票の提出等

### (研修欠席者の扱い)

理由の如何にかかわらず、研修開始から 10 分以上遅刻した場合は欠席とする。また、やむを得ず欠席する場合には必ず「欠席届」を提出する。

### (休学について)

やむを得ない事情があり休学する場合の期間は、最長で6ヶ月とする。

### (受講の取り消し)

次に該当する者は、受講を取り消すことができる。

- (1) 学習意欲が著しく欠け、修了の見込みがないと認められる者
- (2) 研修の秩序を乱し、受講者としての本分に反した者
- (3) 法令違反等、社会通念上、受講者として相応しくない者

### (補講の取扱い)

研修の一部を欠席した者で、やむを得ない事情があると認められる者については、当該課程教科時間数の概ね 1 割を上限とし、本学院主催の他のクラスにて同科目の振替受講をすることにより、科目の履行を完了とする。なお、振替受講は事前の申し出を原則とする。その際の受講料は無料とする。

### (修了の認定)

修了の認定は、第9条の教育課程の定めるところにより、科目ごとに修了認定を行う。ただし、各科目の出席時間数が本学院の規定に定める時間数の3分の2に満たない者については、修了の認定をしない事とする。認定方法については、以下の通りである。

- (1) 添削科目については、科目ごとにレポート(課題)を提出し、課題の理解度及び記述的的確性・論理性に応じて、担当講師が添削指導、評価を行う。修了認定基準は、理解度の高い順にA、B、C、Dの4区分で評価した上で、C以上を修了と認定する。ただし、評価基準に達しない場合は、必要に応じて添削指導、評価を再度行う。
- (2) 介護過程Ⅲについては、講義・演習にて小テストやチェックシート等を用いて、総合的評価を行う。修了認定基準は、理解度の高い順にA、B、C、Dの4区分で評価した上で、C以上を修了と認定する。ただし、評価基準に達しない場合は、必要に応じて添削指導、再試験、再評価を行う。
- (3) 医療的ケアについては、下記の通りとする。

- ・ 基本研修(講義):

レポート(課題)を提出し、担当講師が添削指導、評価を行う。修了認定基準は、理解度の高い順にA、B、C、Dの4区分で評価した上で、C以上を修了と認定する。ただし、評価基準に達しない場合は必要に応じて添削指導、再試験、再評価を行う。

- ・ 基本研修(演習):

省令で定める実施回数以上の演習を実施後、技能習得判定を行う。演習評価基準で示す手順通りに実施できれば修了を認めることとする。なお、演習の修了が認められない者については、演習評価基準に達するまで演習を継続し、再度技能習得判定を行う。

### (使用教材)

研修に使用する教材は、以下の通りである。『介護福祉士実務者研修テキスト』中央法規出版株式会社全5巻セット

### (修了者管理の方法)

修了者管理については、次により行う。

- (1) 修了者を修了者台帳に記載し永久保存する。
- (2) 修了証明書の紛失等があった場合は、修了者の申し出により再発行を行う。

### (その他留意事項)

研修事業の実施に当たり、次の通り必要な措置を講じることとする。

- (1) 研修に関して下記の苦情等の窓口を設けて研修実施部署と連携し、苦情及び事故が生じた場合には迅速に対応する。
- (2) 事業実施により知り得た受講者等の個人情報をみだりに他人に知らせ、又は不当な目的に使用しない。(3) 受講者等が実習等で知り得た個人情報をみだりに他人に知らせ、又は不当な目的に使用することのないよう受講者の指導を行う。

2025年度

サービス付き高齢者向け住宅  
高齢者マンションサンシャインビル  
事業報告書

社会福祉法人福陽会

地域の高齢者にバリアフリーの良好な居住環境を備えた高齢者向けの賃貸住宅の供給を提供し、併せて安否確認や生活相談サービスで、高齢者が安定的に安心して居住することができる賃貸住宅を提供することで、福祉の増進に寄与することを目指し、事業展開を行った。

**職員配置（3月31日現在）**

職名	職員配置	
管 理 者	1	常勤
事 務 員	2	常勤
調 理 員	13	非常勤
夜間待機職員	6	非常勤
介護スタッフ	7	非常勤若干名

**【入居者入退去状況一覧】**

(人数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規入居者	1		3	2		1	2	1	1	1		2	14
退去者	2	1			3		3	1	1			1	12

**【入居年数分布】**

(人数)

1年未満	1年～2年	2年～5年	5年～7年	7年以上
14	6	11	1	6

**【退去先】**

(人数)

サンシャインビラ入所	
第2サンシャインビラ入所	
第3サンシャインビラ入所	2
転居・入院	7
死亡	3

【入居者の状況】 (3.31現在)

介護度

(人数)

自立	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
		2	8	10	6	10	2	38

男・女 年齢分布

(人数)

	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代以上
男		1	2	8	4
女				8	15
合計		1	2	16	19

【年間行事実績】

催し	日程
マンションエントランス前で お茶会	5/1
ひよっこ踊り	2/28
短時間レク ホール戯りと体操 (B1食堂にて)	4/15, 22, 29
カラオケ (B1食堂にて)	4/21, 28, 5/5, 12, 19, 26, 6/9, 16, 23, 30, 7/7, 14, 21, 28, 8/4, 11, 18, 25, 9/1, 8, 15, 22, 29, 10/13, 20, 27, 11/3, 10, 17, 24, 12/8, 15, 22, 29, 1/5, 12, 19, 26, 2/9, 16, 23, 3/2, 9, 16, 23, 30
消防訓練及び火災通報装置の説明他	4/11 10/15
自然災害BCP訓練	4/11
避難訓練	9/30

【クラブ活動、その他】

毎週木曜日	体操、書道、折紙、工作等
毎週水曜日	移動スーパーとくし丸
毎月第一金曜日	傾聴ボランティア

令和7年度

事業報告書

介護福祉士養成奨学金貸付事業

社会福祉法人福陽会

### **【本事業の目的】**

社会福祉法人福陽会に将来勤務を希望する有能な介護職員を確保・育成し、サービスの向上を図るために、介護福祉士養成奨学金の貸付を行うことを目的としています。

### **【令和7年度事業報告】**

令和6年度より開始された介護福祉士養成奨学金貸付事業ですが、今年度も奨学金貸付の実績はありませんでした。

来年度は、法人ホームページを活用する等、奨学金貸付制度をさらに普及させ、新たな介護人材の確保に努めます。